秋はふみ…漱石と歩む

「草枕」国際俳句大会　30回記念誌

第1部　30回大会報告

夏目漱石顕彰
第30回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱

～入賞作品集～

The 30th International “Kusamakura” Haiku Competition
Prize-Winning Haiku Magazine

目　次

ごあいさつ……2
選者略歴……3
入賞作品
　・事前投句一般部門……4
　・インターネット投句部門……7
　・ジュニア部門……8
　・外国語部門……11
　・写真俳句部門……13
　・当日投句部門……14
くまもと俳句ポスト……17
応募者都道府県別集計……18
応募者国別集計……19
大会を振り返って……20
実行委員会委員……21

各部門の選評は、「草枕」国際俳句大会のホームページに掲載されています。ぜひご覧下さい。

「草枕」の玉手箱～発刊にあたって

「草枕」国際俳句大会実行委員会名誉会長
熊本市長　**大西　一史**

本大会は、俳句を通じて熊本と世界を結ぶ架け橋として、平成８年の創設以来、30年もの長い歴史を刻んでまいりました。この節目を迎えるにあたり、これまで大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、今大会には、国内外から6,800句を超える作品をご応募いただき、とりわけ、当日投句部門では400句以上、ジュニア部門には約2,700句、そして世界67か国から約1,200句の投句が寄せられるなど、俳句が世代や国境を越えて広がりを見せていることを大変嬉しく思います。ご参加いただいた皆様に、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

また、表彰式では「世界で愛される俳句　今なぜ地球俳句か」をテーマにシンポジウムを開催し、俳句が自然や他者との調和を象徴する言語として、世界に広がる意義を改めて考える貴重な機会になったものと存じます。

今回発刊する「『草枕』の玉手箱」は、入賞作品を収めるとともに、これまでの大会の歩みを振り返る記念号となっておりますので、俳句の魅力と大会の歴史を凝縮した一冊として、ご高覧いただければ幸いです。

皆様ご承知のとおり、令和８年に漱石来熊130年、令和９年に漱石生誕160年となる記念の年を迎えます。

本市としましては、これらを契機に、俳句をはじめとした漱石文化の振興と継承に、なお一層取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を心より祈念し、発刊のご挨拶といたします。

選者略歴

事前投句一般部門

岩岡　中正（いわおか　なかまさ）
「阿蘇」名誉主宰
(公社) 日本伝統俳句協会名誉会長
『春雪』『相聞』『虚子と現代』他

小川　晴子（おがわ　はるこ）
「今日の花」主宰
(公社) 俳人協会評議員
『花信』『摂津』『今日の花』

岸本　尚毅（きしもと　なおき）
(公社) 俳人協会理事
「天為」「秀」同人
『雲は友』『小』『文豪と俳句』他

高野ムツオ（たかのむつお）
「小熊座」主宰
(一社) 現代俳句協会会長
『萬の翅』『片翅』『蟲の王』他

西村　和子（にしむら　かずこ）
「知音」代表 (公社) 俳人協会副会長
国際俳句協会理事
『かりそめならず』『椅子ひとつ』他

インターネット投句部門

西村　泰三（にしむら　たいぞう）
「松」編集・発行人
(公社) 俳人協会評議員
『三郎塚』

福永　満幸（ふくなが　みつゆき）
「水葱」俳句会主宰
『初鴨』他

ジュニア部門

西口裕美子（にしぐちゆみこ）
「霏霏Ⅱ」編集事務局長
(一社) 現代俳句協会会員
『群青い耳』（あお）

前山　光則（まえやま　みつのり）
作家
『ふるさと球磨川放浪記』『ていねいに生きて行くんだ－本のある生活』他

光永　忠夫（みつながただお）
「自鳴鐘」会員
熊本県俳句協会会長

山口　孝徳（やまぐち　たかのり）
「霏霏Ⅱ」所属
熊本信愛女学院高等学校国語科教諭

山下しげ人（やましたしげと）
「阿蘇」主宰、「ホトトギス」同人
(公社) 日本伝統俳句協会熊本県部会長
ふる里俳句館館長
『穴よりも』他

外国語部門

井尻香代子（いじりかよこ）
京都産業大学文化学部教授
京都府連句協会常任理事
『アルゼンチンに渡った俳句』他

西川　盛雄（にしかわ　もりお）
熊本大学名誉教授
国際俳句協会会員
『漱石の英詩におけるポイエティックス』
『俳句は国境を越えて』他

西槇　偉（にしまき　いさむ）
熊本大学大学院人文社会科学研究部教授
『中国文人画家の近代 豊子愷の西洋美術受容と日本』他

米岡ジュリ（よねおかじゅり）
熊本学園大学外国語学部英米学科教授

写真俳句部門

穀本　純二（こくもとじゅんじ）
くまもと写真俳句同好会代表
元熊本日日新聞社写真部長

山下しげ人（やましたしげと）
ジュニア部門に掲載

当日投句部門

井上　泰至（いのうえやすし）
(公社) 日本伝統俳句協会会長
防衛大学校教授

岩岡　中正（いわおか　なかまさ）
事前投句一般部門に掲載

小川　晴子（おがわ　はるこ）
事前投句一般部門に掲載

西口裕美子（にしぐちゆみこ）
ジュニア部門に掲載

事前投句一般部門

「草枕」大賞

慎みて原爆の日の塩むすび

小野　雅子（滋賀県　栗東市）

地下水都市・熊本賞

一撃をくれたる野火の起き上がる

宮部　敏博（愛媛県　大洲市）

二百十日賞

大阿蘇の懐にゐて涼しかり

髙村　聖恵（熊本県　合志市）

JAグループ熊本賞

肉体をむき出しにしてかたつむり

小林万年青（秋田県　秋田市）

福井市賞

復興の城を一周夏つばめ

永利五十鈴（福岡県　春日市）

松山市賞

本丸と二の丸繋ぐ蟬時雨

田代　幸子（熊本県　宇土市）

岩岡中正選

特選

一穂の稲の花より千枚田

大川内みのる（熊本県　荒尾市）

入選

奔放に育つ山の子花かぼちゃ

毛利　喜子（愛媛県　内子町）

八月六日祈りても祈りても

上村　孝子（熊本県　熊本市）

漱石忌万年筆の書き心地

寺本こう子（熊本県　熊本市）

佳作

夏の雲また一人ヒーローが逝く

大津　夕可（熊本県　熊本市）

蜩やひとり暮しの母のこと

松本よし枝（熊本県　熊本市）

柿若葉水を廻して桶洗ふ

安田眞葉子（熊本県　熊本市）

プレス機も残業に入る西日かな

畑本　信行（大分県　玖珠町）

百日紅かんかん照りの続く街

小柴　智子（熊本県　宇土市）

小川　晴子　選

特選

阿蘇を抱く鄙に親しき燕来る

板倉　孝敬（神奈川県　相模原市）

入選

山神の手のひら出づる瀑布かな　諏訪園加奈子（鹿児島県　鹿児島市）

天高しガイドの訛り天守まで　吉田　春代（埼玉県　行田市）

カルデラの風の扉あけて小鳥来る　古賀久美子（熊本県　熊本市）

佳作

江津の湖ぐいと傾け田水張る　つのだともこ（熊本県　熊本市）

桐の秋町の名古き城下町　松村　直央（東京都　世田谷区）

子には子の覚悟ありけり茄子の花　池田　道子（熊本県　熊本市）

可惜夜や星のまたたき蚯蚓鳴く　天本　睦子（福岡県　北九州市）

藁素坊のふと目覚めけり春の潟　千田　道晋（神奈川県　横浜市）

岸本　尚毅　選

特選

星飛んで何処かの戦終らんと

梅津眞佐子（熊本県　熊本市）

入選

どてら着てこまごまとある植木鉢　坪井　瑞代（熊本県　熊本市）

谷間を防災無線秋の宿　前原八寿之（福岡県　大牟田市）

修復や灼けたる石を積み直す　西村　孝子（熊本県　熊本市）

佳作

秋雷に県庁の松倒れけり　小山　禎子（熊本県　熊本市）

ポマードのてかり亡父の籐枕　吉田由利子（熊本県　宇城市）

大阿蘇の麓を巡る帰省かな　大久保　昇（東京都　葛飾区）

炎天下歩けよコキコキ人工骨　船原きよみ（熊本県　美里町）

口髭に桃の匂ひの残りけり　深町　明（福岡県　朝倉市）

高野ムツオ 選

特選

草笛を吹きて山河を呼び戻す

山本　淑子（熊本県　熊本市）

入選

田の神の触れてゆきたる稲穂かな　平川みどり（熊本県　南関町）

白南風にぐひと踏み込むペダルかな　真弓ぼたん（熊本県　熊本市）

ありのままそのままでよし草の花　渡辺あや子（熊本県　菊池市）

佳作

ひまはりのどつと笑つてゐてしづか　寺崎久美子（熊本県　熊本市）

万年の阿蘇の一と日の野火埃　角田　宏子（熊本県　熊本市）

野に眠るみ霊の使ひ赤とんぼ　西山　惠二（佐賀県　鳥栖市）

静脈を探る針先風光る　松尾　光浩（熊本県　山鹿市）

万緑の埋め残したる磨崖仏　土井　一正（福岡県　太宰府市）

西村　和子 選

特選

くつきりと紺青の嶺々涼新た

堀　伸子（熊本県　熊本市）

入選

噴煙の阿蘇を遠見に秋惜しむ　芥川　竜人（愛媛県　西条市）

根もとより吹かるる髪も夏草も　立川　六珈（大阪府　大阪市）

天災も人災も越え城の春　永見　徳代（東京都　台東区）

佳作

切り分けし猪肉いまだ温かし　清水　明美（熊本県　八代市）

荒らしてはならぬ一心畑を打つ　守田　律子（熊本県　御船町）

枕辺にちらかる俳句明易し　勝又　洋子（東京都　目黒区）

野の馬の耳よく動き秋の風　髙橋　純子（神奈川県　藤沢市）

ささくれの引つかかりたる春ショール　渡邉三恵子（熊本県　熊本市）

インターネット投句部門

「草枕」大賞

じゃあとしか言わぬ帰省子見送りぬ

坂田　淑子（熊本県　熊本市）

特選

搾乳を終えて一服月涼し

武田　悟（宮城県　涌谷町）

「草枕」読み説く教授肥後訛

中嶋　重利（福岡県　築上町）

余生いまこの地に在りて広島忌

吉田　潮（熊本県　熊本市）

ぴちぴちのきびなごぴちと裂かれけり

真弓ぼたん（熊本県　熊本市）

入選

人までも一色にして若葉風

吉田　達郎（滋賀県　湖南市）

放下してつましき暮し目刺焼く

安田　功二（東京都　北区）

退院の夫へと傾ぐ日傘かな

岩水ひとみ（兵庫県　神戸市）

ミサイルが全部花火になればいい

大友　清晃（熊本県　熊本市）

すれ違ふ香水にまだ君のこと

楠本シヲリ（長崎県　西海市）

新涼や雲はひと筆書となり

藤井　啓子（兵庫県　神戸市）

耳澄まし花火楽しむベッド上

米田　裕喜（熊本県　熊本市）

長塀の白の際立つ酷暑かな

田代　幸子（熊本県　宇土市）

葛の花スイッチバックすれすれに

石坂　博子（熊本県　熊本市）

十一時二分のサイレン油蝉

千葉　文智（岩手県　一関市）

ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

宿題の終わった後の蝉時雨

井上　櫂里

（埼玉県開智小学校四年）

中学生の部

麦茶飲む無言のままの背番号

西岡　徹

（熊本県熊本市立東町中学校三年）

高校生及び十八歳以下の部

百枚の銅鏡が出て月の谷

原島　奏

（東京都開成高等学校一年）

三四郎賞

一人っ子になりたい夜や髪切虫

島崎　結菜

（東京都学習院女子高等科二年）

西口裕美子選

特選

路地裏の朝顔ひとつ炎めき

川崎　千草（東京都学習院女子高等科二年）

入選

背伸びして葉桜の葉裏のざらり

田口　茉優（東京都学習院女子高等科二年）

地球儀の日本は小さい入道雲

矢澤蒼一郎（熊本県熊本市立壺川小学校五年）

じゃんけんのあいこ続いて秋涼し

東風谷莉世（東京都学習院女子高等科二年）

佳作

風鈴やふいに静かな午後三時

管　詩荀（東京都学習院女子高等科二年）

子ねこぷくぷくかいだんはのぼれない

若狭　早（愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校二年）

葉桜や母の返事に時差のある

本間まどか（東京都学習院女子高等科二年）

町たんけんてんぼうだいからつゆの海

古市　一桜（富山県高岡市立伏木小学校二年）

瓶ラムネぽんと始まる青い夏

北原　和佳（熊本県熊本信愛女学院高等学校二年）

蝉の声祖母から聞いたあの日の空

野口　琶月（広島県呉市立昭和北中学校三年）

入道雲山より高く息を吐く

福原　仁子（東京都学習院女子高等科二年）

夕焼けや今日という日をかき混ぜて

森田　結愛（熊本県熊本市立東町中学校三年）

水ぶきは十おうふく目大そうじ

吉田晟二郎（富山県高岡市立伏木小学校五年）

前山　光則　選

特選

浴衣着て誰より笑う夏祭り
北原　由逗（熊本県玉名女子高等学校三年）

入選

もうすこしでよみおわる本秋おわる
西多　晃都（埼玉県鴻巣市立鴻巣中央小学校二年）

しゅくだいをおいておとまりお正月
松山　陽（富山県高岡市立伏木小学校四年）

新緑やドライブで行く沈下橋
高橋　柑奈（広島県呉市立昭和北中学校三年）

佳作

ぼくはおにいとこをさがす二月の夜
ミランダイザキ（富山県高岡市立伏木小学校四年）

日が照って僕に頷く雪だるま
圓谷　紀秀（熊本県熊本市立東町中学校三年）

入道雲実はお空の泣き笑い
西川　凛（熊本県熊本信愛女学院中学校二年）

思い出がラムネのように溢れでる
守田　優愛（熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校二年）

かき氷溶けるスピード恋みたい
森本　心春（熊本県玉名女子高等学校三年）

虫の音に返せぬ言葉沈みゆく
村岡　愛莉（熊本県尚絅高等学校三年）

弟がつくし集める遠回り
村田　惇（富山県高岡市立伏木小学校四年）

声小さい入学式の校歌です
青木　悠真（富山県高岡市立伏木小学校四年）

桜散る触れぬ手のひら夢のまま
黒木　美沙（熊本県熊本信愛女学院高等学校二年）

ＢＢＱＢＧＭは蝉時雨
高橋　亜実（東京都学習院女子高等科二年）

光永　忠夫　選

特選

淡月や囃子の影の伸びてをり
出口　雅人（和歌山県智辯学園和歌山高等学校三年）

入選

雪ふめば子どものころに帰りけり
万尾　響希（熊本県熊本市立力合中学校三年）

お正月書きぞめもやしねがいごと
高井　春妃（富山県高岡市立伏木小学校三年）

満月は車に乗ってもついてくる
野田　璃乃（熊本県荒尾市立中央小学校六年）

佳作

星空に光輝く花火かな
高見　政晴（熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校二年）

潮騒にひとり心をほどきけり
市瀬　麗奈（東京都学習院女子高等科二年）

紫陽花や滴る雫アメジスト
歌野　愛夏（熊本県熊本信愛女学院高等学校一年）

朝の聖歌セミも一緒に歌ってる
尾方妃和妙（熊本県熊本信愛女学院高等学校一年）

まどろみの中まで響く蝉の声
下野　理央（東京都学習院女子高等科二年）

無機質な白を彩る寒椿
柳木　璃子（熊本県熊本大学教育学部附属中学校三年）

かき氷いろとりどりのフレイバー
大年　結愛（広島県呉市立昭和北中学校三年）

夏休み何か始めてみたくなる
濵田　夏輝（熊本県熊本市立東町中学校三年）

つゆのみちたんぼにしろいとりあるく
小澤　莉子（富山県高岡市立伏木小学校一年）

よう虫にきりふきの水かけてやる
ダシルバマテウス（富山県高岡市立伏木小学校二年）

山口 孝徳 選

特選

未来まで見える気がした夏の空
西山　千織（熊本県玉名女子高等学校二年）

入選

さやけしや丘から隣町も見え
上松　篤史（和歌山県智辯学園和歌山中学校三年）

それ全て俳句に込めよと鶏頭花
三木陽菜子（和歌山県智辯学園和歌山高等学校一年）

初鴨や揺れる水面の軌跡かな
前田　俊輔（和歌山県智辯学園和歌山高等学校一年）

佳作

すいか食む口で装着種鉄砲
杉谷　理華（熊本県熊本信愛女学院高等学校二年）

ラムネ瓶雲の白さを溶かし込む
亀田　侑那（東京都学習院女子高等科二年）

夏休み子の腹みたす備蓄米
麥生田百叶（熊本県芦北町立佐敷中学校一年）

夕焼けに足の長さを競い合う
田山　聖陽（熊本県芦北町立佐敷中学校二年）

弟と同じ消しゴム新学期
河本美沙紀（埼玉県開智小学校四年）

カナヘビの名前を決めた夏休み
竹内　実珠（埼玉県開智小学校四年）

わが犬のぬけ毛かたまり雲の峰
大坪　果暖（熊本県熊本信愛女学院中学校二年）

憧れの姉の引っ越し春浅し
吉澤　杏梨（熊本県熊本市立力合中学校三年）

夏の空カーテン大きく深呼吸
浴野　恵実（熊本県熊本大学教育学部附属中学校三年）

夜ざくらはおけしょうライトにあたってる
高岡　優翔（富山県高岡市立伏木小学校三年）

山下しげ人 選

特選

原爆忌川にサイレンしずみけり
宮本　佳治（熊本県熊本県立熊本高等学校二年）

入選

蛍飛ぶ水の記憶に触れながら
吉田　桜（東京都学習院女子高等科一年）

ひっこしの朝です二重にじかかる
鶴　晴輝（富山県高岡市立伏木小学校六年）

夏足袋で心機一転的を射る
古閑　友菜（熊本県熊本信愛女学院高等学校一年）

佳作

薫風や全力で持つ優勝旗
成松清十郎（熊本県熊本市立出水中学校三年）

花火消え目の輝きはまだ残る
大竹　雅人（熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校一年）

青春が終わる音した花火かな
天野　七瀬（熊本県熊本県立熊本農業高等学校三年）

レシートの印字の消えて花は葉に
中村　心遥（東京都学習院女子高等科一年）

新学期カバンの底の夏の砂
八木みのり（東京都学習院女子高等科一年）

数式に沈みし午後は炎暑消ゆ
小山瑛利衣（東京都学習院女子高等科一年）

風吹いて見上げた先の夏燕
橋本　奈帆（東京都学習院女子高等科一年）

人混みの隙間をぬって見る花火
小林　翼（熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校一年）

真夏日に引き絞る弦鳴りひびく
坂本沙也花（熊本県熊本信愛女学院高等学校一年）

夏の果てヘアクリップも色褪せる
水上　麻帆（東京都学習院女子高等科一年）

外国語部門　Non-Japanese Section

草枕大賞＆福田令寿賞　Kusamakura Taisho（Grand Prize） & Reiju Fukuda Award

famine
empty pots spill
moonlight

飢餓
空の壷から溢れ出る
月の光

Farah Ali
（United Kingdom）

地下水都市・熊本賞　Kumamoto ‘City of Artesian Waters’ Haiku Award

Nadan los cuervos
en el mar de olas de oro,
trigal al viento.

鴉は泳ぐ
金波の海を
麦に風

Miguel Ángel Calderón Solís
（México）

特選　Tokusen（Second Prize）

intonation
a butterfly lands
on a guitar string

蝶が
ギターの絃に留まって
際立つ韻き

Darko Batan Zunjic
（Montenegro）

Quiet river bends,
the heron folds its pale wings
into the twilight.

静かな川の曲がり
鷺が黄昏に向かって
翼をたたむ

Faith Nyokabi Njunge
（Kenya）

---

chess box
friends and foes after the war
laid side by side

チェスの箱
戦い終えて敵味方
仲よく列んで納まっている

Srinivasa Rao Sambangi
（India）

---

lightning
tip-toes hilltop
to hilltop

雷鳴が
丘から丘へとひたひたと
渡りゆく

Leo Lavery
（N.Ireland）

---

the close of summer
my kokeshi dolls
don’t age

夏の終わり
私のこけしは
年取らぬ

Damir Janjalija
（Serbia）

Manos curtidas
preparan la comida.
Arde el brasero.

日焼けした
手の昼支度
火鉢燃ゆ

Catalina A. Buadas Porcel
（España.）

特選 Tokusen（Second Prize）

tras el incendio en la tierra respiran: flores violetas	山火事跡 地に息をする 菫かな	diego martín rodríguez （Argentina）
流浪汉 刚下的雪的气味	バガボンド 降ったばかりの雪の匂い	Vladimir Aktov （Russia）

草枕大賞受賞者のコメント（Comment of the Grand Prize winner）

Farah Ali（United Kingdom）

My name is Farah, and I live in England in a small city by the sea called Brighton. I would like to apologize for being unable to attend the ceremony in beautiful Kumamoto and offer my gratitude to the staff and judges for their kindness, generosity and hard work in organizing such an elegant and prestigious competition.

I am honored to have won Kusamakura Taisho in the foreign language category—it is a dream come true, and I promise to continue to improve and work hard on my haiku. I have deep respect and admiration for Japan and the Japanese people and am happy that haiku has forged a connection between us even though we live on opposite sides of the world.

I write and read haiku almost every day and when my daughter is old enough I hope she will love haiku too. When it is not raining my favorite places to write are on long walks by the seashore and in my small garden where I grow trees, flowers, fruit, vegetables and herbs.

The suffering in Gaza, Palestine, has hurt my heart. This haiku was written after I saw images of injured, starving adults and children waiting for hours even though there was no food left. I could not stop thinking about those empty pots and the innocent hands holding them. But famine and food insecurity are not only isolated to conflict zones. Many people all over the world do not have enough to eat and my haiku is also dedicated to them.

As a mother I pray for a world where no child goes to sleep hungry. As a human being I pray for a world where every man, woman and child can live in peace, free from tyranny and oppression.

Thank you so much for your time and consideration.

私はファラー・アリと申します。イギリスのブライトンという海辺の小さな町に住んでおります。熊本での素晴らしい授賞式を組織して下さった大会関係者、選者の皆様のご親切、寛容心、ご苦労に対して直接感謝の意をお伝え出来ないことをお詫びいたします。

このたび夢がかない、外国語部門の草枕大賞を得ましたことを誇りに思い、今後も精進して自らの俳句の力を進化させることをお誓い申し上げます。私は日本という国と人々に深い尊敬の心を持っております。そして私たちは地球の反対側に住んでいるとはいえ、俳句が私たちを結び付けていることを嬉しく思っております。

俳句については私はほとんど毎日読んだり創ったりしております。娘が十分に大きく成長したら俳句を好きになってくれることを願っています。雨の降らない日、私は海岸線を歩いたり、木、花、果物、野菜、ハーブなどを育てている我が家の小さな庭先で好んで句作をしております。

ガザやパレスチナの人々の苦悩には胸が痛みます。この俳句は負傷したり飢えた大人や子供たちが食料が無くなっているにも関わらず何時間も待つ人々の映像を見た後にできたものです。私は空っぽの容器とそれを握りしめている無垢な人々の手について思わざるを得ませんでした。飢餓や食料不足は紛争地域だけに限りません。世界には食物が充分行きわたっていない処が多いのです。今回の私の俳句はこのような人々に対して捧げられたものです。

一人の母親として私は子供が飢餓状態のまま眠ることがないことを祈るばかりです。人間としてすべての男性、女性、子供が専制と抑圧から自由になり、平和に暮らせるようになることを祈っています。

この度はこのような時とご配慮を与えて下さり、感謝申し上げます。（西川盛雄 訳）

写真俳句部門

「草枕」大賞

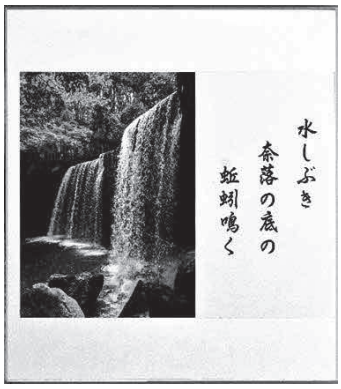
井上眞知子（福岡県　宗像市）

特選

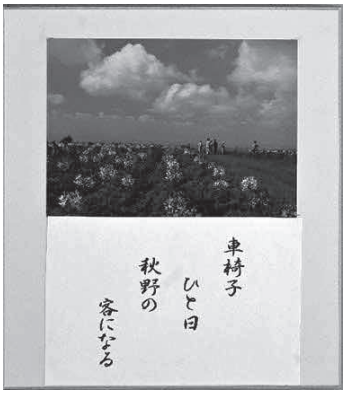
木下　保之（熊本県　熊本市）

岩下　信興（熊本県　熊本市）

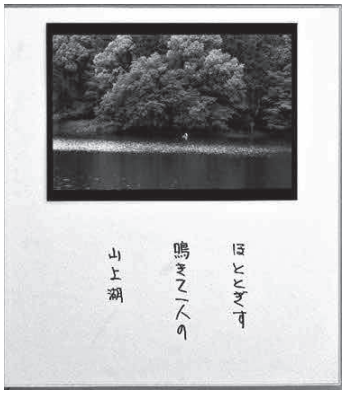
優秀賞



清海　宏（熊本県　熊本市）



志賀　孝子（熊本県　大津町）



猿渡　彰（熊本県　菊陽町）

入選

高塚　太喜（長崎県　諫早市）

後藤希久子（熊本県　熊本市）

相馬　妙子（熊本県　熊本市）

田代　洋子（熊本県　合志市）

内田　一正（岡山県　岡山市）

有田　桜（11歳）（熊本県　八代市）

中村　康子（熊本県　熊本市）

恵　玄一郎（熊本県　合志市）

村田　健二（熊本県　熊本市）

山戸　節代（熊本県　熊本市）

当日投句部門

「草枕」大賞

大いなる虫籠となる阿蘇の原

田中よしえ（熊本県　嘉島町）

中村汀女賞

黄落の城を真中にある生活

頓田スミ子（熊本県　熊本市）

地下水都市・熊本賞

まだ残る城の足場に秋いくつ

松本よし枝（熊本県　熊本市）

（一財）熊本市文化スポーツ財団賞

職退きて妻に大根を買つて来る

矢澤　幸乃（熊本県　熊本市）

種田山頭火賞

我が内に紅葉灯して帰りけり

中西千鶴子（熊本県　熊本市）

熊本の銘菓賞

真白とて褪めてゆくもの障子貼る

廣瀬　守世（熊本県　熊本市）

井上泰至選

特選

漱石忌三角に切るハムサンド

轟　眞理子（熊本県　熊本市）

入選

藻畳に水青々と初鴨来

嶋田　光子（熊本県　熊本市）

練切の蕊の薄紅漱石忌

真弓ぼたん（熊本県　熊本市）

眼裏に秋天の城収めけり

堀田　毬子（熊本県　熊本市）

佳作

秋の灯や湖に汀女と虚子の句碑

槻木　俊彦（熊本県　熊本市）

黄金雲浮かみて今し神の旅

上野久美子（熊本県　熊本市）

ハーンの写真横顔にさす冬日

鞠子ミサヲ（熊本県　八代市）

あつさりと一人の夕餉石蕗の花

橋本　智子（熊本県　熊本市）

一燈を灯してよりの夜長かな

安田眞葉子（熊本県　熊本市）

岩岡　中正　選

特選

ほのぼのと句縁ありけり菊日和

木村佐恵子（熊本県　熊本市）

入選

名月に名城緩びなかりけり　岩下　律子（熊本県　熊本市）

幾度も潜りて鳰の向う岸　伊藤　広子（熊本県　熊本市）

湖に今初鴨といふ光　平川みどり（熊本県　南関町）

佳作

霧飛ぶや谷の底ひの秘湯の灯　力　幸子（熊本県　菊陽町）

茶の花や真白き母の割烹着　さとうともこ（熊本県　御船町）

小鳥来る小学校の合唱団　渡辺あや子（熊本県　菊陽町）

石人のまばたき一つ返り花　山村　恵子（熊本県　玉名市）

家々に届く峡の日柿すだれ　池田　道子（熊本県　熊本市）

小川　晴子　選

特選

くまモンは人食はぬもん冬日和

松村　直央（東京都　世田谷区）

入選

秋高し湯だまり蒼き阿蘇火口　永田　証真（熊本県　熊本市）

城垣へ食ひ込む根方冬に入る　松本オハナ（熊本県　熊本市）

初鴨に江津湖の水の奔りだす　大川内みのる（熊本県　荒尾市）

佳作

日の色の仔牛の和毛野の小春　古賀久美子（熊本県　熊本市）

あをあをと冬草映す濠しづか　岡本　和子（宮崎県　高鍋町）

木の葉雨目つむりて聞く森の声　粟津　玲子（熊本県　熊本市）

江津湖畔茶の花垣のつづく家　三川　幸子（岡山県　岡山市）

瑞穂の国に女性総理来秋高し　下津可知子（千葉県　浦安市）

西口裕美子選

特選

吾亦紅母より父を哀しめり

吾亦紅（大分県　国東市）

入選

茶の花や妣の飴色鯨尺　梶山　純子（熊本県　熊本市）

天守へと曲りて登る若葉風　猿渡　彰（熊本県　菊陽町）

仏像のもののふめきて秋の風　藤井　久子（熊本県　熊本市）

佳作

炯眼のまま冬蜂の落ちてをり　大津　夕可（熊本県　熊本市）

ジョバンニへ渡さうと思ふ竜の玉　上田　輝子（熊本県　菊陽町）

残菊に雨脚何とやはらかく　吉田　潮（熊本県　熊本市）

一山の風となりゆく鹿の声　髙村　聖惠（熊本県　合志市）

花の名にふーんと答ふ秋日和　永田　四郎（熊本県　熊本市）

令和六年　第二十六期くまもと俳句ポスト

第二十六期開函

「霏霏Ⅱ」編集事務局　西口　裕美子　選

特選

その中に嬰抱く羅漢冬ぬくし　熊本県合志市　髙村　聖恵

【講評】
雲巌禅寺から霊巌洞に至る斜面に在す五百羅漢。かなり摩滅しているが、様々な表情を見ることができる。静かだ。寒さが続く中、ふと暖かい日が訪れる幸せを表わす「冬ぬくし」。この季語が、そこここに在す羅漢たちの拡がりまでも見せる。「その中に」嬰を抱いたように見える羅漢様を作者は発見したのだろう。もしかすると、かつて自分を抱いてくれた父の姿を見たのかも。陽の当たる幸せを改めて思う作者の心が察せられる愛の一句。

わが輩通り賞

阿蘇五岳表も裏も小六月　熊本県熊本市　佐藤　誠吾

入選

コーラスの声澄む城趾球浚忌　熊本県熊本市　山﨑　綾子
猫座る漱石の家秋深し　熊本県熊本市　小山　禎子
西南の役の弾痕秋暑し　岐阜県岐阜市　笠井　智子

佳作

蝉時雨八雲呼び立ている如く　熊本県熊本市　矢野　友子
冬日さす城の長塀鳩群れて　熊本県熊本市　坂口美穂子
錦秋や小国に博士の顕微鏡　熊本県熊本市　後野　陽
父の来し道をたどりし秋の島　山梨県南都留郡　志賀　奈都
名月に濡るる天守の甍かな　熊本県熊本市　芥川　卓
空港へ送り届けて夏終る　熊本県熊本市　中村　和徳
秋麗の旧居の庭猫闊歩せり　熊本県熊本市　岩木　靖子
彼岸花に誘われ植木の湯に一日　熊本県宇城市　永井　弘子
吾になほ空蟬剥がす力あり　広島県広島市　前田　節
赤とんぼ息子を想う水前寺　福岡県春日市　浦田　啓子

投句総数　百四十五句
市内　五十七句
市外　八十八句
開函日　令和六年十二月三十一日

令和七年　第二十七期くまもと俳句ポスト

第二十七期開函

「ホトトギス」同人　山下　しげ人　選

特選

大阿蘇の地軸ゆすって野火猛る　熊本県熊本市　佐藤　誠吾

【講評】
数週間にわたって行なわれる阿蘇の山焼きは、火の国熊本に春を告げる一大風物詩です。古代より続いている山焼きを目の当たりにすると誰しも言葉を失うほどの感動を覚えます。音を立て風を巻上げながら奔る野火を「地軸ゆすって」と表現したことで壮大な阿蘇の山焼きと作者の感動の大きさが素直に伝わってきます。

わが輩通り賞

漱石の庭の夏木に天気雨　東京都国分寺市　神野　純

入選

夕暮れの水路に翡翠滑り来る　熊本県熊本市　中村　和徳
梅雨晴れの四時軒の風ほほを過ぐ　熊本県熊本市　野白　仁美
花合歓の彼方に舎利の塔望む　熊本県熊本市　坂口美穂子

佳作

四時軒にけふは水馬訪ねけり　熊本県熊本市　後野　陽
猫和む坪井の家には春日和　熊本県熊本市　永野　倖大
吟行の脚に噛みつく江津湖の蚊　熊本県熊本市　岩木　靖子
桃香るいつもと違う散歩道　熊本県熊本市　干場　幸純
亡き友や姿探して梅畑　熊本県熊本市　徳永恵美子
美少年瞳の奥の散る桜　熊本県熊本市　宇野木邦子
春泥や十五で散った田原坂　福岡県柳川市　平山　繁嗣
田原坂義に落ちゆくは桜かな　愛知県蒲郡市　守屋　紀生
緑さすかの日も同じ田原坂　宮崎県宮崎市　桝谷　昌子
為朝の伝説の山鳥帰る　熊本県熊本市　柳田　孝裕

投句総数　百三十三句
市内　六十九句
市外　六十四句
開函日　令和七年六月三十日

事前投句一般部門・インターネット投句部門　県別投句状況（ジュニアは全体数のみ）「草枕」国際俳句大会

	27回		27回 インターネット投句		28回		28回 インターネット投句		29回		29回 インターネット投句		30回		30回 インターネット投句	
県別	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数
北海道	3	16	0	0	2	4	1	2	5	12			2	4	3	5
青森県	0	0	0	0	0	0			0	0	1	2				
秋田県	1	4	0	0	1	2			0	0			2	6	1	2
岩手県	1	2	0	0	1	4			2	4			1	2	2	4
山形県	1	2	1	2	1	2	1	2	0	0	1	1	2	4		
宮城県	1	2	0	0	1	2			1	2			3	10	5	9
福島県	0	0	0	0	1	2	1	2	1	2	3	6			1	2
茨城県	1	2	0	0	1	4			1	4	1	2	1	2	5	10
栃木県	2	8	3	6	4	14	2	4	2	4	2	3	2	4	3	5
群馬県	2	4	3	5	4	16	2	4	3	10	2	4	2	4	2	4
埼玉県	12	34	13	26	11	24	4	8	7	22	4	8	7	20	10	18
千葉県	8	32	4	8	8	22	6	12	6	18	7	13	7	24	9	18
東京都	47	162	11	22	48	150	16	31	45	144	32	58	45	174	33	63
神奈川県	24	74	6	11	28	94	4	8	24	70	13	24	21	68	15	28
山梨県	0	0	2	3	0	0			0	0	1	2	1	2		
長野県	2	4	1	2	1	2	1	2	0	0	2	4	3	8	4	8
新潟県	0	0	4	8	0	0			0	0					1	2
富山県	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	2	4	1	2	2	4
石川県	0	0	1	2	0	0	1	2	1	2	2	4	1	2	2	4
福井県	0	0	1	2	0	0			0	0			3	12	2	4
静岡県	6	34	4	8	8	32	1	2	6	20	1	2	2	8	5	9
岐阜県	3	8	1	2	2	4	1	2	1	2	3	6			3	6
愛知県	8	18	11	21	6	14	2	4	5	12	5	8	9	22	10	19
三重県	2	6	3	6	1	4			3	6	5	10	3	8	2	3
滋賀県	0	0	2	4	3	8	3	6	1	2	2	4	3	12	5	10
大阪府	5	20	3	6	9	24	1	2	12	32	4	8	17	50	12	22
奈良県	1	2	1	2	3	8	1	2	2	6	2	4	2	8	2	3
和歌山県	0	0	2	3	0	0			2	6	3	6	1	2	3	6
京都府	3	18	0	0	3	8	4	6	11	52	3	5	5	20	5	9
兵庫県	12	30	3	6	9	20	4	8	12	30	9	18	10	24	10	19
岡山県	4	24	2	4	8	58	2	4	4	22	2	3	7	26	1	1
島根県	1	2	0	0	2	4	1	2	0	0	1	2			1	2
鳥取県													1	2		
広島県	3	10	3	6	4	14	3	5	4	18	2	4	3	12	2	4
山口県	4	14	1	2	3	10			3	16	1	1	5	18		
香川県	0	0	2	4	0	0			1	2	1	1	1	2		
愛媛県	4	10	0	0	3	8	2	4	6	18			4	18		
徳島県	1	2	0	0	2	4	1	2	1	2			2	4	2	4
高知県	1	2	0	0	0	0			0	0						
福岡県	39	162	9	17	37	150	11	22	40	164	17	31	45	170	19	36
佐賀県	3	12	0	0	2	6	1	2	3	10			3	12	1	2
長崎県	1	2	6	12	4	8	3	6	7	20	4	7	5	16	7	14
熊本県	**278**	**1,054**	**72**	**143**	**253**	**960**	**69**	**135**	**290**	**1,026**	**71**	**137**	**264**	**944**	**74**	**142**
大分県	13	52	1	2	11	42	3	6	12	52	2	4	9	36	3	6
宮崎県	10	44	2	4	9	32	1	2	9	46			6	32		
鹿児島県	8	28	1	2	7	28	3	6	5	20	4	8	5	20	3	5
沖縄県	3	12	0	0	2	8			2	8	1	2	2	8	1	1
海外	0	0	3	6	1	2	8	16	0	0	7	12			6	11
一般計	**518**	**1,912**	**183**	**359**	**504**	**1,798**	**165**	**323**	**540**	**1,886**	**223**	**418**	**518**	**1,822**	**277**	**524**
ジュニア計	1,098	1,912			1,638	2,628			1,612	2,467			1,759	2,735		
	小 378	639			小 343	594			小 190	323			小 180	306		
	中 679	1,210			中 667	945			中 870	1,291			中 646	875		
	高　41	63			高 628	1089			高 552	853			高 933	1554		

外国語部門　応募者国別集計

	国名	第28回（R5年）				第29回（R6年）				第30回（R7年）			
		英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計
1	アメリカ合衆国	117	1		118	85	1	1	87	100			100
2	インド	39			39	38			38	49			49
3	スペイン	2	46		48	1	61		62	2	41		43
4	日本	20			20	22		5	27	27	1	2	30
5	クロアチア	33			33	25			25	30			30
6	イギリス	47	1		48	24	1		25	28			28
7	アルゼンチン		22		22	1	41		42		23		23
8	ルーマニア	22	1		23	11	1		12	20	2		22
9	ポーランド	16			16	14	1		15	20	1		21
10	イタリア	8			8	8	1		9	19			19
11	フィリピン	26			26	12			12	16			16
12	オーストラリア	8			8	10		1	11	16			16
13	メキシコ	1	14		15	1	21		22	1	14		15
14	カナダ	13		1	14	10		1	11	15			15
15	グアム(USA)※	42			42	10			10	13		2	15
16	ニュージーランド	10			10	13			13	14			14
17	ドイツ	9	1		10	7	3		10	12	1		13
18	ブルガリア	11			11	13			13	12			12
19	ナイジェリア	5			5	5			5	12			12
20	セルビア	4			4	14			14	8		1	9
21	フランス	1	1		2		1		1	5	3		8
22	スリランカ	4			4	2			2	7			7
23	キューバ		2		2	1	5		6		6		6
24	ペルー		2		2		3		3	2	4		6
25	香港※	1			1	2			2	6			6
26	中国			9	9	1		6	7	1		4	5
27	ロシア	3		1	4	5		1	6	4		1	5
28	オランダ	3			3	6			6	5			5
29	コロンビア		1		1	2	3		5		5		5
30	チリ		5		5		3		3		5		5
31	イラン	2			2	5			5	4			4
32	トルコ	3			3	3			3	4			4
33	ザンビア				0	1			1	4			4
34	マレーシア	4		2	6	12		2	14	2		1	3
35	インドネシア	4			4	4			4	3			3
36	ベルギー	2			2	2			2	3			3
37	ガーナ	1			1	1		1	2	3			3
38	スイス	3			3	1			1	2	1		3
39	パキスタン	2			2	1			1	3			3
40	ギリシャ	1			1	1			1	3			3
41	ポルトガル		1		1		1		1	2	1		3
42	チェコ				0	1			1	3			3
43	モンテネグロ	2			2	5			5	2			2
44	ハンガリー	3			3	4			4	2			2
45	ブラジル	5	9		14	1	1		2	2			2
46	ベネズエラ		2		2		2		2		2		2
47	ベトナム	1			1	2			2	2			2
48	アラブ首長国連邦	1			1	2			2	2			2
49	シンガポール	2			2	1			1	1		1	2
50	バングラデシュ	2			2	1			1	2			2

	国名	第28回（R5年）				第29回（R6年）				第30回（R7年）			
		英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計
51	スウェーデン				0	1			1	2			2
52	台湾	2		1	3				0	1		1	2
53	ケニア	1			1				0	2			2
54	アイルランド	3			3	4			4	1			1
55	南アフリカ				0	3			3	1			1
56	ウルグアイ		6		6		2		2		1		1
57	マルタ	2			2	1			1	1			1
58	アルジェリア	1			1	1			1	1			1
59	オーストリア				0	1			1	1			1
60	イスラエル	1			1				0	1			1
61	アゼルバイジャン	1			1				0	1			1
62	ネパール	1			1				0	1			1
63	ウズベキスタン	1			1				0	1			1
64	セントルシア				0				0	1			1
65	カザフスタン									1			1
66	グアテマラ										1		1
67	タジキスタン									1			1
68	デンマーク										1		1
69	トリニダードトバコ									1			1
70	ノルウェー	1			1	3			3				0
71	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2			2	2			2				0
72	エジプト	1			1	1			1				0
73	韓国	1			1	1			1				0
74	プエルトリコ		1		1		1		1				0
75	パラグアイ		1		1	1			1				0
76	ラトビア				0	1			1				0
77	ボリビア				0		1		1				0
78	オマーン				0	1			1				0
79	アンゴラ						1		1				0
80	コスタリカ						1		1				0
81	南スーダン					1			1				0
82	スロベニア	1			1				0				0
83	キプロス	1			1				0				0
84	ウクライナ	1			1				0				0
85	タイ	1			1				0				0
86	フィンランド	1			1				0				0
87	バルバドス	1			1				0				0
88	モロッコ	1			1				0				0
89	ジンバブエ	1			1				0				0
90	リトアニア	1			1				0				0
91	ジャマイカ				0				0				0
92	ドミニカ				0				0				0
93	チュニジア				0				0				0
94	ニカラグア				0				0				0
95	ジョージア				0				0				0
96	エクアドル				0				0				0
97	サウジアラビア				0				0				0
	応募者数合計	510	117	14	641	413	156	18	587	511	113	13	637
	応募句数	952	225	27	1204	771	298	36	1105	962	215	22	1199
	国数	62	18	5	※71	57	22	8	※67	59	18	8	※67

※グアムは米国に、香港は中国に数えた

第30回「草枕」国際俳句大会報告

第30回「草枕」国際俳句大会の表彰式（当日投句も含む）は２０２５年11月15日、熊本市中央区の市民会館シアーズホーム夢ホールに約２５０人が参加して行われました。

夏目漱石が第五高等学校の英語教師として熊本に降り立った１８９６（明治29）年から１００年になるのを記念して１９９６（平成８）年にスタートした本大会も２０２５年には30回の節目の大会を迎えました。大会には夏目漱石顕彰とともに、熊本市名誉市民の俳人・中村汀女をしのび、俳句都市・熊本を国際的に発信するという目的もありますが、記念大会となった今年は新しい試みにも幾つか取り組みました。

その一つが外国語部門の大賞受賞者に福田令寿賞を贈ることです。福田令寿は宇城市出身で、１８９３（明治26）年、20歳で単身渡英、エジンバラ大学などで医学を学び、帰熊後は熊本の医療の発展や社会事業に取り組み、熊本市の名誉市民ともなりました。福田令寿賞は福田令寿の孫にあたる福田病院の福田稠理事長から寄金をいただき、大賞受賞者を熊本にお招きするものです。今回の受賞者のファラー・アリさん（英国）は残念ながら欠席となりましたが、心温まるメッセージをお寄せいただきました。

また、一般部門に（株）九州伝播から「二百十日賞」、ジュニア部門に舒文堂河島書店から「三四郎賞」をいただきました。これで『草枕』『二百十日』、『三四郎』と熊本ゆかりの作品が並ぶことになりました。

また記念シンポジウム「世界で愛される俳句　今なぜ地球俳句か」を開催。岩岡中正・大会会長の進行で、井上泰至・日本伝統俳句協会会長、井尻香代子・京都産業大学文化学部教授、西川盛雄・熊本大学名誉教授が、それぞれの立場から世界に広がる俳句の魅力を語り合いました。

30回大会の特徴は各部門の参加者と入賞された方々が熊本県内はもとより県外に広がったことがあり、また外国語部門では英語による投句者が多かったことです。スペイン語、中国語による投句受け付けもこの大会が貴重な機会となっており、「国際」という冠がますます意味を持ってきたように思います。今後のご協力をよろしくお願い致します。

実績一覧と外国語部門の国別統計などもご覧になって下さい。

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会事務局長　**高峰　武**

部　門		応募者（人）	応募作品（句数）
事前投句一般部門		518	1,822
インターネット投句部門		277	524
ジュニア部門	小学校	180	306
	中学校	646	875
	高校生及び18歳以下	933	1,554
	（ジュニア部門合計）	(1,759)	(2,735)
外国語部門		637(67ヶ国)	1,199
当日投句部門		131	462
写真俳句部門		36	86
応募　合計		**3,358**	**6,828**

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会委員

名誉会長　大西一史　熊本市長
会　長　岩岡中正　熊本大学名誉教授、日本伝統俳句協会名誉会長、「阿蘇」名誉主宰
副会長　西川盛雄　熊本大学名誉教授、国際俳句協会会員
〃　福永満幸　「水葱」俳句会主宰
委　員　石櫃仁美　（一財）熊本市文化スポーツ財団理事長

【以下50音順】

〃（監事）岡内ゆりか　熊本市文化創造部文化政策課　課長
〃　小野友道　熊本大学名誉教授、（一財）熊本市国際交流振興事業団理事長
〃　穀本純二　くまもと写真俳句同好会代表、元熊本日日新聞社写真部長
〃　富田一哉　熊本日日新聞社文化部長
〃　西口裕美子　「霏霏Ⅱ」編集事務局長
〃　西村泰三　「松」編集・発行人
〃　前山光則　作家
〃　光永忠夫　熊本県俳句協会会長
〃　村田由美　草枕交流館館長
〃　山口孝徳　熊本信愛女学院高等学校教諭
〃（監事）吉村隆之　くまもと漱石倶楽部会長
事務局長　高峰武　熊本学園大学招聘教授

第30回「草枕」国際俳句大会

〈主　催〉
「草枕」国際俳句大会実行委員会、熊本市

〈共　催〉
熊本県文化協会、熊本日日新聞社、（一財）熊本市文化スポーツ財団

〈協　賛〉
瑞鷹（株）、舒文堂河島書店、ＪＡグループ／くまもと売れる米づくり推進本部、（株）お菓子の香梅、福井市、松山市、社会医療法人ましき会益城病院、社会医療法人寿量会熊本機能病院、医療法人博麗会のぐち皮ふ科、友田皮ふ科医院

〈特別協賛〉
社会医療法人愛育会福田病院、（株）九州伝播

〈後　援〉
（一社）現代俳句協会、（公社）日本伝統俳句協会、（公社）俳人協会、国際俳句協会、（一財）熊本公徳会、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会、（一財）熊本市 国際交流振興事業団、ＲＫＫ、ＴＫＵ、ＫＫＴ、ＫＡＢ、ＦＭＫ、ＦＭ７９１、熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、くまもと漱石倶楽部、草枕ファン倶楽部

社会医療法人 愛育会
福田病院

地域周産期母子医療センター

産科・婦人科・小児科・新生児内科・乳腺外科・肛門外科・東洋医学漢方診療科
麻酔科（橋本正博）

〒860-0004　熊本市中央区新町2-2-6　TEL：096-322-2995

社会医療法人ましき会
益城病院
MASHIKI HOSPITAL

〒861-2232
上益城郡益城町馬水 123
☎096-286-3611

精神科・心療内科・小児科（児童思春期）・歯科

認知症・もの忘れ・うつ・不眠
アルコール問題・思春期の相談
児童こころの悩みなど

理事長：犬飼 邦明　院長：渡邊 信夫

医療法人博麗会

のぐち皮ふ科

皮膚科
形成外科

理事長　野口 博光
院　長　久保 正英

〒861-3106
熊本県上益城郡嘉島町上島 964-1
（嘉島町役場斜め前）
TEL.096-237-4112
FAX.096-237-4113

URL. https://nogcli.jp/

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
14:30～18:00	●	●	●	休	●	休

株式会社九州伝播 事業紹介

近年、世界の経済に急激なグローバル化が進んでいます。株式会社九州伝播は 2010 年に立ち上げ、グローバル化の波に乗り、ニッチなマーケットのニーズを聞き入れ、製品を開発してきました。

会社設立当初には、くまモンの誕生と共に、くまモン縫いぐるみの設計、生産、販売を手掛け、くまモン人気の盛り上げに力を添えて来ました。

現在は主に LED サイン、LED サイネージなど、広告宣伝、交通信号用途の製品の開発、委託生産、販売を行っています。熊本中心街の COCOSA ビジョン、籠町ビジョンなどを手掛けました。

LED を使用したこんな商品が欲しい、でもどこにも販売されていない、などの悩みがある時には是非声をかけて下さい。最善の解決策を作らせて頂きます。

どうぞ宜しくお願い致します。

住所：熊本市東区江津二丁目 14 - 18
代表取締役：　徐　海涛
電話：090-6293－8689
Email：info@kyushu-denpa.com

伝統と風土が織りなす匠の酒

江戸時代末期
肥後の国 川尻町で
酒造りを始めて
百六十年

清酒「瑞鷹」
東肥「赤酒」

くまもとの水と
くまもとの米
伝統のある
老舗の技で醸しだす
くまもとの地酒です。

本伝 東肥赤酒

芳醇純米酒 瑞鷹

こころのうるおい、醸(かも)します。
瑞鷹株式会社
ZUIYO
熊本市南区川尻四丁目6-67 〒861-4115
TEL 096・357・9671 FAX 096・357・8963

飲酒は20歳になってから。

お米の豆知識

お米のいろいろな栄養素

ごはんには、炭水化物を中心に、たんぱく質やビタミン・ミネラル類など私たちが健康的な生活をするために必要な栄養素がたくさんつまっています。

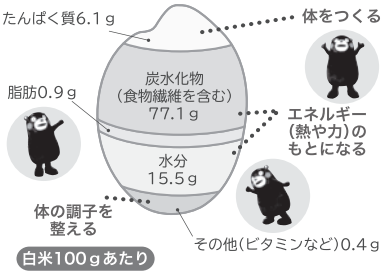
玄米

収穫されたお米のもみ殻を取り除いたもの

精白米

玄米からぬかと胚芽を取り除いたもの
給食のお米は精白米

お米のおもな成分とその働き



白米100ｇあたり

JAグループ熊本　くまもと売れる米づくり推進本部　くまもとのお米 検索

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL

社会医療法人 寿量会

熊本機能病院

24時間救急

会長・総院長 米満 弘之
理事長 米満 弘一郎
院長 寺本 憲市郎

(財)日本医療機能評価機構認定医療機関

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8番1号　TEL.096・345・8111 FAX.096・345・8188

診療科

- 整形外科
- 形成外科
- 小児形成外科
- 救急科
- 外科
- リウマチ科
- 脳神経内科
- リハビリテーション科
- 脳神経外科
- 内科
- 循環器内科
- 血管外科
- 放射線科
- 皮膚科
- 麻酔科 (今泉隆志)
- 耳鼻咽喉科
- 消化器外科

併設施設

- ◇ 介護老人保健施設 清雅苑
- ◇ ホームケアサポートセンター
- ◇ 指定運動療法施設 熊本健康・体力づくりセンター
- ◇ 熊本加齢医学研究所
- ◇ 地域交流館
- ◇ 熊本市北3地域包括支援センター
- ◇ 機能デイトレ
- ◇ 熊本圏域地域リハビリテーション広域支援センター
- ◇ なないろ森の保育園

友田皮ふ科医院

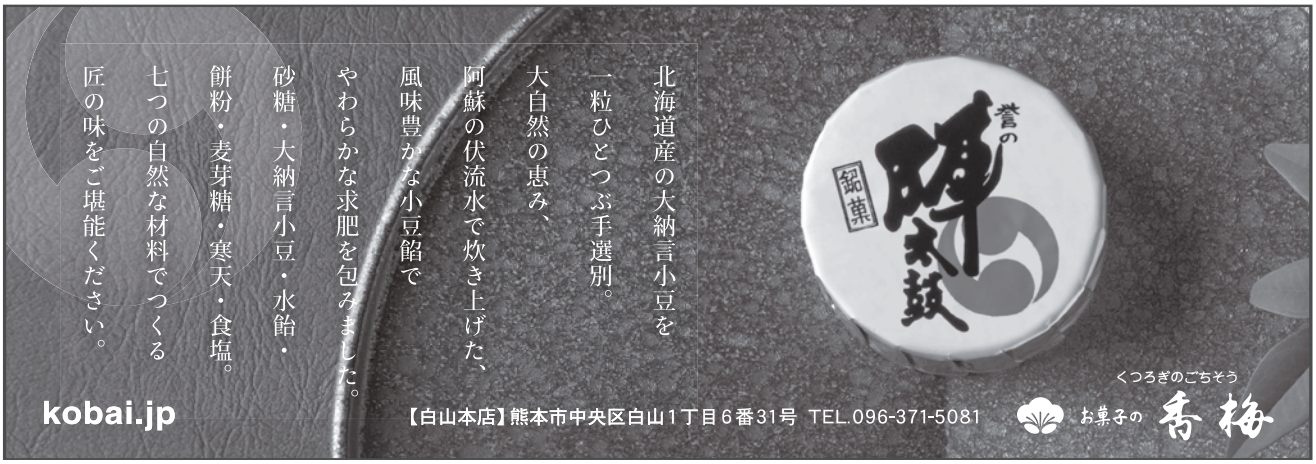
院長 友田哲郎

〒 861-1112 熊本県合志市幾久富 1909-964 ☎096-248-6211

松山はいく

正岡子規のふるさと・松山では、まち歩きの「ハイキング」と「俳句」をかけて名づけられた観光まち歩きガイド『松山はいく』が活躍中!!道後温泉や松山城以外にもお遍路体験をしながら石手寺を巡ったり、吟行句を地酒ラベルにしたりするなどオリジナリティあふれるコースをたくさんご用意しています。ご予算やお時間など、お気軽にご相談ください。
詳しくは、お電話又はHP:https://matsuyamahaiku.jp まで。

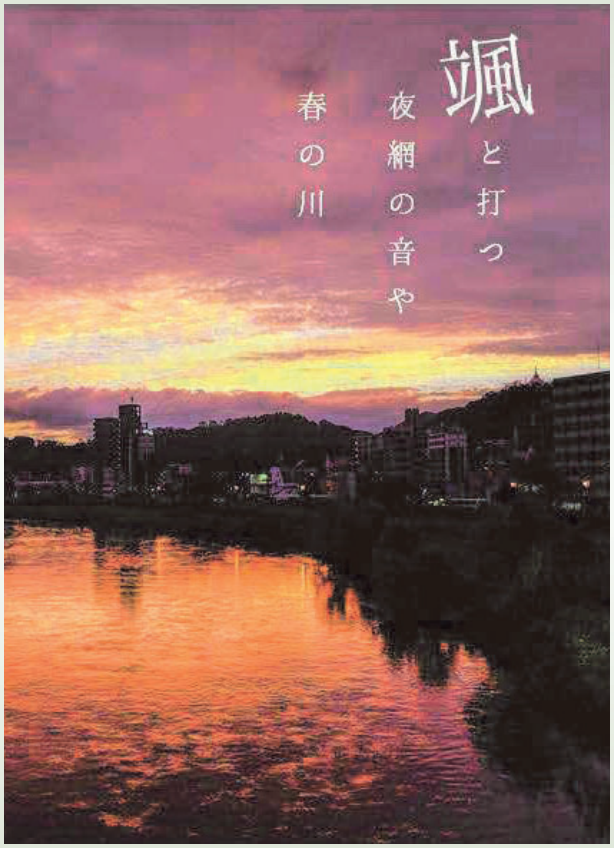
※お問い合わせ先※
『松山はいく』事務局
所在地:
愛媛県松山市三番町3-9-3
K-13ビル5F
TEL:089-945-6445
受付:10:00～17:00
松山はいく 検索



[漱石マップ]

熊本観光ガイドより

漱石の熊本俳句①



颯と打つ夜網の音や春の川

「白川」と前書きのついた明治31（1898）年の作。熊本市内を流れる白川で投網を打っているのだが、さっと網の開く音だけが聞こえる。

※ 坪内稔典『漱石くまもとの句200選』
写真提供　キロクマ！

漱石の熊本俳句②

しめ縄や春の水湧く水前寺

「水前寺」は熊本を代表する公園。園内に出水神社がある。「しめ縄や」としめ縄を強調し、その神域の湧き水に感動している。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

漱石の熊本俳句③

我に許せ元日なれば朝寝坊

明治32（1899）年、漱石は高浜虚子、河東碧梧桐の両名あてに年賀状を出した。その年賀はがきに（略）記されたのがこの句。

※ 坪内稔典『漱石くまもとの句200選』

漱石の熊本俳句④

行く年や猫うづくまる膝の上

猫を膝の上において一年を顧みているのである。（略）掲句はともかくも穏やかな年末風景である。「吾輩は猫である」という稀代な作品が『ホトトギス』に連載され始めるのは明治38年。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

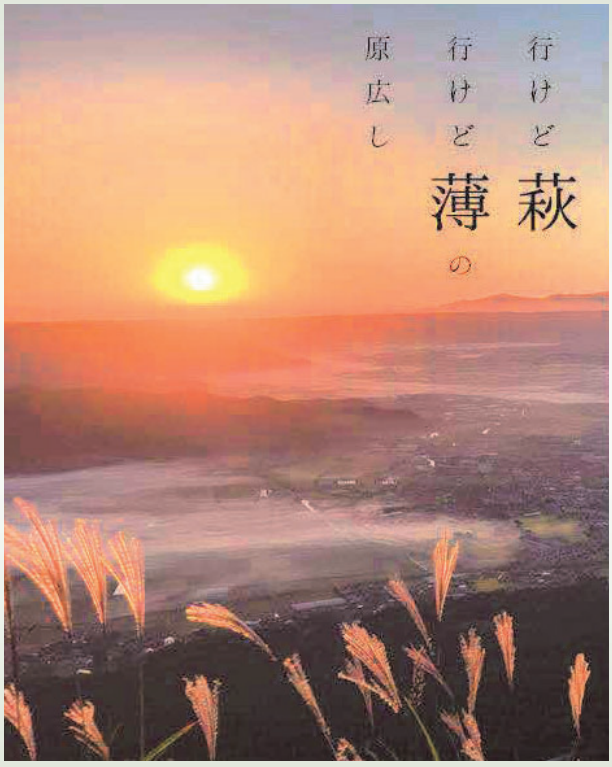
漱石の熊本俳句⑤

凩や海に夕陽を吹き落す

明治29年11月14日から19日迄天草・島原地方へ修学旅行の付添で旅をしている。この句は富岡あたりから天草灘に沈む夕日を見て詠んだものと思われる。（略）子規は「雄健な句」と言う。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」
写真提供　キロクマ！

漱石の熊本俳句⑥



行けど萩行けど薄の原広し

この俳句は、明治32年に漱石が阿蘇の旅を詠んだ俳句のうちの一句。（略）「行けど」を繰り返すことで、次々とひろがりゆく草原のパノラマと、「終日あらぬ方にさまよふ」旅人の心の中に次々と湧き上る不安が表現されている。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」
写真提供　キロクマ！

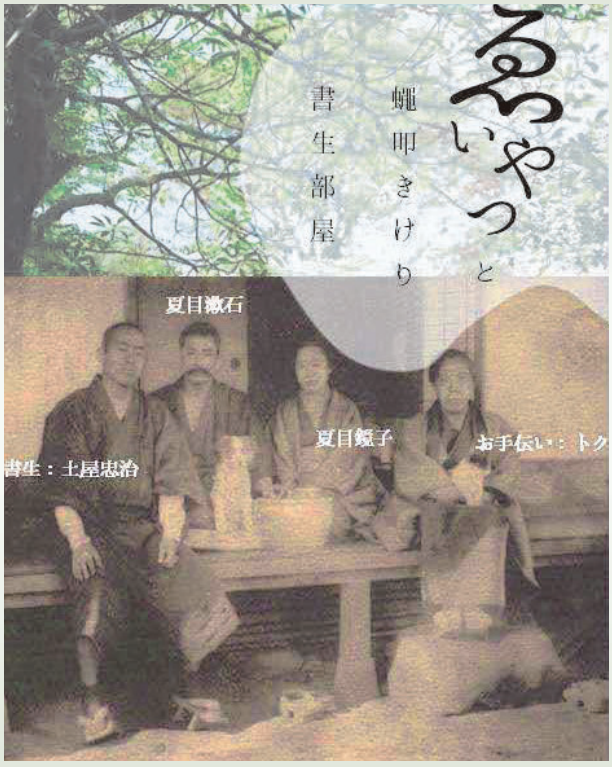
漱石の熊本俳句⑦

いかめしき門を這入れば蕎麦の花

文化財指定の旧制五高表門は赤煉瓦の堂々たるつくり。しかし明治二十二年の竣工から昭和のはじめまでは、表門から校舎のある中門の間にはまだ畑があった。いかにも九州の最高学府にふさわしいいかめしい赤い門と、一面にひろがる白い可憐な蕎麦の花のコントラストが見事。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

漱石の熊本俳句⑧



ゑいやつと蠅叩きけり書生部屋

「えいやっ！」と声をかけて蠅を叩いている。にぎやかな書生部屋の光景だ。熊本時代の漱石の家（旧飽託郡大江村にあった熊本における第三の家。今は水前寺公園裏に移築されて保存されている）には、五高生の書生が二人いた。（以下略）

※ 坪内稔典『漱石くまもとの句200選』
写真　松岡譲編『漱石写真帖』昭和4年、第一書房より

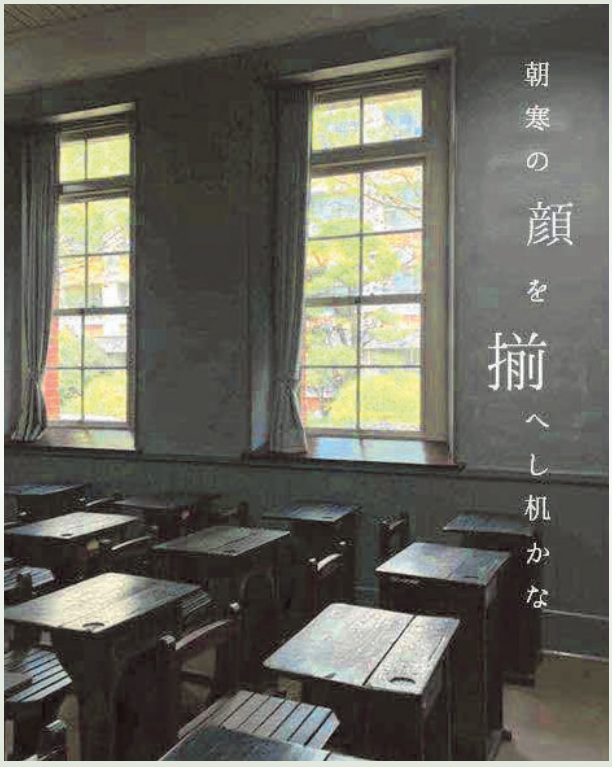
漱石の熊本俳句⑨

午砲打つ地城の上や雲の峰

熊本城は明治10（1877）年の西南戦争で焼け落ち、漱石がいたときには熊本城の天守閣はなく、城域には第六師団司令部が置かれていた。午砲は月見櫓跡に山崎町方面に向かって据えられていた。熊本城跡を詠んだ漱石の句はない。かろうじてこの句が熊本城をしのぶ句になっている。

※ 村田由美『漱石がいた熊本』

漱石の熊本俳句⑩



朝寒の顔を揃へし机かな

「朝寒の顔」とは省略のよく利いた把握で、1時間目の緊張が伝わってくる。先生が厳しい漱石であればなおさらである。ちょっとしたユーモアもある。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

第2部　これまでの歩み

（1回から29回まで）

松岡 譲編『漱石写真帖』（昭和４年、第一書房）の第五高等学校卒業生記念。写真中列右から２人目が夏目漱石。漱石の熊本時代は、明治29（1896）年４月から、明治33（1900）年７月まで４年３か月に及んだ。

熊本からの俳句発信

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会　会長　岩岡中正

平成八年に夏目漱石来熊百年を記念して始まった「草枕」全国俳句大会は、「草枕」国際俳句大会と名称を変えつつ、本年度めでたく第三〇回を迎えることができました。これもひとえに、参加された全国・世界の皆さんや行政の支援、実行委員会とこれを支えてきたスタッフの皆様の御尽力によるものと、あらためて感謝します。

本大会は、熊本時代に五高教師であり俳人であった漱石の小説「草枕」をキーワードに、熊本出身の名誉市民で俳人の中村汀女の顕彰も含めて、俳句を通して熊本から全国や世界への発信をしてきました。これは熊本の地域（ローカル）おこしと、ここから世界（グローバル）へのいわば「グローカル」な文化発信をめざして始められましたが、今日では、「熊本の漱石」「熊本の俳句」が全国、海外に認知されてきております。心から感謝します。また、かつて叫ばれた「地域の時代」や「国際化の時代」が、ともすればやや勢いがない今日、この「草枕」国際俳句大会が全国有数の規模の国際大会となったことは、何よりのことであります。さらには当初より「ジュニア部門」を設け若者たちの俳句創作を支援してきたことも、次世代への文化の継承に貢献してきたと思います。

熊本市の文化政策事業としてはじまった本大会も今日、実行委員会方式での開催へと変わり、さまざまな課題も抱えていますが、どうか今後ともよろしく御支援下さるようお願い致します。

第1回 '96くまもと漱石博 漱石の玉手箱

―俳句とイメージ入賞作品集―

（平成8年）

ご挨拶

「草枕」全国俳句大会委員会
委員長　首藤　基澄

夏目漱石来熊100年を記念して創設されました「『草枕』全国俳句大会」にご参加くださいましてありがとうございました。全国大会にふさわしく全都道府県から、さらには外国のHAIKU愛好者から多数の力作が寄せられ、その総数は１万５千点に達しました。特に俳画やイメージ写真などは、全国どこにもない試みとして反響を呼び、予想を遥かに越える日本文化の広がりを感じました。

漱石は近代の日本について深く考察し、「外からおつかぶさつた他の力で已むを得ず」開化した外発的な開化（近代化）で、「内から自然に出て発展すると云ふ意味で丁度花が開くやうにおのづから蕾が破れて花弁が外に向ふ」（「現代日本の開化」）西洋の開化と区別しております。外圧による已むを得ない（仕方がない）開化ということになります。そこで、その外発的な開化を内発的に変えていくことを考えました。「草枕」は漱石の「内から自然に出て発展」した「俳句的小説」の傑作でしたが、考えてみますと俳句は日本人の「内から自然に出て発展」した韻律の結晶と言えます。

大変遅くなりましたが、入賞作品集をお届けいたします。日本の近代を誰よりも深耕した漱石につらなる試みの１つとしてご鑑賞いただければ幸いです。

お力添えくださいました選者の先生方を始め、関係者の皆様方に厚くお礼申しあげ、今後ともご参加、ご支援くださいますようお願いいたします。

事前投句・一般部門

漱石大賞

来し方は語らず今の涼しさに
熊本県山鹿市　小南やちよ

優秀賞

首すじの吹かれてゐたる羽抜鶏
福岡県宗像市　占部　詩子

驛長の夏爐を焚いて切符賣る
福岡県田川市　蔵本はるの女

日本航空賞

神楽面とり牧守の顔となる
福岡県高田町　川上　訓子

◆穴井　太　選

猫はただ髭で答へる漱石忌
秋田県秋田市　北野　邦生

つばくらめ空がゆかいになってくる
熊本県砥用町　山田　節子

父の日の広き水田を眩しめり
熊本県小川町　安達　久子

漱石忌各駅停車の汽車に乗る
愛知県名古屋市　金子ひさし

◆稲畑　汀子　選

さりげなく二人を残し蛍の夜
佐賀県唐津市　堤　すみ女

クリスマス草臥れてエナメルの靴
兵庫県神戸市　元田千重子

掌の上で吾れを戚しぬ子かまきり
千葉県成東町　藤田　仍子

空梅雨といふ裏切りに似たるもの
熊本県熊本市　内藤　悦子

◆伊藤　柏翠　選

神楽面とり牧守の顔となる
福岡県高田町　川上　訓子

草枕成りし文机春埃
熊本県熊本市　金沢　富水

大花野火を噴く山のふところに
福岡県福岡市　川上　富江

驛長の夏爐を焚いて切符賣る
福岡県高田町　蔵本はるの女

草枕ゆかりの宿の洪園扇
熊本県西合志町　木下　絹子

◆上田五千石　選

さういへば父も裸が好きなりし
熊本県熊本市　鮎川　英子

来し方は語らず今の涼しさに
熊本県山鹿市　小南やちよ

言ふよりは先に動きて涼しかり
熊本県熊本市　村上　惟輝

驛長の夏爐を焚いて切符賣る
福岡県高田町　蔵本はるの女

草枕ゆかりの宿の洪園扇
熊本県西合志町　木下　絹子

離農とはころびに似たり半夏草
熊本県小川町　山口とほる

三四郎池を巡りて卒業す
東京都新宿区　衣川　洋子

◆金子　兜太　選

兵たりし老の草笛ふと止みぬ
熊本県宇土市　井上　松雄

六月や群れねば伏目がち少年
熊本県熊本市　野田　信章

ワイパーの消しても消しても降る緑
熊本県菊明町　二宮　英子

虫干しのこころの虫に獨り坐す
宮崎県宮崎市　田島　魚十

漱石の系図の中にかたつむり
熊本県山鹿市　大山　敦子

◆川崎　展宏　選

ハンカチを抛げて火口を離れけり
福岡県北九州市　大森　楠男

蛍見にやわらかな靴はいて出る
熊本県熊本市　竹原とき江

釣舟草切れば吾が手に風移り
熊本県一の宮町　高橋　郁子

風鈴や猫は尻尾で夢をみる
東京都世田谷区　木村　冬樹

姉妹ほたるの籠は一つなる
熊本県熊本市　岩岡　明子

◆窪田　丈耳　選

海のどか赤き錆浮くロシア船
北海道小樽市　村上　千代

上向いてゆっくり歩こう樟若葉
熊本県菊陽町　酒井喜久江

岬まで水仙の花老尼僧
熊本県熊本市　柏原喜久恵

麦は穂に天領日田の雛納め
熊本県熊本市　野田　信章

ゆっくりと野菜煮ている朧の夜
熊本県熊本市　橋田サカエ

◆倉田　紘文　選

みな知らぬふりして通る蝮草
熊本県熊本市　上須崎ゆたか

蛍見て戻りし部屋は点さずに
熊本県熊本市　永野由美子

まひまひの影の大きく廻りをり
香川県高松市　永森ケイ子

首すじの吹かれてゐたる羽抜鶏
福岡県宗像市　占部　詩子

鬼やんま峠の茶屋で別れけり
熊本県熊本市　吉田夕起夫

◆首藤　基澄　選

しあはせという手話おぼえ合歓の花
福岡県北九州市　中村　重義

それからのふたりは黙しソーダ水
兵庫県神戸市　玉木　瑳伸

夏めくやハングル語聞く漱石館
熊本県熊本市　長谷　恵子

夫の敵またひとり逝く梅雨の底
福岡県福岡市　高尾　方子

漸くに田の癖わかる落し水
福岡県久山町　実渕真津子

◆鷹羽　狩行　選

骨肉の争ひのあり菊人形
青森県八戸市　下斗米精一

茄子の馬ふんばる力なくなりし
福岡県直方市　佐藤　綺峰

そのうちに腰までつかり鮎掛くる
熊本県熊本市　山本　淑子

大津絵の団扇の鬼に風もらふ
福岡県北九州市　大島　欣哉

兄よりも柄を長くして捕虫網
東京都日野市　日比野睦子

◆長谷川　櫂　選

早乙女の頃がなつかし蓑笠も
熊本県熊本市　吉永みすえ

蕪一つ心の如く描かれし
埼玉県川越市　峠　素子

夏ひばり紛るる雲もなかりけり
福岡県大川市　石橋イツ子

石垣は武者返しとや松の花
兵庫県神戸市　川嶋　和子

青春の一書はこころ漱石忌
石川県内灘町　豊原　月右

◆藤﨑　久を　選

もう誰も来ぬ燈籠と更けにけり
熊本県熊本市　上須崎かつみ

何するも雨音とある梅雨ごもり
熊本県熊本市　東　千秋

物音の空より聞こえ明易し
大阪府堺市　玉村美代子

黒南風や沖見えぬ日も沖を見る
熊本県水俣市　浜崎　景子

郭公に動きはじめし山の朝
熊本県熊本市　武藤　和子

事前投句・ジュニア部門

漱石大賞

ひんやりと運動場の土も秋
熊本県　城南小6　小林　翔

風鈴や風の小声を音にして
熊本県　松橋中3　稲田　沙織

昼顔や目もとやさしき漁夫の妻
沖縄県　北谷高3　末吉　太

優秀賞

くりのみはいがいがばかりいじっぱり
熊本県　大野小4　柴尾　綾

犬の尾のたれ下がり来る大暑かな
熊本県　熊本市立高2　西山　順子

日本航空賞

黒板に文字を残して夏休み
北海道　余市町立西中2　富本　哲也

外国人部門

漱石大賞　Souseki Taishou (Grand Prize)

corn rows
stretch to the horizon - -
sun on the thunderhead
Lee Gurga（USA）

（訳）
コーン畠の列
地平線まで延びている…
入道雲の上には太陽
リー・ガーガ（米）

特　選　Tokusen（Second Prize）

In darkness
The dark river
Moving.
Jack Cain（Canada）
（訳）暗闇の中
暗い河が
動いている
ジャック・ケイン（加）

the coolness
a rock caught on a ledge
in the waterfall
Cor van den Heuvel（USA）
（訳）涼しさ
滝の岩棚に大きな岩が
ひっかかっている
コー・バン・デン・ヒューベルノ（米）

reflecting
the swallow's swift flight,
each roof tile
Geraldine C.Little（USA）
（訳）素早いつばめが飛ぶ
屋根の瓦のそれぞれに
影を映しながら
ジェラルテデムン（米）

Winter morning stillness
chopping wood
between the echoes
Byron T.Jackson（England）
（訳）冬の朝の静けさ
樹を切る音が
こだまの中で
バイロン・T・ジャクソン（英）

nearly dusk
the shadow of her tombstone
reaches his
Charles P.Trumbull（USA）
（訳）たそがれ近く
彼女の墓石の影が
彼の墓石にのびている
チャールス・P・トラムビル（米）

吟行投句

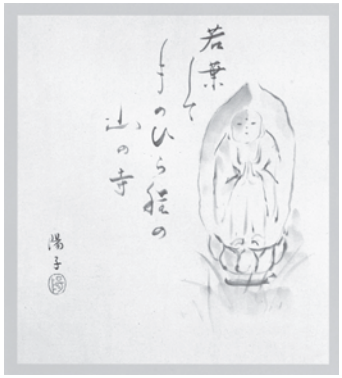
漱石大賞
露の碑のひとつ峠の茶屋の跡
熊本県八代市　西本　正子

大会当日投句

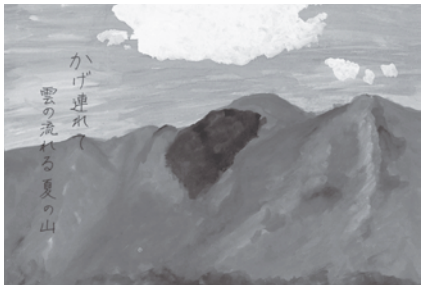
漱石大賞
猪垣と云はれて気づくほどのもの
熊本県熊本市　吉住　淳子

俳画部門

漱石大賞



「若葉して手のひら程の山の寺」（夏目漱石句）
熊本県熊本市　笠井　陽子



「かげ連れて雲の流れる夏の山」
熊本県　画図小5　村田　圭

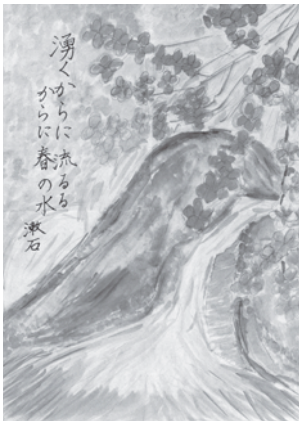
写真部門

漱石大賞

「盛夏の魚すくい」（江津湖）
熊本県熊本市　田中　龍治

子どもの俳句と絵部門

漱石大賞



「湧くからに流るるからに春の水」（夏目漱石句）
静岡県　吉田中3　三木由香子

「草枕」全国俳句大会参加者数調べ

行　事　名		参加者(応募者)	作品数	
事前投句	一般部門	1,599人	投句数	5,571句
〃	ジュニア部門	4,017人	〃	8,034句
〃	外国人部門	339人	〃	605句
イメージ作品	写真部門	310人	出品数	798点
〃	子どもの俳句と絵部門	219人	〃	219点
〃	俳画部門	225人	〃	362点
世界こどもハイクキャンプ		150人		
漱石の玉手箱		4,000人		
前夜祭		500人		
吟行		200人	投句数	297句
レセプション		200人		
江津湖ファミリーハイクカーニバル		1,000人		
大会当日投句		1,200人	投句数	1,294句
合計		13,959人	（総数	17,380）

事前投句作品（一般部門）の投句状況

都道府県	投句数（句）	投句者（名）	都道府県	投句数（句）	投句者（名）	都道府県	投句数（句）	投句者（名）
北海道	50	14	山梨県	2	1	香川県	58	19
青森県	12	4	長野県	20	7	愛媛県	60	15
岩手県	6	3	岐阜県	30	11	高知県	18	6
宮城県	24	6	静岡県	54	11	福岡県	804	222
秋田県	28	10	愛知県	76	23	佐賀県	116	31
山形県	18	6	三重県	20	7	長崎県	70	19
福島県	14	4	滋賀県	12	5	熊本県	2,859	760
茨城県	26	10	京都府	20	6	大分県	186	43
栃木県	52	17	大阪府	80	20	宮崎県	140	46
群馬県	14	5	兵庫県	126	43	鹿児島県	98	20
埼玉県	56	13	奈良県	22	7	沖縄県	24	8
千葉県	50	17	和歌山県	8	3	海外・ブラジル	4	1
東京都	178	55	鳥取県	16	3			
神奈川県	148	36	島根県	16	6	合　計	5,771	1,599
新潟県	10	3	岡山県	14	4			
富山県	6	2	広島県	30	12			
石川県	16	6	山口県	58	21			
福井県	16	6	徳島県	6	2			

審査講評

写真審査
大山謙一郎　栄田賀之　坂口芳枝　首藤基澄

俳画審査
佐藤帥魚　戸田東蔭　西村淳　宮中千秋

子どもの俳句と絵審査
葉祥明　今村潤子　大倉敬治　永松亮一

くまもとお城まつり 第2回「草枕」全国俳句大会 夏目漱石来熊記念

草枕の玉手箱 ―「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集―

（平成9年）

選者略歴（敬称略・50音順）

●事前投句 一般部門

穴井　太　「天籟通信」代表
伊藤通明　「白桃」主宰
稲畑汀子　「ホトトギス」主宰
岡田日郎　「山火」主宰
金子兜太　「海程」主宰
倉田紘文　「蕗」主宰
猿渡青雨　「さわらび」主宰
首藤基澄　「火神」主宰
鷹羽狩行　「狩」主宰
坪内稔典　「船団」代表
藤崎久を　「阿蘇」主宰
星野　椿　「玉藻」主宰
宮部鱒太　「夜行」主宰

●事前投句 ジュニア部門

今村潤子　「未来図」同人
岩岡中正　「ホトトギス」同人

●外国語部門

John E.Ingulsrud（ジョン E.イングルスルード）
九州ルーテル学院大学　人文学部教授
西川盛雄
熊本大学教育学部教授

●吟行部門

佐藤艸魚　「ホトトギス」同人
星永文夫　「霏霏」主宰
前田忠を　「春耕」同人

●当日投句部門

伊藤通明
岩岡中正
倉田紘文
猿渡青雨
坪内稔典
星野　椿
宮部鱒太

事前投句・一般部門

草枕大賞

大観峰まっ青に梅雨明けにけり
熊本県山鹿市　有働　博子

日本航空賞

にはとりを畳に上ぐる夜の出水
熊本県御船町　伊津野ひろ

特　選

◆穴井　太　選

浮かび出し海女の胸もと十字架（クルス）あり
埼玉県大宮市　前田　早苗

◆伊藤　通明　選

仲直りして草笛の良く鳴れり
愛知県岡崎市　水野　幸子

◆稲畑　汀子　選

にはとりを畳に上ぐる夜の出水
熊本県御船町　伊津野ひろ

◆岡田　日郎　選

ふるさとや城は若葉の中にあり
東京都練馬区　宮坂　和子

◆金子　兜太　選

背泳ぎの子ら噴煙を胸におく
福岡県北九州市　末次　正

◆倉田　紘文　選

刻かけて蟬美しく生れけり
熊本県熊本市　豊田　末子

◆猿渡　青雨　選

大観峰まっ青に梅雨明けにけり
熊本県山鹿市　有働　博子

◆首藤　基澄　選

新緑といえどこの城怒り肩
愛知県蒲郡市　三浦二三子

◆鷹羽　狩行　選

まだ匂ひ残つてをりし蛇の衣
福岡県大牟田市　目野　国子

◆坪内　稔典　選

露草や海女小屋あとといふところ
大分県中津市　遠入みつ子

◆藤崎　久を　選

庭木みな明治を語りつゝ涼し
熊本県熊本市　吉田　彩

◆星野　椿　選

滝落ちて音なき水に戻りけり
大阪府八尾市　西川　喜雄

◆宮部　鱒太　選

雁や哀しき人は城を見る
神奈川県大和市　三宅　新作

事前投句・ジュニア部門

草枕大賞

けむしたち道路横断いそげいそげ
福岡県　千手小6　山本　沙貴

我が悩み小さく見ゆる雲の峰
熊本県　錦ヶ丘中3　淋　康平

かたつむり時をとかして進みゆく
熊本県　氷川高2　今田　愛美

日本航空賞

城壁の穴より続く蟻の列
熊本県　熊大付中2　徳永　真帆

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Spider-in-waiting
slyly plays her
webbed harp
captures the audience

Elizabeth Cotton（エリザベス　コットン）
（New Zealand）

（訳）
蜘蛛が身構え
自ら張ったハープの弦（いと）を
奏でて お見事
お客様を捕まえる

特　選　Tokusen（Second Prize）

Rooftops drying
After summer storm
Steaming

Dan Pugh（ダン　ピュー）
（U.K.）

（訳）
夏の嵐が過ぎ去って
屋根の上が乾いてゆく
水蒸気の起っているさま

Mama's rhubarb pie
coolin' on the window
sill - -
"Think we can reach it ? "

Charles B. Rodning（チャールズ　B　ロドニング）
（U.S.A.）

（訳）
ママの焼くルバーブパイ
窓際で冷やしているぞ
「手が届くかなあ？」

dropping
from the sunlit sycamore
children's legs

Fred Schofield（フレッドショフィールド）
（U.K.）

（訳）
光いっぱいの
プラタナスから
ぶら下がっている
子供らの足いくつ

fallen chestnut burs
make it a difficult road
leading to the shrine

Kiyoshi Hannigan（キヨシ　ハンガン）
（U.S.A.）

（訳）
社に通じる
道いっぱいの栗のいが
なかなか進めない

T-shirt youth chatting
so close to the stone
rampart
Donjon in the haze

小野　善章
（大分県挾間町）

（訳）
石の城壁の際で
Tシャツの若者が
お喋りしている
靄にけむる天守閣

children race
to see where the cricket
w　a　s

Susan Stanford（スーザン　スタンフォード）
（U.K.）

（訳）
あっちかな、こっちかな
子供らが蟋蟀を
見つけようとして
先を争っている

picking up
the water pail
carrying the moon

Matthew (マシュー) Louvière (ルヴィエール)
(U.S.A.)

(訳)
水桶を手にとって
水に映る月を
運んでいく

the silence between
the lightening and
the thunder —
everything waits

Bernard L. (バナード L.) Einvond (アインボンド)
(U.S.A.)

(訳)
雷光と雷鳴の狭間で
万物が持つ
その沈黙の一瞬

MIT JEDEM TROPFEN
WIRD DER EISZAPFEN
SCHLANKER
DER SCHNEEMANN
VERKLUMPT

Klaus D. (クラウス D.) Wirth (ヴィルト)
(Germany)

(訳)
一滴ずつ溶けて
つららが細くやせていく
雪だるまの形が崩れて
ひとつかたまりになる

UGAO ZARDJALOG
OLUKA - PUŽEVI SU
POSREBRILI !
(Corner of a rusty gutter snails have turned into silver !)

Mirjana Božin (ミルヤナ ボジャン)
(Yugoslavia)

(訳)
錆び付いた樋(とい)の角っこ
蝸牛が銀色に変わって
光っているよ

吟行投句

草枕大賞

地図石の解けない今日の秋を知る
熊本県熊本市　岩下　良子

大会当日投句

草枕大賞

家中の鏡を磨く鶴くる日
熊本県熊本市　藤井眞理子

特選

◆伊藤　通明　選
種採ってみたくなるものばかりかな
熊本県熊本市　粟津　玲子

◆岩岡　中正　選
秋扇言の葉あふぎるたりけり
熊本県八代市　萱嶋　晶子

◆倉田　紘文　選
冬麗のみづうみ絹のごときかな
福岡県大牟田市　岡本　武三

◆猿渡　青雨　選
葱あまくなり一葉忌近づきぬ
熊本県熊本市　藤本とみ子

◆坪内　稔典　選
秋の夜の宿に力士とバレリーナ
長崎県諫早市　麻生　勝行

◆星野　椿　選
秋郊も此処迄来れば風の鳴る
熊本県大津町　武藤　規子

◆宮部　鱒太　選
家中の鏡を磨く鶴くる日
熊本県熊本市　藤井眞理子

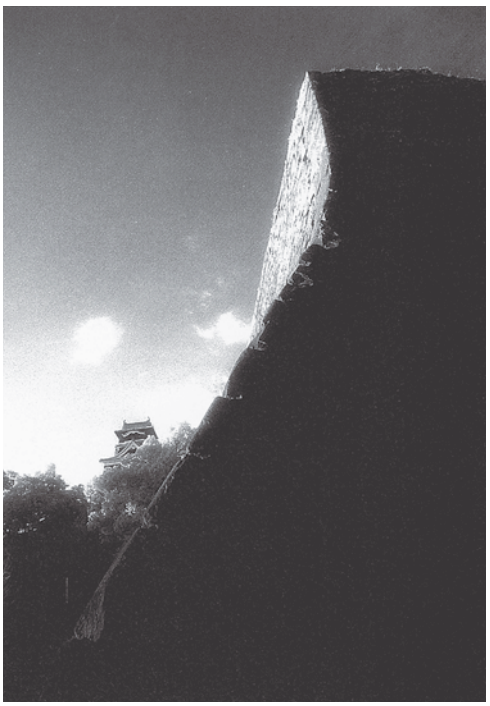
俳画部門

草枕大賞

午砲打つ地城の上や雲の峰（夏目漱石句）
熊本県熊本市　竹原　弘次

写真部門

草枕大賞



武者返し
熊本県熊本市　岡田　二郎

子どもの俳句と絵部門

草枕大賞

城のぞみ
なにをぞしのぶ
イチョウの木
熊本県熊本市　中島小6
松村　拓也

くまもとお城まつり

第3回「草枕」全国俳句大会　夏目漱石来熊記念

草枕の玉手箱 ―「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集―（平成10年）

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

音までも透きとほりたる岩清水
福岡県直方市　水上　翠人

日本航空賞

太平洋と彼を日傘に入れにけり
熊本県熊本市　寺尾　敏子

特　選

◆伊藤　通明　選
炎天の北を占めたり天守閣
熊本県玉名市　本田加志子

◆稲畑　汀子　選
宿題は持って来ただけキャンプの子
熊本県熊本市　嶋田　光子

◆鍵和田柚子　選
夾竹桃夜はわだつみの魂迎ふ
熊本県熊本市　中嶋　晨子

◆金子　兜太　選
沙羅愛でてなお夏萩に会う至福
京都府京都市　木村　良三

◆倉田　紘文　選
どれも名を持つ阿蘇の子のかぶと虫
福岡県北九州市　隈　可須奈

◆猿渡　青雨　選
空蟬の眼のほかは土の色
熊本県八代市　井上　芳秋

◆首藤　基澄　選
かなかなの声に明けゆく峡の里
熊本県矢部町　佐野　清江

◆鷹羽　狩行　選
空蟬の爪の力は葉裏まで
熊本県泗水町　田中フジコ

◆坪内　稔典　選
夏シャツへ阿部一族の貸し出さる
愛知県高浜市　中川　修古

◆藤﨑　久を　選
行く秋や墓掃くだけの竹箒
熊本県小川町　松岡　節

◆星野　椿　選
昼顔の這ひゆく先の道祖神
長崎県佐世保市　小林　幸子

◆宮部　鱒太　選
赤牛百頭呼べばすぐ来る驟雨（しゅうう）かな
熊本県荒尾市　村上　雅子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

さざ波の音が聞こえるいなほかな
熊本県　画図小6　坂井奈津子

中学生の部

入道雲ずしりと重い白カバン
熊本県　松橋中3　泉　大輔

高校生の部

合宿のTシャツ乾くまで裸
熊本県　第二高2　宮崎　正志

留学生の部

息とめて線香花火に火をつける
熊本県　熊本学園大学　米岡ジュリ

日本航空賞

火の国の秋を治める肥後の城
熊本県　三和中2　首藤　崇

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Morning sun's finger
Reaching down through hole in cloud
Switches off street-lamp

ダン　ビュー
Dan Pugh
(U.K.)

（訳）
早朝の旭の指先が
雲間からスーッと下に伸びてきて
街頭の灯を消していく

特　選　Tokusen（Second Prize）

Nasam-it nga chico
Natin-nag idjay karayan
Ag-gigian iti ikan.
（Chico fruit so sweet
Drops into clear
running stream
Fish swishing nearby.）

ウィルヘルミナ
Wilhelmina
J　ドゥルモンド
J. Drummond
(Philippine)

（訳）
とびきり甘いチコの実が
きれいな流れに落ちて
その側を魚がスイッと
走りぬける

maize long gone-
only proud stalks
porcupine the field

モイラ　クラーク
Moira Clark
(U.K.)

（訳）
玉蜀黍の収穫が終わり
茎が垂直に畠一面に拡って
山嵐の針のように
つづいている

Lane along the stream
following it down
and up.

ドゥシュコ　マタス
Duško Matas
(Croatia)

（訳）
径が一本川の流れに沿って
上ったり、下ったり
ずっと向こうまで
つづいている

Parfum sălbatic-
crizanteme galbene
in vaza de lut
（Wild scent-
yellow chrysanthemums
in the earthern vase）

ローラ　ヴェシアヌ
Laura Văceanu
(Romania)

（訳）
野生の香り- - -
土の花器に活けてある
黄色の菊の花

吟行投句

「草枕」大賞

えんま蟋蟀城の石垣ぐーんと反る　熊本県熊本市　松本　照子

特　選

盛衰のいまは小春の城として　熊本県熊本市　山澄　陽子
城守にこれより落葉きりもなし　熊本県熊本市　宮川ゆきえ
落葉掃く時々城を仰ぎては　熊本県熊本市　永野由美子
城壁の銃眼くらき秋日和　熊本県熊本市　上須崎かつみ
秋の声くらがり御門あたりより　熊本県熊本市　吉住　淳子
画用紙をはみ出す城の秋日和　熊本県熊本市　浜崎恵美子
ちょんがけの回る宇宙や城の秋　福岡県大牟田市　永岡　享子
四隅とは落着く居場所城の秋　熊本県熊本市　山澄　陽子
石蕗咲いて絵屏風暗き方とざす　熊本県熊本市　藤本　信義

佐藤　艸魚　選

盛衰のいまは小春の城として　熊本県熊本市　山澄　陽子
城守にこれより落葉きりもなし　熊本県熊本市　宮川ゆきえ
落葉掃く時々城を仰ぎては　熊本県熊本市　永野由美子

星永　文夫　選

城壁の銃眼くらき秋日和　熊本県熊本市　上須崎かつみ
秋の声くらがり御門あたりより　熊本県熊本市　吉住　淳子
画用紙をはみ出す城の秋日和　熊本県熊本市　浜崎恵美子

前田　忠を　選

ちょんがけの回る宇宙や城の秋　福岡県大牟田市　永岡　享子
四隅とは落着く居場所城の秋　熊本県熊本市　山澄　陽子
石蕗咲いて絵屏風暗き方とざす　熊本県熊本市　藤本　信義

大会当日投句

「草枕」大賞

山茶花の日のある方の一二輪　熊本県熊本市　嶋田　光子

特　選

動かざる水冷やかにありにけり　熊本県八代市　山下しげ人
ポケットに違ふ木の実のみぎひだり　熊本県合志町　大坪　蕗子
梨すするちちははの空濡れてくる　熊本県荒尾市　川口　一代
返り花濠にさざ波たってをり　鹿児島県鹿児島市　前迫　寛子
木の実手におなじ記憶のよみがえる　熊本県熊本市　栃原　綾子
水ナ底に秋の天地のありにけり　熊本県八代市　山下さと子
世にすこし離れて座る芒山　熊本県荒尾市　川口　一代

伊藤　通明　選

動かざる水冷やかにありにけり　熊本県八代市　山下しげ人

岩岡　中正　選

ポケットに違ふ木の実のみぎひだり　熊本県合志町　大坪　蕗子

鍵和田柚子　選

梨すするちちははの空濡れてくる　熊本県荒尾市　川口　一代

倉田　紘文　選

返り花濠にさざ波たってをり　鹿児島県鹿児島市　前迫　寛子

猿渡　青雨　選

木の実手におなじ記憶のよみがえる　熊本県熊本市　栃原　綾子

星野　椿　選

水ナ底に秋の天地のありにけり　熊本県八代市　山下さと子

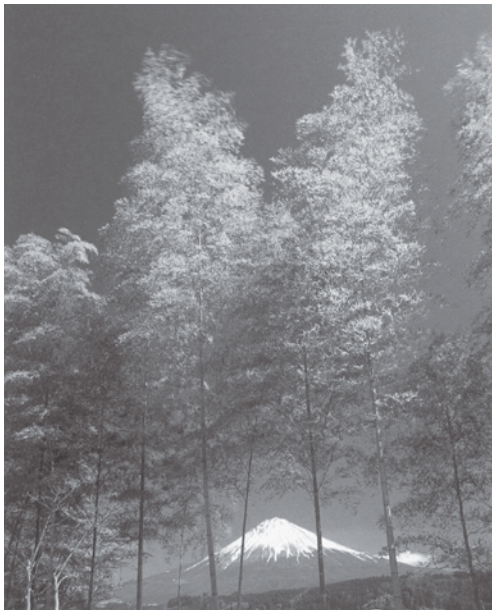
宮部　鱒太　選

世にすこし離れて座る芒山　熊本県荒尾市　川口　一代

写真部門

「草枕」大賞

風渡る竹林

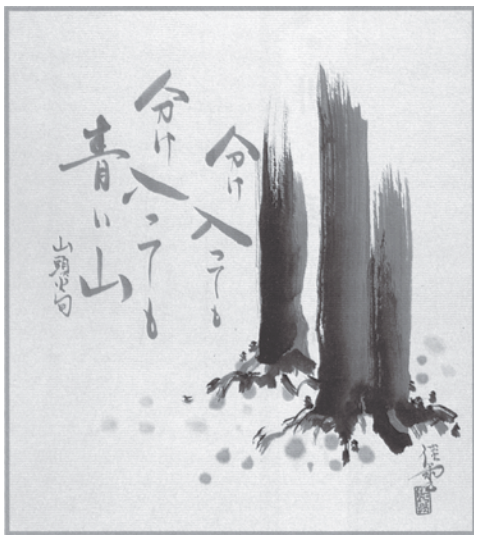


静岡県清水市　山田　英雄

俳画部門

「草枕」大賞

分け入っても分け入っても青い山（種田山頭火句）



熊本県益城町　荒木佳津子

くまもとお城まつり

第4回「草枕」全国俳句大会 夏目漱石来熊記念：中村汀女生誕プレ百年記念

草枕の玉手箱 ―「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集―（平成11年）

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇谷を水の出てゆく十三夜　東京都練馬区　緒方　輝

日本航空賞

清流にもどるはやさも江津出水　熊本県西合志町　坂田美代子

特　選

◆伊藤　通明　選

音立てゝ青芦に汐満ちて来し　熊本県菊池市　北村　君子

◆稲畑　汀子　選

いつも草取ってゐる手でありにけり　熊本県熊本市　吉住　淳子

◆岩岡　中正　選

炎昼のわが影に子を入れにけり　東京都町田市　原澤　舜司

◆有働　亨　選

板前が水捨ててゐる良夜かな　熊本県熊本市　橋口　ふみ

◆鍵和田柚子　選

花柊汝ひつそりと狂れてゆき　静岡県沼津市　石川　義倫

◆金子　兜太　選

風花や次の走者は屈伸す　神奈川県大和市　平綿　涼風

◆倉田　紘文　選

初恋の人の妹夏椿　大分県大分市　小幡　展代

◆黒田　杏子　選

能果てて夜も深みゆく稲光　熊本県熊本市　小夏　徳子

◆猿渡　青雨　選

峰々を稲妻飛びて阿蘇の闇　熊本県鹿本町　渡辺　純子

◆首藤　基澄　選

岩清水きらきら受胎告知の日　福島県郡山市　丹治　法男

◆坪内　稔典　選

阿蘇の山青春一つ歩き出し　愛知県名古屋市　梅村みつる

◆星野　椿　選

郭公や温泉宿をかこむ杉襖　熊本県熊本市　大塚ツユ子

◆宮部　鱒太　選

炎竹桃いつもお城は尖っている　熊本県荒尾市　野中りょう

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

大なわをみんなで飛べば風かおる　福井県　順化小6　吉田智香子

中学生の部

竹刀持つ確かな気持ち初稽古　熊本県　千丁中2　高井　幸一

高校生の部

蘭草刈り母の睡眠刈っていく　熊本県　氷川高2　松田有紀美

留学生の部

いなずまの綱を引き合う山と雲　広島県　広島大学　阮　文雅

日本航空賞

しがみつくセミのぬけがら熊本城　熊本県　楡木小6　東　亜裕実

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

a sleepy village
wrapped round the chimneys
scarfs of autumn mist

Ružica（ルチカ） Mokos（モコス）
（クロアチア）

（訳）
まだ明けやらぬ人里離れた村
数本の煙突の周りを秋靄のスカーフが
すっぽりと包み込んでいる

特　選　Tokusen（Second Prize）

Zufahrt zur Fähre.
Auf dem Asphalt,
plattgewalzt,
ein Arbeitshandschuh.

Erika von（エリカ フォン） Stetten（シュテッテン）
（ドイツ）

（訳）
フェリーへの進入路
アスファルトの上に
ペチャンコになった
軍手がひとつ

Bright colored fall vines
Explore that old brick building
With questing fingers

Brough（ブラウ） Prall（プロール）
（アメリカ）

（訳）
色鮮やかな秋の蔦が
古風な煉瓦づくりの壁を
探索する指先となって
拡がっている

lietna tišina :
na grani iznad vode
miruje konjic
（the summer silence :
on the bough above water
dragonfly at rest）

Stjepan（スティーパン） Rožić（ロツィッヒ）
（クロアチア）

（訳）
夏の日のしずけさ
水面に枝が垂れて
安らいでいる蜻蛉のひとつ

In snow disturbed
by bows & dancing, crane
begins to preen

Keith（キース） J. Coleman（コールマン）
（イギリス）

（訳）
鶴がおじぎをしてるよ
雪中で踊っているよ
さぁ身繕いのはじまりだ

Herrings silver shoal
Ravenous gull poised -
Pandemonium

Adrienne（アンドリエンヌ） Wedgwood（ウエッジウッド）
（アメリカ）

（訳）
銀色のにしんの群れがはねて
鴎が空から狙って急降下ー
とその一瞬の水面の修羅場

Tree's exposed gnarled roots
tenacious years of growing
crumbling river bank.

Pat O'Brien（パットオブライアン）
（オーストラリア）

（訳）
節くれだった木の根が
むき出しになって
不屈に成長してきた年月
川の土手がぼろぼろに
なるまで

Minute ice crystals
In silent cafe windows
the great Rockies loom

Mark Rowe（マーク　ロウィ）
（カナダ）

（訳）
微細な氷の結晶体が
カフェの窓ガラスに拡がって
おぼろに
映る巨大なロッキーの輪郭

Dostavno vozilo
radi u snijegu -
mirisi kruha
（A delivery car
working in the snow -
the smell of the bread）

Zdenko Oreč（ズデンコ　オレッチ）
（クロアチア）

（訳）
配達の車が来て
雪の中で「毎度ありー」－
辺りはパンの薫りで
いっぱいだ

translucent shell
bricks
wet
up
slowly
snail
baby

Mark Power（マーク　パワー）
（オーストラリア）

（訳）
半透明の蝸牛殻
煉瓦の上の
湿った
上がってゆく
ゆっくりと
赤ちゃんが
かたつむりの

Among the great stones
set to defend the castle -
young ferns find refuge

Robert Major（ロバート　メイジャー）
（アメリカ）

（訳）
巨きな石組の間で
羊歯の子供たちがひっそりと
身を隠し
城を護ってことに備えている。

吟行投句

◆「草枕」大賞
石投げて湖一枚を破る秋　熊本県熊本市　水田　絹子

◆中村汀女賞
四つ目の橋より昏れて江津湖冷ゆ　熊本県熊本市　川波　流

◆特　選
◆小川濤美子　選
初鴨に江津の月日の新しく　熊本県熊本市　高木千恵子
遠く来てみな秋水に触れにけり　熊本県熊本市　藤本とみ子
溝そばに湧水溢れやまざりし　熊本県熊本市　石塚　和子

◆佐藤　艸魚　選
絵具解く江津の秋水掬ひあげ　福岡県方城町　桑野　園女
鴨の来て江津の大景調へる　熊本県熊本市　工藤　寿子
天と湖光り合ひたる秋日和　熊本県熊本市　笠井　貞子

◆星永　文夫　選
天高し歩けば湖の円くなる　熊本県熊本市　山澄　陽子
数珠玉や掌くぼに残る日の匂ひ　熊本県熊本市　松村　葉子
鴨来たる荒行終えし僧のごと　熊本県熊本市　吉井みつき

◆前田　忠を　選
蜻蛉句碑しじまの中に木の実落つ　熊本県熊本市　工藤　素子
立て直すこころにうれし返り花　福岡県柳川市　木下万沙羅
翔ぶ鷺の影もまたとぶ秋の湖　熊本県熊本市　中村　康子

大会当日投句

◆「草枕」大賞
母の忌に泊る妹十三夜　熊本県熊本市　秋野　長利

◆特　選
◆伊藤　通明　選
胡桃割るお菓子のレシピなど出して　熊本県西合志町　山崎ルリ子

◆岩岡　中正　選
帰り花散りて重なることもなし　熊本県熊本市　山本　淑子

◆倉田　紘文　選
手のとどく所にも咲き返り花　熊本県熊本市　大森　辰代

◆猿渡　青雨　選
今生も来世もをんな一葉忌　熊本県熊本市　あまの樹懶

◆坪内　稔典　選
大花野来て牛の眼の中にいる　熊本県熊本市　藤本とみ子

◆星野　椿　選
小鳥来て赤のマニキュア塗りたき日　熊本県熊本市　粟津　玲子

◆宮部　鱒太　選
丹波栗三男坊は駿馬です　熊本県熊本市　井上　英

俳画部門

「草枕」大賞

中空（なかぞら）にとまらんとする落花かな（中村汀女句）

熊本県合志町　草本　純子

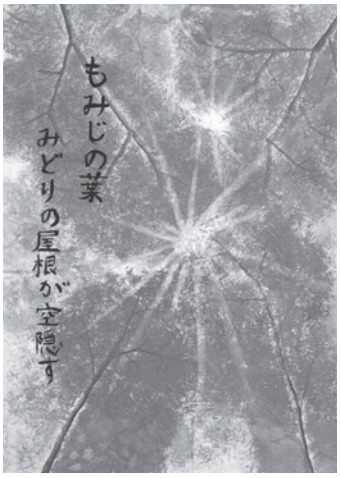
写真部門

「草枕」大賞

花飾り

熊本県熊本市　黒瀬　博恭

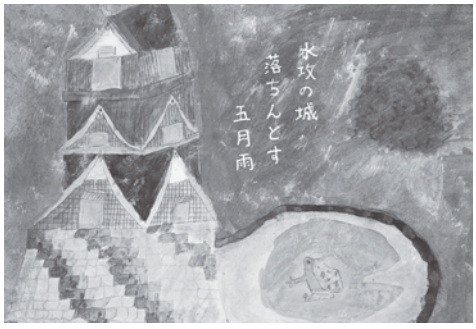
もみじの葉みどりの屋根が空隠す



熊本県　八代第八中3　丸山　志乃

子どもの俳句と絵部門

「草枕」大賞



水攻（みずぜめ）の城
落ちんとす
五月雨（さつきあめ）
（夏目漱石句）

熊本県　中島小6　木村　修徳

くまもとお城まつり 第5回「草枕」全国俳句大会 夏目漱石記念・中村汀女生誕百年記念

草枕の玉手箱 ―「俳句」と「俳句イメージ」入賞作品集―（平成12年）

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

平成十二年十月一日付で大賞句を発表しましたが、受賞該当者本人より二重投句をした旨の詫び状が届いたため大会規定に従い取り消しになりました。

日本航空賞

晩白柚月のごときを抱へくる　熊本県熊本市　若宮　瑞穂

特　選

◆伊藤　通明　選
鰯雲田原坂より始まれり　熊本県玉名市　上野　玲子

◆稲畑　汀子　選
影といふ見ゆる涼しさありにけり　熊本県熊本市　丸山ゆきこ

◆岩岡　中正　選
陶枕に獏の往き来の穴ふたつ　宮崎県延岡市　玉木　節花

◆有働　亨　選
中心のどこにもありて蝉時雨　香川県牟礼町　和泉　金子

◆鍵和田柚子　選
カルデラは神のてのひら鳥交る　福岡県福岡市　岡部ヤエ子

◆金子　兜太　選
佳い音だ出雲の國の種袋　熊本県熊本市　寺尾　敏子

◆倉田　紘文　選
目かくしの手のやはらかき大花野　大分県三重町　川野　智子

◆猿渡　青雨　選
海底が暗しと嘆く梅雨の海女　茨城県日立市　町井すみれ

◆首藤　基澄　選
ゆつくりと椎茸もどす終戦日　熊本県熊本市　加藤　玲子

◆坪内　稔典　選
菊池川夏雲のせてバスは行く　熊本県玉名市　堤　公子

◆星野　椿　選
月見草いきなり開くみな開く　熊本県熊本市　上須崎ゆたか

◆宮部　鱒太　選
可笑しくて蕨立つ野を出られない　熊本県熊本市　藤井眞理子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部
うぐいすによばれ吊橋わたりきる　徳島県八万小5年　小谷かおり

中学生の部
漱石が歩みし道や竹の秋　熊本県京陵中2年　京　瑛子

高校生の部
出稼ぎの父のかばんに祭笛　愛知県東浦高3年　西丸　賢司

留学生の部
該当なし

日本航空賞

言葉皆違う仲間とテント張る　福岡県伊田中1年　藏本　翔

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

hazy islands
drifting out to sea
on the ebbing day……

キャサリン Catherine
パロック Bullock
（ニュージーランド）

（訳）
遠くに霞む島々
沖に向かって漂って　流れて行く
引き潮の日に…

特　選　Tokusen（Second Prize）

dolphin's arc
crossing the wave's arch
and it's own shadow

ニコラ NIKOLA
ニイリッチ NILIĆ
（クロアチア）

（訳）
ドルフィンが円弧を描いて
波頭の飛沫く円弧と
自らの影の円弧を
跳び越える

In der Mittagsglut
steht die Zeit still,
doch im Mais
hört man, wiê eś wáchst.

クラウス D. Klaus D.
ヴィルト WIETH
（ドイツ）

（訳）
昼間の熱さの中で
時が止まったよう。だが玉蜀
黍畠の中には命が育っている
音が聴こえる

Watering.
Between the roses and me -
a rainbow.

ジェリコ フンダ Željko Funda
（クロアチア）

（訳）
花に水をやっている
薔薇の花と私の間に…
ふいに虹が出て

Sunlight retreating
vespertine fingers spreading
enveloping all

ケビン D. Kevin D.
ジャクソン Jackson
（オーストラリア）

（訳）
日差しが傾いて
夕焼けの光の指が拡がって
すべてを包み込む

Market counter -
Wet with dew drops
the stawberries smell

ビトミール M. Vitomir M.
ウィタタ Witata
（セルビア）

（訳）
市場の店先で…
しっぽりと露にぬれて
苺が香る

a deer is drinking -
it's front hooves making
imprints
in the water-cress

ベロニカ Veronica
ハウイー Haughey
（ニュージーランド）

（訳）
鹿が水を飲んでいる…
ひずめの痕を
クレッソンの中に留めて

to be a damsel fly
or to be its silhouette
above the duckweed

Zenzo Toda
（日本・熊本県）

（訳）
一匹の糸トンボ
そうでなければそのシルエット
水浮草の上

END OF THE SEAON -
A BUTTON IS
GLISTENING
ON THE BEACH
AMONG SHELLS

Gabriela G. Groza
（ルーマニア）

（訳）
季節の終わりに…
海岸でボタンがひとつ
貝殻の中にまぎれて光っている

two windscreen wipers
sidelong threats yet recoiling
from confrontation

Ellis Davies
（イギリス）

（訳）
二本のワイパー（蛇）が
互いに脅かす（とぐろを巻く）振りをしながらも
けっして争ったりはしない

between two pines
a spider thowing his web over
a dewy landscape

Tomislav Maretic
（クロアチア）

（訳）
松の木と松の木の間に
蜘蛛が一匹巣を掛けて
玉露で濡れて光る様

吟行投句

「草枕」大賞

初鴨といふ美しき距離にをり
熊本県熊本市　荒牧　成子

中村汀女賞

汀女百年湖の歳月鳥渡る
熊本県熊本市　小夏　徳子

特選

◆小川濤美子　選

湖風のはた〳〵鳴らし破芭蕉
熊本県熊本市　上須崎かつ美

鴨鳴いて汀女ゐさうな塘づたひ
福岡県古賀市　伊藤　明子

溝蕎麦の一叢のなか水音あり
熊本県熊本市　松尾すよ子

◆佐藤　艸魚　選

末枯れてこわれそうなる影を置き
熊本県熊本市　西　美愛子

雨音に破芭蕉ともなりゆきて
熊本県熊本市　桑本かつ代

湖明り取り込み荘の障子貼る
熊本県熊本市　つのだともこ

◆星永　文夫　選

初鴨の空より湖の動きそむ
熊本県熊本市　古木マツ子

真つさらになるまで秋の雨の中
大分県三重町　川野　智子

蜻蛉のつとたち風となりにけり
熊本県熊本市　上須崎かつ美

◆前田　忠を　選

百年の過客となりてしぐれけり
熊本県熊本市　桂　瑞枝

植樹してすでに冬芽の汀女梅
長崎県島原市　平尾　圭太

青墨の句碑のかな舞ふ芦の絮
熊本県熊本市　広岡　和枝

大会当日投句

「草枕」大賞

細き指立てて秋思の弥勒仏
熊本県玉名市　松村　照子

特選

◆伊藤　通明　選

空堀に水の道すじ草枯るゝ
福岡県大牟田市　松村　梅男

◆岩岡　中正　選

右頬は秋思の指のゆくところ
熊本県熊本市　西　美愛子

◆鍵和田柚子　選

火の国の刈田へ蹤み火を熾す
福岡県北九州市　市丸　志郎

◆倉田　紘文　選

一族の揃えば鳰の笛を吹く
鹿児島県鹿児島市　前迫　寛子

◆猿渡　青雨　選

一代に終りし一誌素十の忌
福岡県小郡市　荒金　久平

◆坪内　稔典　選

手をあげて満月に触れるまで歩く
熊本県熊本市　松本　照子

◆星野　椿　選

返り花人に戻らぬ月日かな
熊本県熊本市　山澄　陽子

◆宮部　鱒太　選

柿一つ仏は片目瞑るなり
熊本県熊本市　松本　照子

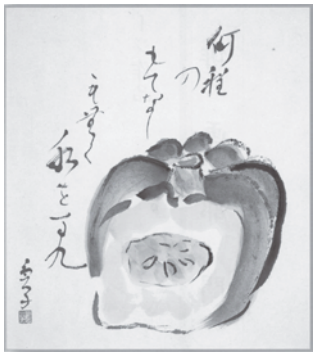
写真部門

「草枕」大賞

昼下りの農道
熊本県熊本市　岩見　良城

俳画部門

「草枕」大賞

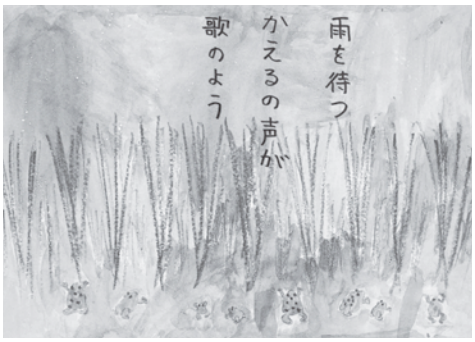


何程のもてなしも無く水を万九
熊本県熊本市　井上　島子

子どもの俳句と絵部門

「草枕」大賞

阿蘇谷を水の出てゆく十三夜
（緒方　輝句）
熊本県　楠中1　江﨑　華



雨を待つかえるの声が歌のよう
熊本県　宮原小4　濤岡　浩平

くまもとお城まつり 第6回「草枕」全国俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成13年）

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

鶴引くや空には空の荒野あり　埼玉県朝霞市　有永　吉伸

日本航空賞

大阿蘇をまるごと貰ひみどりの日　福岡県福岡市　渋田千々穂

特　選

◆稲畑　汀子　選

飽きられてよりの金魚の平和かな　兵庫県尼崎市　ほりもとちか

◆岩岡　中正　選

忘れ物してでゝむしの引き返す　鹿児島県伊集院町　宮野　栄子

◆有働　亨　選

花冷えの謡のなかの死者の声　熊本県熊本市　後藤　博文

◆大岳水一路　選

阿蘇九重新涼の風つなぎけり　熊本県熊本市　西　美愛子

◆鍵和田柚子　選

山さくら岩が叡智のごと坐る　北海道池田町　大塚　珀蛾

◆金子　兜太　選

登山靴あの重たさはもう履けない　熊本県高森町　佐伯　文雄

◆倉田　紘文　選

空蝉となりて双手をついている　熊本県中央町　平川　義光

◆猿渡　青雨　選

麻痺したる足ころがして妻昼寝　佐賀県牛津町　池田　小楠

◆首藤　基澄　選

遠郭公真澄の空を広げけり　熊本県熊本市　立山リツ子

◆坪内　稔典　選

グライダー影より着地して晩夏　東京都あきる野市　木下　蘇陽

◆星野　椿　選

汀女邸解かれて残る門の萩　熊本県熊本市　乙丸　幸代

◆宮部　鱒太　選

日常の正面にあり山桜　熊本県熊本市　藤井眞理子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

花のたねいろんないのちのかたちだね　熊本県宮原小3年　岡　拓磨

中学生の部

金魚すくい子供にもどる父がいる　愛知県安城西中2年　佐藤　尚広

高校生の部

菊展の奥にそびゆる天守閣　熊本県東海第二高2年　金栗　瑠美

留学生の部

該当なし

日本航空賞

ブッポウソウ森にとけこむ緑色　熊本県白糸第三小6年　東　啓太

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Na dnu reke
sesir starog lavora
i mesecev srp.
On the riverbottom
a hat that was someone's once
and the sickle moon

プレドラック　ペダ　シレタ
Predrag Peda Sireta
（セルビア）

（訳）
川底に
昔の持ち主の帽子と
月の鎌

特　選　Tokusen（Second Prize）

June beginning.
In the empty snail shell
smell of linden.

チェリコ　フンダ
Željko Funda
（クロアチア）

（訳）
六月の始まり
カタツムリの抜けた殻には
菩提樹の香り

fraîcheur intacte
de la couleur retrouvée
au pli d'un rideau

freshness intact
of the rediscovered colour
in the fold of a curtain

ピュー　ダニエル
PY Daniel
（フランス）

（訳）
カーテンの
折り目の襞に見つけた
元の色の新しさ

winter stillness
the halo around
each star

ブルース　ロス
Bruce Ross
（アメリカ）

（訳）
冬の夜のしづけさ
どの星にも見える
光背の量

Ein Regentropfen
fällt in die Teetasse,
bewegt den Himmel.

A raindrop
falls into the teacup,
moves the sky.

フーベルトゥス　トゥム
Hubertus Thum
（ドイツ）

（訳）
一粒の雨
茶碗の中に落下して
天を動かす

na pučini
u mreži ribara
ulovljeno svitanje

On the deep sea
in the fisherman's net
the dawn has been caught.

イワン デレク
Ivan Derek
（クロアチア）

（訳）
海深く
漁師の魚網に
掛かっている朝焼けの光

suder galeba
sa svojom senkom u reci -
ribica bljesnu

gull collided with
its shadow on the river
flash of a little fish

ミロザフ ドデロビッチ
Milosav Doderović
（セルビア）

（訳）
水鳥が
川面に映る自分の
影にぶつかって
小魚がきらめく一瞬の時

SVJEZ SNIJEG POKRIVA
STARI LONAC NA GLAVI
SNJEGOVIĆA

Fresh snow covering
an old pot on the head
af a snowman.

マレラ ミミカ
Marela Mimica
（クロアチア）

（訳）
新雪が
雪だるまの頭上の
古壷にも積もってるよ

Blue sky above,
sea-gull's white dividing it
from blue sea below.

デビデ ウラディミール
DevidéVladimir
（クロアチア）

（訳）
頭上の青い空と
地上の青い海を
鴎の白い影が分けていく

hail and wind -
of the scarecrow
only the cross remains

エディン サラチェビッチ
Edin Saračević
（スロベニア）

（訳）
案山子に降りかかる
雹と風
十字架だけが残されて

Among the mountains
green rice fields heavenward
like a staircase

トモミ アカマツ
Tomomi Akamatsu
（日本・兵庫県）

（訳）
山懐の中
緑の棚田が天に向かって
階段のよう

吟行投句

「草枕」大賞
風化して石風化して秋の声
熊本県熊本市　松村　葉子

中村汀女賞
秋雨に来て城の威の親しかり
熊本県熊本市　中川原涼子

特　選
◆小川濤美子　選
大銀杏黄葉を仰ぐべく退る
東京都武蔵野市　守永　規子
武者返し天守は厳と烏わたる
東京都狛江市　新井　悠二
外濠は激つ川なり秋の雨
◆佐藤　艸魚　選
菊の前静かに日本人となる
熊本県熊本市　荒牧　成子
落葉降る城にもありし勝手口
熊本県熊本市　西　美愛子
お城はや冬の孤独に入りけり
熊本県熊本市　上須崎かつ美
◆星永　文夫　選
二の丸を歩いて秋の耳さわぐ
熊本県熊本市　水田　絹子
ゼブラゾーン渡る時雨の城へ向き
熊本県熊本市　野口　南枝
木犀のどこから雨の登城径
熊本県熊本市　近藤ひかる
◆前田　忠を　選
反ればなほ秋冷到る城の垣
熊本県玉東町　安田かしこ
朴の葉の婆娑と落つ音刑部邸
熊本県熊本市　荒木　明
雨に折れ日に折れ城の枯蓮
熊本県熊本市　吉井みつき

大会当日投句

「草枕」大賞
熊本は城より明けて小春かな
神奈川県横浜市　柳沢仙渡子

特　選
◆岩岡　中正　選
初鴨のかたまりやすき四五羽かな
熊本県西合志町　坂田美代子
◆大岳水一路　選
銃眼は城壁の窓一葉落つ
熊本県熊本市　加藤　玲子
◆倉田　紘文　選
昼灯漱石旧居しぐれけり
熊本県熊本市　中嶋　富恵
◆猿渡　青雨　選
一国に一城一湖夜鴨鳴く
福岡県大牟田市　嶽本　由美
◆星野　椿　選
箱船の漂つてゐし初時雨
福岡県大牟田市　河口眞知子
◆宮部　鱒太　選
沖といふ時雨れて定かならぬもの
熊本県熊本市　竹屋　睦子

写真部門

「草枕」大賞

つぶらな瞳
東京都足立区　長日部敏治

俳画部門

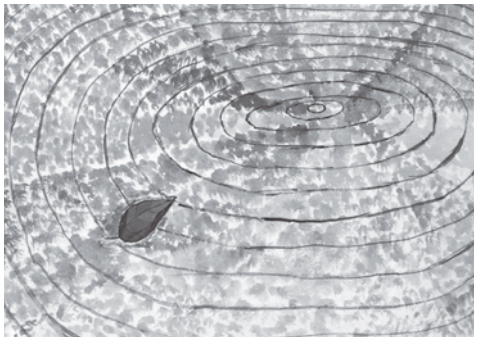
「草枕」大賞

初鴨といふ美しき距離にをり
（荒牧成子句）
熊本県熊本市　椿　靖子

子どもの俳句と絵部門

草枕大賞

虫めがね
のぞいて
アリと
話する
熊本県宮原小3年　野崎　祥平



蟬しぐれ
水輪百千
みな清水
（中村汀女句）
熊本県七滝中3年　大山　優子

くまもとお城まつり 第7回「草枕」国際俳句大会 夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成14年）

事前投句・一般部門

「草枕」大賞

芙蓉咲き大きな朝となりにけり　兵庫県加古川市　赤松ともみ

日本航空賞

石人の乳房豊かや大夕焼　熊本県熊本市　内藤　悦子

JAグループ熊本／熊本県産米品質向上運動本部賞

夏祓受けて胎動新たなり　福井県福井市　渡邉　和子

特　選

◆稲畑　汀子　選

字余りかいや字足らずか紙魚一つ　熊本県玉東町　安田かしこ

◆岩岡　中正　選

ブラジルに始まる家系天高し　ブラジル　坂本美代子

◆有働　亨　選

棚経の眞只中に襁褓替ふ　神奈川県茅ヶ崎市　岡田　貞二

◆大岳水一路　選

阿蘇寝釈迦より雲の峰立ちあがる　福岡県大牟田市　介弘　紀子

◆鍵和田柚子　選

姿見の曇りを拭いて漱石忌　群馬県大泉町　椎名　和代

◆金子　兜太　選

蠅叩き父は握りて記念写真　熊本県熊本市　北島　晶子

◆倉田　紘文　選

置かれたるやうに影置く日向ぼこ　熊本県矢部町　濱田　洋子

◆猿渡　青雨　選

米塚は黄菅に埋もれ暮れにけり　大分県大分市　渡辺　節子

◆首藤　基澄　選

鈴虫のすずふる夜の看取りかな　福岡県大牟田市　石橋　武子

◆坪内　稔典　選

古里の三年二組の青田かな　福岡県大川市　中原南大喜

◆星野　椿　選

四五人の客あり月の牧番屋　熊本県熊本市　高野よしたか

◆宮部　鱒太　選

麦秋に噎せて大きなにぎりめし　熊本県熊本市　藤井眞理子

事前投句・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

あさがおのつるはうちゆうへつづいてる　熊本県本荘小1年　植田　凌雅

中学生の部

水温む年輪深き丸太橋　茨城県麻生第一中2年　箕輪　香

高校生の部

葡萄摘む掌中に入る阿蘇の峰　熊本県東海第二高3年　金栗　瑠美

留学生の部

該当なし

日本航空賞

日韓の梅雨をかき消す応援歌　熊本県荒尾第一中3年　伊藤　隼

外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

winter evening
with tiny stitches
the doll's smile returns

イングリッド　クンシュケ
Ingrid　Kunschke
（ドイツ）

（訳）
人形の笑顔繕ふ夜なべかな
冬の夕べ
細かい縫い目で
人形の顔に笑顔が戻る

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 有馬　朗人　選　Selected by Mr. Akito Arima

Lukewarm midnight.
The moon is silvering
the rusty ship.

パルメーロ
Palmero,
エルトレ　ホセ
Ertore José
（アルゼンチン）

（訳）
銀色に船染め上げて春月夜

On the shell
of the snail
a snowflake.

クヴェリーエ　ウィリー
Cuvelier Willy
（ベルギー）

（訳）
雪片や蝸牛の骨の上

across the window
of an abandoned house
a wisteria bloom

ジェロム
Jerome
クシュマン
Cushman
（アメリカ）

（訳）
廃屋の窓にかかりて藤咲けり

A white cat
runs up a tree
A sign of summer
shows up

奥富　初江
（日本・東京都）

（訳）
夏兆す白猫は木に登りけり

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

Startled newborn lambs
blink at spring and
tremble their
temporary tails

ベル　ロバートソン
Bell Robertson
アヴェリー
Avery
(ニュージーランド)

(訳)
新生の子羊たち　きょとんと
瞬きを一時春の日に向けて
尻尾を震わせている

drops of spring rain
hanging on the wire-
in each a sun

ミロサフ
Milosav
ドデロヴィチ
Doderovic
(ユーゴスラビア)

(訳)
春雨の雫が
電線に列んで…
一雫一雫ごとの太陽

Melted snow
seeing off winter
down the river.

Otopljen snijeg
niz rijeku
ispraća zimu.

スラタ　ボゴヴィチ
Zlata Bogović
(クロアチア)

(訳)
雪解けの雪が
川を下る水に託して
冬を見送っている

serene lake -
the birch leaf touched
the white cloud

ラドバン
Radovan
ジバノヴィチ
Živanović
(ユーゴスラビア)

(訳)
静かな湖で－
白樺の葉が水の上
白雲に触れていた

◆ ファレル　D．クリアリー　選　Selected by Mr. Farrell D. Cleary

forget-me-not sea
a woman with empty creel
sail on the skyline

モイラ　クラーク
Moira Clark
(イギリス)

(訳)
忘れな草の海
空の魚篭をもった女が一人
漕ぎ出していく空の輪郭

Light on the thorns.
My granny's yellowed photo
in the black prayerbook.

ネディリコ
Nediljko
ボバン
Boban
(クロアチア)

(訳)
薔薇の刺に射す光
黒い祈祷書の中には
黄色く色変わりした
祖母の写真

kite flying
I slowly unravel
the day

レスリー　ダール
Lesley Dahl
(カナダ)

(訳)
凧が飛んでいる
私はゆっくりと
縺れた一日を解きほどく

Edge of the road-
the partridge drinks
the dew on the poppy.

ステラ　モイセ
Stela Moise
(ルーマニア)

(訳)
道端で－
鶉が芥子の花露を
飲んでいる

吟行投句部門

「草枕」大賞
天守閣上一枚の秋の空　熊本県熊本市　坂本　幸を

中村汀女賞
時雨るるも城のもてなし肥後の国　兵庫県加古川市　赤松　弘子

特　選
◆小川濤美子　選
流鏑馬の一矢発止と冬に入る　熊本県熊本市　大山芙美子
菊師いま肥後の掟に添ひ手入れ　熊本県熊本市　中川　浪子
火の阿蘇と水の江津湖と秋二つ　福岡県大牟田市　松永　文天
◆金沢　富水　選
天守閣登れば阿蘇は霧に浮く　熊本県熊本市　村上　重敏
色変へぬ松侍らせて天守閣　神奈川県横浜市　野口　康子
開眼の一句が欲しく露とばし　福岡県大牟田市　松永　文天
◆佐藤　艸魚　選
城に生き城に枯れたるいぼむしり　熊本県熊本市　西　美愛子
色鳥のごとく樹林へ入りにけり　熊本県熊本市　浜崎恵美子
冬の城肩怒らせて這入りけり　熊本県熊本市　丸山ゆきこ
◆星永　文夫　選
天守より翼を得たる木の葉散る　熊本県熊本市　内藤　悦子
銃眼を抜けきて冬の風となる　熊本県城南町　髙橋　満子
ビル四角天守三角初しぐれ　熊本県熊本市　荒牧　成子
◆前田　忠を　選
戦なき世や空濠の草の花　熊本県熊本市　石塚　和子
流鏑馬の的のぴしりと寒を打つ　熊本県熊本市　冨田　和子
どの道を辿るもうまし秋の城　熊本県熊本市　上杉　タツ

大会当日投句部門

「草枕」大賞
水の神火の神冬に入りしかな　熊本県熊本市　近藤ひかる

種田山頭火賞
わが影のふと懐かしき冬日かな　熊本県熊本市　山澄　陽子

特　選
◆岩岡　中正　選
露けさに言の葉一つ省きけり　熊本県熊本市　西　美愛子
◆大岳水一路　選
時雨れては水は新たな色となる　熊本県八代市　山下さと子
◆鍵和田柚子　選
ゆく秋のふりかへりつゝ歩きけり　福岡県大牟田市　古賀　紀子

◆倉田　紘文　選
ころあひに人現るる芋水車　熊本県矢部町　濱田　洋子
◆猿渡　青雨　選
炊き上がる釜の底まで茸飯　福岡県山田市　江﨑　義人
◆坪内　稔典　選
火の山に二十日も早く届く雪　熊本県熊本市　西田　久子
◆星野　椿　選
道問へば君も旅人時雨坂　熊本県御船町　伊津野ひろ

ジュニアの俳句と絵部門

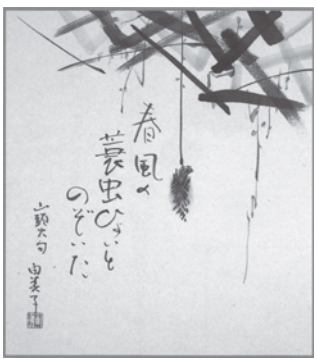
「草枕」大賞

あさがおは
あおいせんぷうき
めがまわる
熊本県本荘小1年
植田　凌雅

鶴引くや
空には空の
荒野あり
(有永吉伸句)
熊本県翔陽高1年
小井手崇臣

俳画部門

「草枕」大賞



春風の蓑虫ひょいとのぞいた
(種田山頭火句)
熊本県熊本市　本田由美子

くまもとお城まつり

第8回「草枕」国際俳句大会　夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成15年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇山は銀河鉄道始発駅
東京都小平市　中空　善彦

日本航空グループ賞

生身魂漱石の書を身ほとりに
福岡県太宰府市　荻野宇多子

JAグループ熊本／熊本県産米品質向上運動本部賞

田植機を自在に女盛りかな
熊本県玉名市　宮田　光子

特　選

◆池田　昭雄　選

アマゾンを故里ときめ種を蒔く
ブラジル　吉田　夏絵

◆稲畑　汀子　選

民宿の客の量だけわらび採る
三重県四日市市　横山　茂子

◆岩岡　中正　選

張りつきし髪ひとすじの暑さかな
熊本県鏡町　沖住カオル

◆有働　亨　選

庖丁を研いでゐる間の海鼠かな
大分県豊後高田市　為成　央子

◆大岳水一路　選

露けしや母誕生の年の熔岩
鹿児島県鹿屋市　有園すみえ

◆鍵和田柚子　選

高千穂の雲と茅の輪を潜りけり
福岡県直方市　佐藤　綺峰

◆金子　兜太　選

片かげを歩まぬ事を若さとす
静岡県静岡市　中村　梅雪

◆倉田　紘文　選

花冷えの母の十指を握りしむ
大分県豊後高田市　近藤　七代

◆首藤　基澄　選

放牧の野ははるか下阿蘇野焼
熊本県熊本市　三浦　綾子

◆坪内　稔典　選

月光の滴る凪の難破船
神奈川県横浜市　江口　來童

◆坊城　俊樹　選

父の忌のてっぺんに来て囀れる
千葉県松戸市　福山　朋子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

クリスマスイルミネーション夜のもの
福岡県花畑小6年　岡　浩之

小学生の部

星空の鏡みたいな夜光虫
熊本県飽田中3年　上村　美穂

中学生の部

冷夏なり農を営む父の皺
熊本県熊本信愛女学院高2年　藪　ひろ子

高校生の部

天守閣そびえるさきにいわし雲
熊本県力合中1年　西村　朋子

日本航空グループ賞

冬の夜ショパンの曲聴きひとりぼっち
福岡県福岡女学院大2年　貫　麗偉

留学生の部

harvest moon
rising over
slow thunder
チャールズ　バーナード　ロドニング
Charles Bernard Rodning
（アメリカ）
（訳）
仲秋の満月が
昇る
ゆっくりと雷鳴

俳句の部・外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

harvest moon
rising over
slow thunder
チャールズ　バーナード　ロドニング
Charles Bernard Rodning
（アメリカ）
（訳）
仲秋の満月が
昇る
ゆっくりと雷鳴

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆有馬　朗人　選　Selected by Mr. Akito Arima

a cloud
bigger than the sky-
spring longing
ジム　ケイシアン
Jim Kacian
（アメリカ）
（訳）
空よりも
大きな雲や
春を待つ

through the hole
in this rusty steel helmet
a glance at the sea
フベルタス　トゥム
Hubertus Thum
（ドイツ）
（訳）
錆付きし
兜に穴や
海覗く

unable to outrun
moonlight - and
the dragging
horse blanket
ジャニス　M
Janice M.
ボストニック
Bostok
（オーストラリア）
（訳）
追ひ付けぬ
月に毛布を
引く馬に

going nude -
a summer hat left
on the head
ゼン-　ユウレ　ホッタ
Zen-U L. Hotta
（日本・東京都）
（訳）
脱ぎ終へし
裸ん坊の
夏帽子

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

From long icicles
under eaves of cottage
small suns are dripping

Pavle Adjanski（パブル　アジャンスキー）
（セルビア・モンテネグロ）

（訳）
小屋の軒下
長く垂れ下がった氷柱から
落ちてくる
小さな太陽のいくつ

the fallen leaf
continues its journey -
on the river

Fay O’ Neill（フェイ　オニール）
（オーストラリア）

（訳）
落ち葉が
落ちてなお旅をつづける…
川の上

crescent
the daybreak brims
the horizon
on a seagull’s beak

伊藤　裕起
（日本・熊本県）

（訳）
弦月
夜明けが水平線に満ちて来る
海鳥の嘴に

a silver fish
caught in the moonlight
silent ripples

Allen McGill（アレン　マクギル）
（メキシコ）

（訳）
銀色の魚が
月光に捕まって　なお
さざなみの静けさ

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Mr. Richard Gilbert

bend on the river
a balsam flower
dips with
the weight of a bee

Phillip Murrell（フィリップ　マレル）
（イギリス）

（訳）
鳳仙花が
蜜蜂の重さで
川面に垂れて

journey over
the front gate lock
still broken

Allen McGill（アレン　マクギル）
（メキシコ）

（訳）
旅の終わりに
玄関の錠前が
壊れたまま

last night’s rain
keeps a cherry petal
on the shell of a snail

noćašnja kiša
na puževoj kućici
drži lat trešnje

Sarafina Nazansky（サラフィナ　ナザンスキー）
（クロアチア）

（訳）
昨晩の雨
蝸牛の殻の上に
桜の花びらがひとつ

Brilliant red
circle of spilled sun
sipping tide.

Maša Bambić（マシャ　バンビッチ）
（クロアチア）

（訳）
真っ赤に溢れ出た
太陽の環が耀いて
時の流れを啜っている

吟行投句

「草枕」大賞

長堺の冬へ一直線の白
熊本県熊本市　山澄　陽子

中村汀女賞

城しづか冬日しづかにかしこまる
熊本県熊本市　西　美愛子

特　選

◆ 小川濤美子　選

城の秋惜しまむ祖母のつむぎ着て
熊本県城南町　髙橋　満子
天守閣雁の高さに江津光る
熊本県熊本市　宮崎　勧
草もみじ雲なき城の高さかな
熊本県矢部町　濱田　洋子

◆ 金沢　富水　選

幾戦禍経し大銀杏薄黄葉
熊本県熊本市　野口　南枝
十人が十人リュック天高し
熊本県熊本市　内藤　悦子
清正の背の緑青や初紅葉
熊本県熊本市　佐竹　浩一

◆ 佐藤　艸魚　選

秋天を跳ね上げてゐる天守閣
大分県三重町　川野　智子
城垣に撥ね返されてゐる秋日
熊本県熊本市　嶋田　光子
ふりむきて人の居らざる秋の風
熊本県熊本市　上須崎かつ美

◆ 星永　文夫　選

城小春こころ順路に従はず
熊本県熊本市　上須崎ゆたか
城大樹瘤隆々と冬に入る
熊本県熊本市　つのだともこ
日本晴城の過客に木の実降る
熊本県熊本市　竹下ツタエ

◆ 前田　忠を　選

噫して漱石の髭動く秋
熊本県砥用町　山田　節子
一日の余白に城の秋惜む
熊本県西合志町　山崎ルリ子
石垣を曲れば変る秋の風
福岡県直方市　水上　翠人

大会当日投句

「草枕」大賞

瓢の笛吹いて大志を抱きけり
熊本県西合志町　山崎ルリ子

種田山頭火賞

秋水の金の水輪のひろがれり
福岡県大牟田市　古賀　紀子

特　選

◆ 池田　昭雄　選

少年の目をして瓢の笛を吹く
熊本県熊本市　坂本あかり

◆ 岩岡　中正　選

冷やし牛水踏みつけて上りけり
熊本県熊本市　荒牧　成子

◆ 大岳水一路　選

鰯雲村二分してダム賛否
熊本県熊本市　戸田　善藏

◆ 倉田　紘文　選

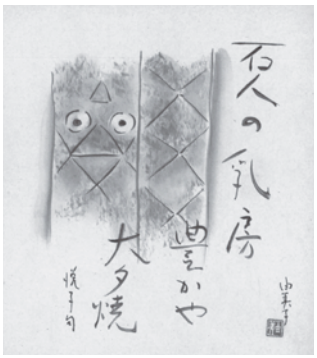
漱石の録音テープ小鳥来る
熊本県熊本市　中嶋　富恵

◆ 坊城　俊樹　選

秋天の真ん中を舐め肥後の牛
大分県三重町　川野　智子

俳画部門

「草枕」大賞

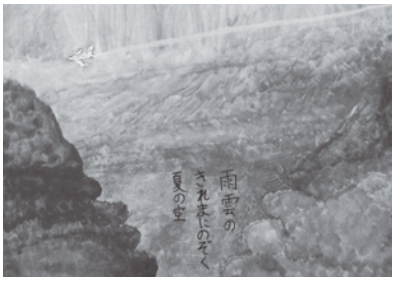


石人の乳房豊かや大夕焼（内藤悦子句）
熊本県熊本市　本田由美子

ジュニアの俳句と絵部門

「草枕」大賞

あさがおの
つるはうちゆうへ
つづいてる（植田凌雅句）
熊本県出水南中2年
隈元菜津美



雨雲の
きれまにのぞく
夏の空
熊本県麦島小5年
米田　聖

第9回「草枕」国際俳句大会　夏目漱石顕彰

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成16年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

阿蘇は万緑赤ん坊は大欠伸　大阪府豊中市　宇井　久

日本航空グループ賞

母の日やイエスにマリア釈迦に摩耶　熊本県熊本市　荒牧　成子

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞

火の国の牛の乳濃し銀河濃し　熊本県熊本市　後藤　博文

福井市賞

搾乳や朝の靄から閑古鳥　熊本県益城町　斉藤　亀夫

特　選

◆池田　昭雄　選
少年の覗く地球や蝉の穴　熊本県熊本市　吉井みつき

◆稲畑　汀子　選
春泥に転びて笑ふほかはなし　神奈川県寒川町　阿部　愷堂

◆岩岡　中正　選
人を愛して白靴の軽きこと　大分県大分市　中尾　豊子

◆大岳水一路　選
象の糞ゆたかに園児らの五月　富山県高岡市　新保　吉章

◆鍵和田柚子　選
髭にある明治の匂ひ漱石忌　大阪府羽曳野市　柏樹　有閑

◆金子　兜太　選
向日葵やぐんぐん伸びし成績簿　三重県明和町　中西　義嗣

◆倉田　紘文　選
流燈のいつもの堰で振り返る　東京都三鷹市　小泉　秀夫

◆首藤　基澄　選
搾乳や朝の靄から閑古鳥　熊本県益城町　斉藤　亀夫

◆坪内　稔典　選
集れば月の出る迄肥後なまり　ブラジル　道田マサエ

◆寺井　谷子　選
せつせつと母体痩せゆきかき氷　東京都渋谷区　星埜　一彦

◆坊城　俊樹　選
泳げない兄が家鴨を抱いてくる　福井県福井市　塩谷三都子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部
秋風が木の葉に色をぬっている　熊本県画図小学校5年　光永　綾音

中学生の部
びろうどの羽広げ立つ羽化の蝶　熊本県東部中学校3年　上田　一雄

高校生の部
優勝旗津軽を越えて夏終る　熊本県熊本高等学校1年　丸山　功祐

留学生の部
青い夏故里の海歌ってる　福岡県福岡女学院大学2年　周　琪

日本航空グループ賞

ひこうきに一人でのつた夏休み　千葉県緑町小学校3年　高澤　覚

俳句の部・外国語部門

草枕大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Flying nowhere-
black birds appearing out
of the painter's brush.

MARIAN（マリアン） NICOLAE（ニコラエ） TOMI（トミ）
（ルーマニア）

（訳）
何処を飛ぶわけでもない―
画家の絵筆の先から
姿を現した黒つぐみ

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

unreadable
the firefly's signature
on the night sky

Jorgen（ジョルゲン） Johansson（ヨハンソン）
（スウェーデン）

（訳）
読めないのです
蛍の署名が
夜空の宙に描かれて

open sea
a gull flies over from one
to anotrer blueness

Radvan（ラドバン） Živanović（イワノビッチ）
（セルビア・モンテネグロ）

（訳）
ひろびろとした海
海鳥が翔ぶ
青から青へ

An eagle and its shadow
overtake each other
at the top of a rock.

Sustigose se
orao i sjenka mu
na vrh stijene.

Milenko D.（ミレンコ） Cirović（キロビッチ） Ljutički（ルチキ）
（セルビア・モンテネグロ）

（訳）
鷲とその影
襲い合って
断崖の上

Able spider
catches the moon
in silk web.

Hábil araña
aprisiona la luna
en red de seda

Vilma（ビルマ） Antolina（アントリーナ） Recoder（レコダー）
（アルゼンチン）

（訳）
腕利きの蜘蛛が
絹糸の巣を張って
月掴まえる

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

distant osprey...
the air
between us

Robert Bauer（ロバート　バウアー）
（アメリカ）

（訳）
はるかなミサゴ
我らの間の
大気

A bunch of roses
scattered on the floor -
victims
of an endless war.

Josette Attard（ジョセット　アタード）
（マルタ）

（訳）
床に散らばった薔薇
果てしなき戦火の
犠牲者たち

distant fireworks-
the red amaryllis
about to open

Ingrid Kunschke（イングリッド　クンシュケ）
（ドイツ）

（訳）
遠くの花火
赤いアマリリスが
咲き零れます

washed up by the sea
shimmering in summer sun
a soldir's canteen

Horst Ludwig（ホルスト　ルードヴィッヒ）
（ドイツ）

（訳）
波に洗われて
夏の日差に光る
兵士の水筒

吟行投句

「草枕」大賞
銃眼の奥が見たくて鳴くちちろ　熊本県熊本市　松本　照子

中村汀女賞
初しぐれ石の鋭角和みたり　熊本県熊本市　西　美愛子

特　選
◆小川濤美子　選
デジカメの狙ふは天守秋たかし　熊本県熊本市　高本よしえ
肥後菊の万蕾の勢城に充つ　熊本県熊本市　大山芙美子
銃眼の蟷螂風に斧を上ぐ　熊本県熊本市　西　美愛子

◆金沢　富水　選
身に入むや城に人質部屋の跡　熊本県天水町　生田　苑子
秋空へ甦りたる飯田丸　熊本県熊本市　中村介伊子
阿蘇の嶺々指呼の間にして天守閣　熊本県宇土市　井上　松雄

◆佐藤　艸魚　選
天守閣すつくと冬の立ちにけり　熊本県熊本市　坂田　淑子
帰り咲く花の時間の中にあり　熊本県熊本市　浜崎恵美子
天守より遠く遠くと秋澄めり　熊本県熊本市　髙本よしえ

◆野田　遊三　選
宝暦の鬼門の隅に鳴くちちろ　熊本県熊本市　松本　照子
日輪に呼び出されたる返り花　熊本県荒尾市　大川内みのる
城郭の深井へ吸はる櫨紅葉　熊本県熊本市　松本　照子

◆星永　文夫　選
軍艦のやうな鉄骨城の秋　熊本県荒尾市　城　松喜
城壁のふんばつてゐる冬隣　熊本県熊本市　江島　敏子
画用紙に収まりきれぬ秋の城　熊本県熊本市　中島　法子

大会当日投句

「草枕」大賞
むかご採る真青な空を引つ張つて　熊本県熊本市　山内　昌

種田山頭火賞
露草の空を濡らしてをりにけり　熊本県熊本市　水田　絹子

特　選
◆池田　昭雄　選
吊橋に大秋晴を揺らしけり　熊本県熊本市　木庭布左江

◆岩岡　中正　選
石人に臍らしきもの木の実落つ　熊本県熊本市　佐々佐和子

◆大岳水一路　選
夜神楽や鈿女に太き喉仏　熊本県熊本市　利光　釈郎

俳画部門

「草枕」大賞

菓子のこと父を恋ふこと地虫鳴く（中村汀女句）
熊本県益城町　東　靖子

ジュニアの俳句と絵部門

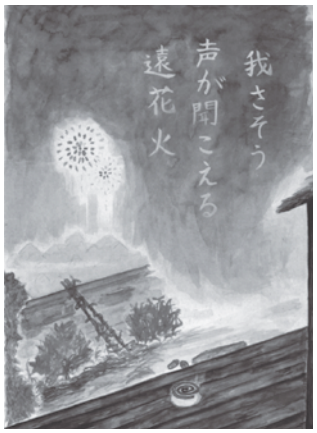
◆倉田　紘文　選
音たて、空の破る、芭蕉林　熊本県熊本市　木庭布左江

◆坪内　稔典　選
座礁船たとえば冬のお城とか　熊本県玉名市　山村　恵子

◆寺井　谷子　選
紅葉して折々捨てしものはるか　熊本県熊本市　汀　圭子

「草枕」大賞

夕立ちがいろんな命輝かす
熊本県麦島小学校6年　松元　利愛



我さそう声が聞こえる遠花火
愛知県安城西中学校3年　太田　恵己

第10回　夏目漱石顕彰「草枕」国際俳句大会　記念大会特別号

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成17年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

祭笛酢をうつ飯のかがやけり　福岡県田川市　藏本はるの女

第10回記念大会特別　黛まどか賞

少女より少年泣けり卒業歌　神奈川県大和市　平綿　涼風

日本航空グループ賞

男の器量城は万緑の上　熊本県熊本市　宮崎　勧

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞

小説に門あり風の漱石忌　東京都小平市　鈴木三光子

福井市賞

小鳥来る巣箱のやうな投句箱　愛知県岡崎市　水野　幸子

特　選

◆池田　昭雄　選

阿蘇ボーイ別れの汽笛花芒　福岡県筑後市　廣瀬　保行

◆今井千鶴子　選

呼ぶ鶴も応ふる鶴も天に向く　埼玉県さいたま市　前田　虹雨

◆岩岡　中正　選

いま開く刃のにおいして櫻　熊本県熊本市　藤井眞理子

◆大岳水一路　選

大阿蘇の水を力に稲育つ　神奈川県茅ヶ崎市　岡田　貞二

◆鍵和田柚子　選

呼ぶ鶴も応ふる鶴も天に向く　埼玉県さいたま市　前田　虹雨

◆金子　兜太　選

農学ぶ帰省子大地の子となりぬ　ブラジル　佐藤あさ乃

◆倉田　紘文　選

みどり児の手足のばして小春かな　大分県大分市　猪原アヤ子

◆首藤　基澄　選

風に舞ふ神楽の里の花薄　熊本県熊本市　本田　晧靖

◆坪内　稔典　選

捩花や肥後もつこすは親ゆずり　熊本県菊池市　平山　邦子

◆寺井　谷子　選

癌飼つて即天去私の昼寝かな　群馬県藤岡市　山口　花城

◆坊城　俊樹　選

喨々と阿蘇の山唄月夜かな　福島県いわき市　斉藤　正

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

青あらしこの森みんな生き返る　千葉県大富小学校3年　今井　千景

中学生の部

駒ケ岳大雪渓を抱えけり　千葉県新宿中学校3年　喜多　美幸

高校生の部

天国で祖父が見ている大試験　熊本県開新高等学校1年　坂本　良樹

留学生の部

霧雨や小さく見える山の峰　富山県富山大学聴講生　朱　英双

日本航空グループ賞

富士山の真上を飛んだ夏の旅　熊本県城西小学校6年　谷口ともみ

第10回記念大会特別賞

盆おどりたいこたたくと輪が太る　神奈川県鳶尾小学校2年　阿部はる奈

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

thunder
the roses shift
into shadow

ロベルタ　ベアリー
Roberta Beary
（アメリカ）

（訳）
落雷に
薔薇の花が
影と化す

第10回記念大会特別賞　10th Memorial Contest Special Prize

noon::
a fish skeleton
curled among rocks

ティモシー　ラッセル
Timothy Russell
（アメリカ）

（訳）
真昼間 ::
魚の化石の骨が
岩間に巻きついて

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

ripening wheat
through fast moving
wipers
a rainbow

ポロナ　オブラック
Polona Oblak
（スロベニア）

（訳）
熟れた小麦畑
早送りのワイパーの
隙間に見える虹ひとつ

Firefly flickers by -
here…there…on…off…
gone…
leaves me staring into
dark.

リア　パドウィック
Leah Padowich
ヤコブソン
Jacobson
（ニュージーランド）

（訳）
蛍がピカリと
あっち　こっち　光ったり
消えたり　飛び去って
取り残されて闇を見る

erasing a leaf
from my sketch of the oak -
the season draws on

マイケル
Michael
マックリントック
McClintock
（アメリカ）

（訳）
樫の木のスケッチから
葉っぱを一枚
消去して

Into the mirror
Clouds draw their bow
very low
The Sunny arrow

タティアナ　プラトバ
Tatiana Platova
（日本・徳島県）

（訳）
鏡の中へ
雲が低く弦を架け
太陽の真弓となる

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

dusting off a trail map:
the edge
of winter

パウル　フェガー　Jr.
Paul Pfleuger, Jr.
（中国）

（訳）
地図の埃を払って:
冬の
切れ味

sunrise--
a caterpillar eats
through shadows

ロバート　ジョン
Robert John
マスター
Mestre
（アメリカ）

（訳）
日の出に--
毛虫が獲物を食べて
影となる

starlit surf
a horseshoe crab
flips itself

ペギー　ウイリス
Peggy Willis
ライルス
Lyles
（アメリカ）

（訳）
星明りのいそ波
カブトガニが
ぴくりと身を動かす

swinging up to the moon
on half a car tyre

ロス　クラーク
Ross Clark
（オーストラリア）

（訳）
月に向かってブランコ
車のタイヤの半孤の上で

吟行投句

◆「草枕」大賞
肥後菊に七本という秩序かな　熊本県熊本市　上杉　タツ

◆中村汀女賞
一天の冬を貫く天守閣　熊本県熊本市　荒牧　成子

◆第10回記念大会特別賞
城守る冬木の命しかとあり　熊本県熊本市　木庭布左江

◆特　選
なつかしき冷えといふべし漱石居　熊本県城南町　髙橋　満子
紅葉よりこぼるる日差し地を揺らす　熊本県植木町　髙本伊都子
ひそかなる城の抜け道地虫鳴く　熊本県熊本市　若宮　瑞穂

◆金沢　富水　選
一城と一市を容れて大冬日　熊本県熊本市　荒牧　成子
蓑虫のお城まつりの櫨衣　熊本県熊本市　佐藤　禎子
寒禽の声澄みわたる刑部邸　熊本県熊本市　工藤　靖子

◆佐藤　艸魚　選
一礼はお城に落葉掃きはじむ　熊本県熊本市　西　美愛子
落葉踏む一人の音となりにけり　熊本県熊本市　利光　釈郎
無駄な石一片もなし城の冬　熊本県熊本市　山澄　陽子

◆野田　遊三　選
黄落や水の匂ひの城下町　熊本県熊本市　二木　恵子
どの顔もみんな似てきて落葉踏む　熊本県熊本市　吉野　倫生
身構えし城主の顔の残る虫　熊本県熊本市　松本　照子

◆星永　文夫　選
城垣の順路は冬に向いてをり　熊本県熊本市　大島　靖子
踏めば鳴る廊下のきしみ漱石忌　熊本県熊本市　國枝　さち
冬の日を溜めてお城の睡りけり　熊本県熊本市　江島　敏子

◆池田　昭雄　選
城普請真つ只中に散る銀杏　熊本県西合志町　髙群美和子

大会当日投句

◆「草枕」大賞
霜柱ざくりと阿蘇に入りにけり　熊本県熊本市　村上　惟輝

◆種田山頭火賞
後ろから人迫り来る夕落葉　熊本県熊本市　南野　幸子

◆第10回記念大会特別賞
盛り過ぎなほ肥後菊でありにけり　熊本県熊本市　松尾すよ子

◆特　選
城普請真つ只中に散る銀杏　熊本県西合志町　髙群美和子

◆今井千鶴子　選
鰯雲ぐらりと天守動きけり　熊本県熊本市　利光　釈郎

◆岩岡　中正　選
愛されし昔むかしや林檎焼く　熊本県熊本市　南野　幸子

◆大岳水一路　選
破芭蕉空のほころびふやしけり　鹿児島県鹿児島市　瀬戸　清子

◆鍵和田柚子　選
朴落葉夜は弥陀仏の歩ゆむ音　熊本県熊本市　宮崎　勧

◆倉田　紘文　選
小春日や縁に二つの小座布団　熊本県大津町　竹田津温子

◆坪内　稔典　選
さうだからポインセチアといふ仕掛け　熊本県菊陽町　上田　輝子

◆坊城　俊樹　選
木犀を垣とし田原坂に住む　福岡県大牟田市　坂井　和子

俳画部門

「草枕」大賞

母の日やイエスにマリア釈迦に摩耶（荒牧成子句）
熊本市益城町　東　靖子

ジュニアの俳句と絵部門

「草枕」大賞

ゆれている
おくらのつぶやき
風の中
熊本県本荘小学校3年　高廣　光

あぜ道を
とびこえながら
感じる夏
愛知県安城西中学校3年　野中　めい

第11回 夏目漱石顕彰「草枕」国際俳句大会～「草枕」発表100年記念大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳句イメージ入賞作品集―（平成18年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
九州の男梅雨とはかくありし　熊本県熊本市　山澄　陽子

日本航空賞
考へて百年たちぬ漱石忌　熊本県熊本市　池田三千代

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞
夕映えの掛稲並ぶ往診路　熊本県八代市　持永　恵山

福井市賞
かくれんぼ芒になつてしまひけり　福岡県福岡市　佐藤　都

松山市賞／「坊っちゃん」発表100年記念特別賞
今年竹伸びよ天意に叶ふまで　熊本県熊本市　江島　敏子

特　選
◆池田　昭雄　選
今もなほ住みにくき世や漱石忌　熊本県熊本市　松永　力蔵
◆今井千鶴子　選
阿蘇牛の食みこぼしたる草紅葉　熊本県玉名市　村上　重夫
◆岩岡　中正　選
殉教の海あをあをと袋掛　熊本県熊本市　利光　釈郎
◆大岳水一路　選
武蔵野の風懐に今朝の秋　埼玉県ふじみ野市　三瓶　政喜
◆鍵和田柚子　選
鬱と言う文字の深さや漱石忌　東京都品川区　田中　隆
◆金子　兜太　選
てのひらに赤飯欲しがる生身魂　三重県四日市市　横山　茂子
◆倉田　紘文　選
歩を合わすだけの介護や小鳥くる　大分県大分市　森田　里華
◆首藤　基澄　選
阿蘇山のふところ広し稲筵　熊本県菊陽町　吉野　早苗

◆坪内　稔典　選
孫の名を千種といはん大花野　福岡県小郡市　荒金　久平
◆寺井　谷子　選
大阿蘇の雨の奥から蝸牛　熊本県熊本市　あまの樹懶
◆坊城　俊樹　選
不知火を見て来し人を畏れけり　山口県長門市　宮野しゆん

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞
大文字ご先ぞさまをおもい出す　千葉県緑町小学校1年　菅　研吾

小学生の部
ひらひらと手のひらかえす盆踊り　熊本県熊本マリスト学園中学校3年　中村　真純

中学生の部
かまきりは生まれながらに学者顔　熊本県熊本信愛女学院高等学校3年　川口玲央奈

高校生の部
中秋節母の涙と空の月　大阪府大阪外国語大学　孟　范洪

留学生の部
大雪がふる中働くおじいちやん　熊本県河内小学校6年　中村　真介

日本航空賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

equinox
kayak paddling
two sides of dusk

Thomas HEFFERNAN（トーマス　ヘファーナン）
（アメリカ）

（訳）
天の赤道
カヤックを漕ぐ
黄昏の両側

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

City wall.
The ivy sends new sprouts
through the arrow slit.

Volker Friebel（フォルカー　フリーベル）
（ドイツ）

（訳）
町の城壁
蔦が矢穴を通して
新しく芽吹きます

the setting sun -
a jumping frog and
its shadow
unite in the water

Zeljka Vucinic-Jambresic（ジェリカ　ブチニッチ　ジャンブレシック）
（クロアチア）

（訳）
夕焼けの太陽－
跳びこむ蛙とその影が
水面に落ちて一つとなる

dragonfly darts
reed tip trembles
with his absent beauty

Leslie Giddens（レスリー　ギデンズ）
（英国）

（訳）
蜻蛉が飛び去った刹那
葦の先が震え
その姿なき名残の美しさ

a fossil -
transience left its tracks
in the stone

Vjekoslav Romich（ヴィェコスラフ　ロミック）
（クロアチア）

（訳）
化石－
石中の痕跡に
はかなさを残して

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

the end before the end
September rain

Jim Kacian（ジム　ケイシャン）
（アメリカ）

（訳）
終わりの前の終わり９月の雨

City wall.
The ivy sends new sprouts
through the arrow slit.

Volker Friebel（フォルカー　フリーベル）
（ドイツ）

（訳）
町の城壁
鳶が矢穴を通して
新しく芽吹きます

The creek murmurs
over the millstone
white cobweb.

Dusan Ruzić（ドゥシャン　ルジック）
（セルビア）

（訳）
小川がさらさらと流れ
石臼の上に
白い蜘蛛の巣

The Sun sprang up.
A sunflower moved
For an ant foot.

Ljiljana Krstić（リリヤナ　クリスティッチ）
（セルビア）

（訳）
太陽が現れて
向日葵が動く
蟻んこの歩みに

吟行投句

「草枕」大賞
百年の隙間風あり漱石居　熊本県熊本市　高野よしたか

中村汀女賞
築城の慶事待ちゐる冬木の芽　熊本県熊本市　工藤　靖子

特　選
◆ **小川濤美子　選**
冬天へ日ざし蹴り上げ天守閣　熊本県熊本市　西　美愛子
天守閣霽れて磴螺地に枯るる　熊本県熊本市　利光　釈郎
城小春天守に雲をあそばせて　熊本県熊本市　江島　敏子

◆ **金沢　富水　選**
戸障子に明治の名残漱石居　熊本県熊本市　高野よしたか
大銀杏紆余曲折を見てきたり　熊本県熊本市　西村　孝子
城垣の隙間に宿るハゼ紅葉　熊本県熊本市　上杉　タツ

◆ **佐藤　艸魚　選**
城郭の石塊一つまでも冬　熊本県熊本市　山澄　陽子
肥後菊の影また秩序正したる　熊本県熊本市　増田いと子
朴落葉踏んで大きな地球かな　熊本県熊本市　荒牧　成子

◆ **野田　遊三　選**
身震ひてより散り急ぐ木の葉かな　熊本県熊本市　若宮　瑞穂
満身を埋めむばかり櫨紅葉　熊本県熊本市　松本　照子
摺り足で渉る回廊紅葉冷　熊本県熊本市　谷　喜美子

◆ **星永　文夫　選**
城内の余白に草の絮飛ばす　熊本県熊本市　宮川ゆきえ
小春日の城壁の底歩きけり　熊本県熊本市　梅津真佐子
城垣の隙間をつめて冬に入る　熊本県宇土市　井上　松雄

大会当日投句

「草枕」大賞
湧水のふくらみて冬うらなる　福岡県大牟田市　古賀　紀子

種田山頭火賞
何の木でなく紅葉の木黄葉の木　熊本県熊本市　武藤　たみ

「草枕」発表百年記念特別賞
漱石忌人育みし明治あり　熊本県合志市　坂田美代子

特　選
◆ **相原左義長　選**
火口冷ゆ背へくる風を恐れつつ　熊本県熊本市　下城　正臣

◆ **池田　昭雄　選**
冬とまだ気付かぬ薔薇の香を放つ　熊本県熊本市　山澄　陽子

◆ **今井千鶴子　選**
海光の届く限りの蜜柑山　熊本県熊本市　丸山ゆきこ

◆ **岩岡　中正　選**
お天守に呼ばれてのぼる小春かな　熊本県合志市　坂田美代子

◆ **大岳水一路　選**
城の威をふはりとつつむ菊日和　熊本県熊本市　水田　絹子

◆ **倉田　紘文　選**
ひとひらに一つのいのち木の葉舞ふ　熊本県合志市　山崎　盛祥

◆ **寺井　谷子　選**
肥後菊のやうな一句を目差すなり　熊本県熊本市　久保　武雄

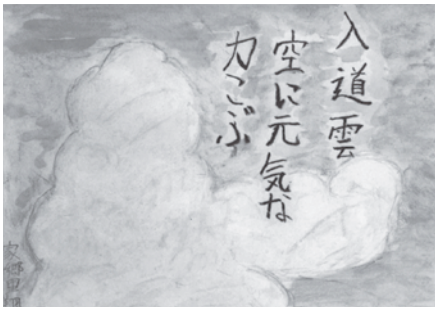
俳画部門

「草枕」大賞

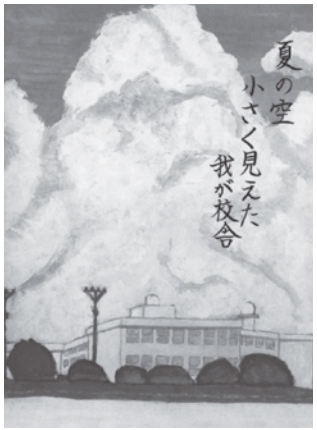
バラ散るや己がくづれし音の中
熊本県菊陽町　河津　恵子

ジュニアの俳句と絵部門

「草枕」大賞



入道雲空に元気な力こぶ
熊本県銭塘小学校４年　家郷　里翔



夏の空小さく見えた我が校舎
熊本県出水南中学校３年　増田祐理子

夏目漱石顕彰　第12回「草枕」国際俳句大会　熊本城築城400年記念大会

「草枕」の玉手箱

―俳句と俳画入賞作品集―（平成19年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
帰省子の一日城に遊びけり　熊本県熊本市　若宮　瑞穂

日本航空賞
玉虫の翅とじてゐる寂光土　福岡県大牟田市　河野てる代

熊本城築城400年記念特別賞
くろがねの城立ち上がる喜雨の中　愛知県浦郡市　三浦二三子

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞
花散つて小さな村にもどりけり　熊本県熊本市　丸山　國子

福井市賞
夏の鯉男の貌で泳ぎ来る　熊本県熊本市　荒牧　成子

特　選
◆今井千鶴子　選
銀漢や城はしづかに仰ぐもの　熊本県熊本市　光永　忠夫
◆岩岡　中正　選
虹立つとずぶ濡れの子に呼ばれけり　熊本県益城町　上田　春日
◆宇多喜代子　選
大夏野総身風となり歩く　熊本県合志市　坂田美代子
◆大岳水一路　選
大夕立校歌の山を洗いけり　三重県四日市市　横山　茂子
◆鍵和田柚子　選
渡りくる鶴をまぶしみ嫁ぐなり　熊本県熊本市　近藤ひかる
◆倉田　紘文　選
秋簾深く垂らして城下町　熊本県熊本市　大坪　祐子

◆坪内　稔典　選
昔から簡単服の肥後の夏　熊本県熊本市　竹下ツタエ
◆寺井　谷子　選
自爆弾手渡すようにパイン売る　フランス　玉城　周
◆坊城　俊樹　選
剝落の校名撫づる帰省かな　熊本県熊本市　上須崎ゆたか
◆松永　唯道　選
飄飄と晩節の夫冷奴　福岡県福岡市　江藤　豊子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞
神様が現れそうな雲の峰　熊本県桜井小学校5年　上原　大貴

小学生の部
人生はどうにかなるさ鰯雲　熊本県熊本信愛女学院高等学校1年　小幡　彩子

高校生の部
晴れた空蝉の鳴き声聞く古城　熊本県楠小学校3年　福島　由夏

日本航空賞
蝉の殻四百年のお城の木　熊本県菊陽北小学校4年　佐藤　航

熊本城築城400年記念特別賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Near dusk --
the sound of the last
fishing boat.

アレクシス　ロテラ
Alexis Rotella
（アメリカ）

（訳）
東雲に
漁船が帰路につく
最後の汽笛鳴らして

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

early morning
a heron steps into
its reflection

バーバラ　ストラング
Barbara Strang
（ニュージーランド）

（訳）
早朝のひと時
鷺が水面に映る水からの
影に入りゆく

Sleepwalking moon
ambushed in clouds
spies on a cricket.

ビルマ　アントリナ
Vilma Antolina
レコーダー
Recoder
（アルゼンチン）

（訳）
雲に隠れて
動く月の光が
蟋蟀をそっと見張っている

One big puff and POOF!
Drift freely, a new journey
Dandelion seeds

ファドリナ
FADHLYNA
アブド　ワハブ
ABD WAHAB
（日本・岐阜県）

（訳）
一吹き大きくフーッと吹く！
宙に漂って新しく
旅の途につく蒲公英の種
いくつ

daybreak
lilies light
the light

ロベルタ
Roberta
ベアリー
BEARY
（アメリカ）

（訳）
夜明け
百合の光があたりの光を
明るくする

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

width of a leaf between
us and autumn

ジョン　スティーブンソン
John Stevenson
（アメリカ）

（訳）
我らと秋の狭間にある一枚の
葉っぱの幅

early morning
a heron steps into
its reflection

バーバラ　ストラング
Barbara Strang
（ニュージーランド）

（訳）
早朝のひと時
鷺が水面に映る水からの
影に入りゆく

Sleepwalking moon
ambushed in clouds
spies on a cricket.

ビルマ　アントリナ
Vilma Antolina
レコーダー
Recoder
（アルゼンチン）

（訳）
雲に隠れて
動く月の光が
蟋蟀をそっと見張っている

daybreak
lilies light
the light

ロベルタ
Roberta
ベアリー
BEARY
（セルビア）

（訳）
夜明け
百合の光があたりの光を
明るくする

吟行投句部門

「草枕」大賞

城落葉父恋ふときは深く踏む
熊本県熊本市　利光　釈郎

中村汀女賞

冬晴や巻き戻されし城絵巻
熊本県熊本市　山澄　陽子

熊本城築城400年記念特別賞

冬空に城は己を失はず
熊本県熊本市　丸山ゆきこ

特　選

◆井芹眞一郎　選

肥後菊の掟正しく枯れゆける
熊本県荒尾市　大川内みのる

人声の過ぎて振り向く冬菫
熊本県熊本市　大即　和枝

大冬木四百年の力瘤
熊本県熊本市　髙野よしたか

◆小川濤美子　選

秋深し城の歴史の歩せば湧く
熊本県熊本市　園田　淑子

城壁にむらさき深き冬木影
熊本県熊本市　中村　康子

走り根に冬の日渋し漱石居
熊本県熊本市　吉井みつき

◆近藤ひかる　選

錦秋の城となりたる日和かな
熊本県熊本市　佐藤　禎子

冬草を踏めば応へる力あり
熊本県熊本市　二木　恵子

群がつて菊師の話聴ひてをり
熊本県熊本市　南野　幸子

◆野田　遊三　選

中天に日のある安堵浮寝鴨
熊本県熊本市　利光　釈郎

一片の鱗こぼさず鰯雲
熊本県熊本市　中嶋　富恵

陽に燃ゆる天守閣へ迫まる蔦紅葉
熊本県熊本市　松本　照子

◆星永　文夫　選

お天守の霽れて市電の窓小春
熊本県熊本市　松村　葉子

鵙鳴いて漱石の髭ぴくりとす
熊本県熊本市　水田　絹子

火の修羅を浴びたる城の返り花
熊本県合志市　村田　正三

大会当日投句部門

種田山頭火賞

先生と呼んで親しき漱石忌
熊本県熊本市　中嶋　富恵

特　選

◆今井千鶴子　選

百枚の障子開け放ちて一人
熊本県熊本市　青島　玄武

◆岩岡　中正　選

鴨の陣昼のかたちとなりにけり
熊本県熊本市　荒牧　成子

◆大岳水一路　選

鴨自由大きく使ふ空と湖
熊本県熊本市　丸山ゆきこ

◆倉田　紘文　選

小春日の水方円の江津湖かな
福岡県大牟田市　古賀　紀子

◆寺井　谷子　選

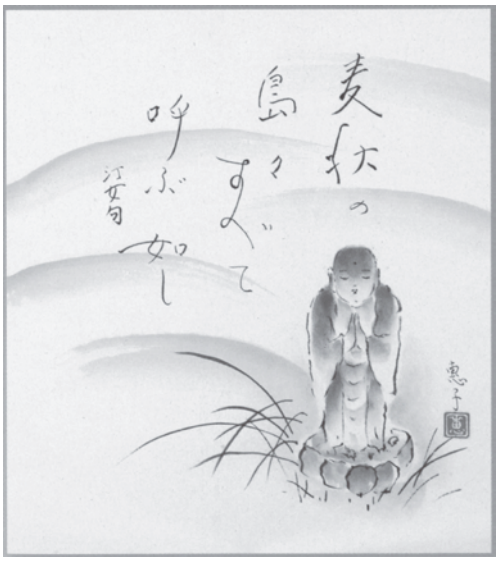
言の葉のいくつを重ねればもみぢ
熊本県熊本市　武藤　たみ

◆松永　唯道　選

走り根の下に走り根大冬木
熊本県熊本市　つのだともこ

俳画部門

「草枕」大賞



麦秋の島々すべて呼ぶ如し　（汀女句）
熊本県菊陽町　河津　恵子

夏目漱石顕彰　第13回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成20年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

星飛んで阿蘇に子牛の産れけり　大分県大分市　渡辺　節子

日本航空賞

アマゾンは地球の大河天の川　熊本県菊陽町　渡邊佳代子

JAグループ熊本／くまもと売れる米づくり推進本部賞

草笛を誰かが吹いて日を落とす　熊本県熊本市　島田眞理子

福井市賞

雲海の底びしよぬれの列車発つ　熊本県熊本市　佐藤　禎子

地下水都市・熊本賞

不知火や俄に冥きくらしの灯　熊本県荒尾市　大川内みのる

特　選

◆今井千鶴子　選

夕日まだ水にとどまる四葩かな　熊本県熊本市　伊津野善子

◆岩岡　中正　選

波といふ波金色に涅槃西風　熊本県合志市　坂田美代子

◆宇多喜代子　選

一個づつ千個の梅を干し返す　熊本県天草市　有江サヨリ

◆大岳水一路　選

蓮根掘る長き列車の長き影　熊本県熊本市　右田　捷明

◆鍵和田柚子　選

大阿蘇の火山灰にすすけし蜜柑捥ぐ　神奈川県茅ヶ崎市　岡田　貞二

◆岸原　清行　選

天の川阿蘇カルデラへ迸る　福岡県福岡市　今中　榮泉

◆倉田　紘文　選

をさな児も数の内なる盆の客　愛知県岡崎市　柴田　清美

◆坪内　稔典　選

夫二つ私三つ寒苺　宮崎県高千穂町　伊藤まり子

◆寺井　谷子　選

沖縄の旅の写真の中に虹　兵庫県稲美町　大西　桂子

◆坊城　俊樹　選

一樹あり少年の日へ帰省する　東京都あきる野市　木下　蘇陽

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

かぶとむしぼくよりすごいたべっぷり　熊本県東町小学校1年　松木　優都

小学生の部

蛍火は自然がくれたランプかな　熊本県山江中学校2年　村坂栄莉奈

中学生の部

母の日や鏡台を拭くていねいに　長崎県立長崎工業高等学校3年　大道　愛美

高校生の部

秋が風を黄色く染めた　山梨大学大学院　曹　婷

留学生の部

お父さんビールと一緒に帰宅する　熊本県荒尾第一小学校6年　藤原　鮎美

日本航空賞

炎天下蛇口全開顔で飲む　熊本県熊本信愛女学院高等学校2年　竹田　知沙

地下水都市・熊本賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

between statues the rest of history

Jim Kacian（ジム　カシアン）
（アメリカ）

（訳）
彫像と彫像の間に見る歴史の残滓

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

the endless sea
crouched between
two cypresses

Bozena Zernec（ボゼナ　ゼルネッチ）
（クロアチア）

（訳）
二本の糸杉の間に
果てしのない海が
身をかがめるように拡がっている

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

summer night
crickets chirp while the
children's
playground takes a rest

ステパン　ロージッチ
Stjepan Rozic
（クロアチア）

（訳）
夏の夜は
蟋蟀が鳴いている
運動場がお休みの時

at daybreak
pieces of wet moons
thaw on stones

エディット　マンチーニ
Edith Mancini
（アルゼンチン）

（訳）
夜明けのひと時
滴の数だけの月が
石の上で溶けている

Whispering to her --
the spotted fawn
eyes the outstretched
water lily

デイビット
David
マクマリー
McMurray
（日本・鹿児島県）

（訳）
何かささやくように --
鹿の子まだらの鹿が
伸びてきた睡蓮に
じっと眼を向ける

from an old photo album
smiling at me tenderly
the childhood

ヴェラ
VERA
プリモラッツ
PRIMORAC
（クロアチア）

（訳）
懐かしのアルバムから
そっと私を見つめる
子どものころの私

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

how deer
materialize
twilight

スコット　メイソン
Scott Mason
（アメリカ）

（訳）
鹿が
薄明の中に
見え出してくる様

koi pond --
red leaf at the bottom
of the atmosphere

マイケル
Michael
ニッケルス　ウィズダム
Nickels-Wisdom
（アメリカ）

（訳）
鯉の池--
水底に見る
赤い木の葉の趣

like a blade
the night train roars by
war memories

リュボミール
Ljubomir
ドラゴヴィッチ
Dragovic
（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

（訳）
刃物のように
夜汽車が轟音をたててゆく
戦争の記憶に

from an old photo album
smiling at me tenderly
the childhood

ヴェラ
VERA
プリモラッツ
PRIMORAC
（クロアチア）

（訳）
懐かしのアルバムから
そっと私を見つめる
子どものころの私

当日投句部門

「草枕」大賞
ふところに水を蔵して山眠る
熊本県菊陽町　渡邊佳代子

中村汀女賞
破れ芭蕉かぶせありけり子等の魚籠
熊本県熊本市　秋野　長利

種田山頭火賞
枯葦を過ぐれば風の消へにけり
熊本県熊本市　伊津野善子

地下水都市・熊本賞
花石蕗に明るき声の帰郷かな
熊本県熊本市　坂本あかり

スポーツライフくまもと賞
草紅葉山羊に日向の匂ひあり
熊本県熊本市　永野由美子

特　選

◆ 今井千鶴子　選
鴨万羽湖は雨とてくらからず
熊本県熊本市　丸山ゆきこ

◆ 大岳水一路　選
障子張る江津湖の四季に添ふ暮し
熊本県熊本市　髙本よしえ

◆ 小川濤美子　選
源泉の真砂の鼓動水澄めり
熊本県熊本市　伊藤　広子

◆ 岸原　清行　選
荒縄の痕残りたる千大根
熊本県西原村　平山　友頌

◆ 倉田　紘文　選
虚空より雪舞ふ古今伝授の間
熊本県熊本市　中嶋　富恵

◆ 寺井　谷子　選
芭蕉林枯れもなかばや漱石忌
熊本県熊本市　光永　忠夫

◆ 岩岡　中正　選
水の中より水湧いて鴨の陣
熊本県熊本市　西村　孝子

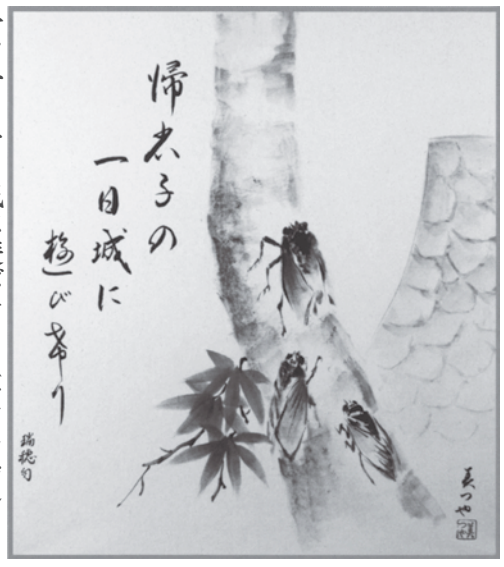
◆ 井芹眞一郎　選
風の来て絵より覚めたる紅葉かな
熊本県西原村　平山　結子

◆ 野田　遊三　選
白鷺の白こだわらず鴨の陣
熊本県熊本市　岡本　京子

◆ 星永　文夫　選
肘つきの紙の漱石にも秋思
熊本県熊本市　細田みのる

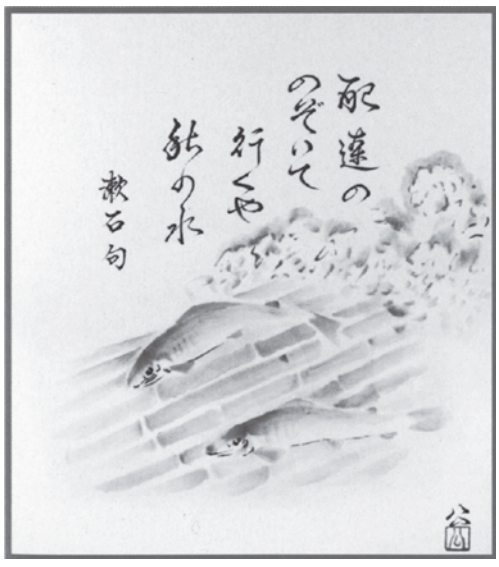
俳画部門

「草枕」大賞



帰省子の一日城に遊びけり（若宮瑞穂句）
熊本県熊本市　本田みつや

地下水都市・熊本賞



配達ののぞいて行くや秋の水（夏目漱石句）
熊本県熊本市　小山　公

夏目漱石顕彰　熊本市制百二十周年記念　第14回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成21年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
大阿蘇の麓の村の子猫かな　大分県臼杵市　野木　俊介

日本航空賞
虫を売る漢は別の闇にいて　東京都あきる野市　木下　蘇陽

くまもと売れる米づくり推進本部賞
遠くから雨が降り出す立葵　熊本県熊本市　荒牧　成子

福井市賞
アマゾンの日本村や鯉のぼり　ブラジル　工藤チーナ

地下水都市・熊本賞
声たてず笑ひ給へり生身魂　千葉県松戸市　福山　朋子

特　選

◆今井千鶴子　選
脱ぎてはや絹のつめたき花衣　熊本県熊本市　上須崎ゆたか

◆岩岡　中正　選
一転機もたらせし書を曝しけり　熊本県熊本市　杉村　凡栽

◆宇多喜代子　選
一握り土つけたして苗を売る　台湾　楊　海瑞

◆大岳水一路　選
豁然と空を割る日矢大花野　福岡県福岡市　大西　敏恵

◆鍵和田柚子　選
阿蘇といふ芒の国に入りにけり　大分県宇佐市　松本　公節

◆岸原　清行　選
いくたびも沖見て海人の魂送る　東京都日野市　菅原　悟

◆倉田　紘文　選
水流すごと聞き流す生身魂　熊本県熊本市　松村　葉子

◆須藤　徹　選
眼まで空蟬となりおほせけり　熊本県熊本市　中路　哲郎

◆寺井　谷子　選
億年の星光ゲとどく蟻地獄　茨城県日立市　町井　寂石

◆坊城　俊樹　選
螺子ひとつ転がる廊下涼しかり　東京都西東京市　杉本とらを

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部
弟が夏のはじめに歩いたよ　熊本県泉ヶ丘小学校2年　中原　嘉乃

中学生の部
万緑の鎧をまとう天守閣　熊本県熊本大学教育学部附属中学校3年　尾池和希子

高校生の部
夏帽子押さえて走る待ち合わせ　静岡県磐田南高等学校1年　鈴木　里実

留学生の部
該当なし

日本航空賞
夏空にすいこまれていくホイッスル　熊本県帯山小学校6年　緒方　美奈

地下水都市・熊本賞
空蟬よきみは未来に何を見たのか　熊本県菊池南中学校3年　三宅　智也

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

gull--
the wind's way
with it

スコット　メイソン
Scott Mason
（アメリカ）

（訳）
かもめが飛んで――
飛びゆくままに
風の道となる

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

estuary mouth
curlew calls
moon rise in sea smell

レズリー　ギデンズ
Leslie Giddens
（イギリス）

（訳）
大河の河口域
海の香りいっぱいに一羽の鴫が
月の出を呼び起こす

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

First snow covered
ruins of bombardment
but no remembrance

Silvija Trpcevski（シルビジャ トロシェブスキー）
（セルビア）

（訳）
初雪に
被弾の廃墟は覆われても
覆われぬものはその記憶

drowning
in his own reflection
a snowman

Dejan Pavlinovic（デジャン パブリノビック）
（クロアチア）

（訳）
雪だるまが融けて
自分の影の中で
溺れていく

grass trembling,
trembling under the sickle
of the moon

Beate Conrad（ビート コンラド）
（アメリカ）

（訳）
牧草が震えている
三日月の鎌の下で
震えている

brave firefly!
lighting the hands
of the catcher…

Manuel Asorey（マニュアル アソレイ）
（アルゼンチン）

（訳）
勇敢なホタル！
捕獲者の手を
光らせて…

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

a sparrow in the rain
trying to find a kernel -
the poor one

Irina Stefanovic（イリナ ステファノビック）
（セルビア）

（訳）
雨中の雀
穀粒を見つけようとして―
可哀そうな奴よ

at the spring
pilgrims
of water

Nadia Naidenova - Syrma（ナディア ナイデノバ シルマ）
（ブルガリア）

（訳）
春の季節
水の
巡礼者たち

inchworm…
hou long it took to return
to wonder

Scott Mason（スコット メイソン）
（アメリカ）

（訳）
シャクトリムシ…
どれだけ時間をかけて
その不思議に戻ることやら

what powers stars
kinks the flight of a bee
scouring clover

William Hart（ウィリアム ハート）
（アメリカ）

（訳）
どんな力ある星が
ミツバチの飛行を
縺れさせるのか
クローバーを光らせて

当日投句部門

「草枕」大賞
ダム底となるやならずや冬耕す
熊本県熊本市　山澄　陽子

中村汀女賞
赤とんぼ江津の夕日の色にとぶ
熊本県熊本市　西山稜成子

種田山頭火賞
柿千すや阿蘇をふだんの山として
熊本県熊本市　加藤いろは

地下水都市・熊本賞
水鳥のみなよき貌に湖霽るる
熊本県熊本市　利光　釈郎

スポーツライフくまもと賞
肥後菊の芯まで晴れて来し日和
熊本県熊本市　頓田スミ子

特　選

◆ 今井千鶴子　選
山幾重うすむらさきに神の旅
熊本県合志市　大坪　蕗子

◆ 大岳水一路　選
湖に添ふ暮しゆたかに冬菜畑
熊本県熊本市　利光　釈郎

◆ 小川濤美子　選
己が影曳いて流れ藻水澄めり
熊本県熊本市　渡辺久美子

◆ 岸原　清行　選
あんたがたどこさひござや小春空
福岡県北九州市　池田　浩子

◆ 須藤　徹　選
この星に大字小字水澄めり
熊本県熊本市　水田　絹子

◆ 坊城　俊樹　選
芒原分け入ってみる牛がいる
熊本県山都町　高宗　法

◆ 岩岡　中正　選
冬瓜も丸刈りの頭も撫でてやる
熊本県熊本市　永野由美子

◆ 井芹眞一郎　選
風が吹き残したる種採りにけり
熊本県熊本市　山本　淑子

◆ 近藤ひかる　選
浮寝鴨人を信じる近さあり
熊本県熊本市　丸山ゆきこ

◆ 野田　遊三　選
物忘れ延長線に桐の花
熊本県熊本市　北野　昭夫

◆ 星永　文夫　選
秋風や写楽の顎の少しのび
熊本県熊本市　西　美愛子

俳画部門

「草枕」大賞

往年のスターを偲ぶ麦の秋
熊本県熊本市　勝木　睿子

地下水都市・熊本賞

ふところに水を蔵して山眠る（渡邊佳代子句）
熊本県熊本市　小林　礼子

夏目漱石顕彰　第15回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成22年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

膝ついて草取る翁爆心地　広島県広島市　重西あつ子

日本航空賞

恐竜も昆虫もゐて夏休　神奈川県鎌倉市　白井　晟也

くまもと売れる米づくり推進本部賞

紙魚の痕紙縒りとなりて昭和閉づ　熊本県熊本市　水田　絹子

福井市賞

一本を活けて家中芒原　宮崎県小林市　永田タヱ子

地下水都市・熊本賞

阿蘇牛の磨き込まれし十三夜　三重県四日市市　横山　茂子

特　選

◆今井千鶴子　選

夜は星と囁く高さ今年竹　熊本県熊本市　水野つとむ

◆岩岡　中正　選

花火師に喝采のごと星ありぬ　愛知県岡崎市　水野　幸子

◆宇多喜代子　選

阿蘇牛の黒たくましき大夕焼　三重県四日市市　横山　茂子

◆大岳水一路　選

萬緑を映す湖底に村沈み　熊本県熊本市　秋吉　昭二

◆鍵和田柚子　選

天草やいくたび過ぎし野分雲　埼玉県さいたま市　関根　瞬泡

◆岸原　清行　選

屠所に出す牛に暫しの花野かな　ブラジル　菅原　岩山

◆倉田　紘文　選

大阿蘇へスイッチバック青嵐　大分県杵築市　桒原　弘治

◆須藤　徹　選

闇を追ひ闇に追はるる螢狩　広島県広島市　重西あつ子

◆寺井　谷子　選

阿蘇の月月の阿蘇にとなりて来し　高知県高知市　高野　基都

◆坊城　俊樹　選

かなかなや限界集落の夜明　福島県西郷村　黒澤　正行

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

あさがおのいろみずでえをかきました　愛知県鶴城小学校1年　横山　翔人

中学生の部

万緑の帽子で熊本守る阿蘇　熊本県鮑田中学校2年　石川　翔

高校生の部

盆の川「またね」と祖母を送りけり　熊本県信愛女学院高等学校3年　伊藤　聖香

留学生の部

自転車で走つて行こう夏の道　東京都東京女子大学3年　李　恵真

日本航空賞

足元を真つ白にして桜散る　長崎県長崎工業高等学校3年　浅山　達郎

地下水都市・熊本賞

澄む水をすくえばゆれる天守閣　愛媛県桑原中学校1年　泉市　梨代

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

Two light beams shining
where there were once
Twin Towers—
my son, my daughter

ジャックガルミッツ
Jack Galmitz
（アメリカ）

（訳）
二本のビーム光線の輝き
ここはツイン・タワーのあった処―
わが息子よ、わが娘よ

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

The paper lanterns
Float along the river course
Till the spirits drift.

レオニー　サントソ
Leony Santoso
（インドネシア）

（訳）
紙灯籠が
川路に沿って浮流する
精霊となって

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

twilight
the shadows
overshadowed

Rafal（ラファル）
Zabratynski（ザブラティンスキ）
（ポーランド）

（訳）
夕闇に
夕闇が重なってゆく
黄昏時

sea fret
the unison call
of cranes

George Swede（ジョージ　スウィード）
（カナダ）

（訳）
海の格子文様
一斉に連なって渡りゆく
鶴たちの鳴き声

binary star —
the cat's eyes

Julie Bloss（ジュリー ブロス）
Kelsey（ケルシー）
（アメリカ）

（訳）
連星・光る二つからなる星—
猫の目・猫目石だ

in the spotlight
of Indian summer
a stump in the forest

Michael（マイケル）
Lindenhofer（リンデンホーファー）
（オーストリア）

（訳）
小春日和の
光の的となって
森の中の木株が一つ

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

quiet night
in every flower
its part of silence

Zeljko Funda（ゼルコ　フンダ）
（クロアチア）

（訳）
静かな夜
花びら一枚一枚の中にある
沈黙の欠片

Moonlight
the illusion of being
alone

Rees Lynne（リース　リン）
（フランス）

（訳）
月光は
ただ一人あることの
幻影

Knowing one among
miles of white crosses

Paul Pfleuger, Jr.（ポール　フルガー　ジュニア）
（台湾）

（訳）
何処までも続く白い十字架の
中の彼の人の白い十字架

Tulips.
Morning at the folds
of red.

Friebel Volker（フィーベル　フォルカ）
（ドイツ）

（訳）
チューリップの花
赤い花びらの
襞にみる朝方

当日投句部門

「草枕」大賞

模楠の実父の拳の堅さあり　熊本県熊本市　猩々　紀男

中村汀女賞

ふくふくと水湧く江津の浮寝鳥　熊本県熊本市　つのだともこ

種田山頭火賞

大枯木空の青さに届くまで　熊本県合志市　種田　雅子

地下水都市・熊本賞

火の国に大きな冬の来たりけり　熊本県熊本市　江島　敏子

スポーツライフくまもと賞

湖に佇み冬を見てゐたり　熊本県熊本市　伊津野善子

日航財団賞

すぐそこに戦さきている冬の浪　熊本県熊本市　桂　瑞枝

特　選

◆大阿蘇の懐深く水澄めり　熊本県熊本市　水田　絹子

◆肥後菊の誇り菊師のまなざしに　熊本県熊本市　簑田　順子

◆天近く牛放ちあり阿蘇小春　熊本県熊本市　髙橋　満子

◆父越へしもの何あらむ朴落葉　熊本県西原村　吉岡　七郎

◆直線に曲線に水尾湖小春　熊本県熊本市　つのだともこ

◆鴨は日を我は言葉を温むる　熊本県熊本市　利光　釈郎

◆栴檀の実統合される母校かな　熊本県熊本市　前田けい子

◆柊の花に日当る門出かな　熊本県熊本市　出口　道子

◆遠嶺々に日の差しわたる神の旅　熊本県合志市　牛嶋　久

◆煙から火の躍り出て秋深し　熊本県熊本市　西村　孝子

◆羽撃つたび光の鴨となりにけり　熊本県合志市　坂田美代子

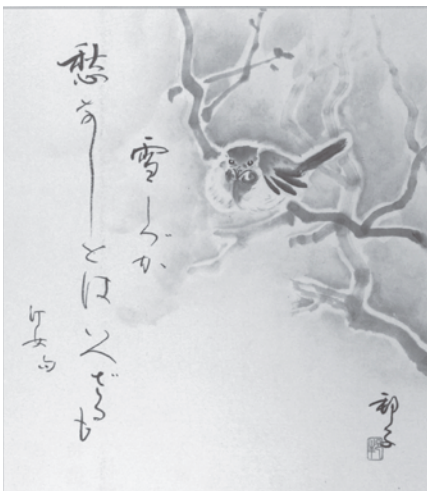
◆中天に一つ穴あり水の秋　熊本県熊本市　水田　絹子

◆ 星永　文夫　選

快晴の指ぽきと鳴る石蕗の花　熊本県美里町　山田　節子

俳画部門

「草枕」大賞



雪しづか愁なしとはいへざるも（汀女句）　熊本県合志市　中原　邦子

地下水都市・熊本賞

猛暑にもめげず干潟のムツゴロウ　熊本県氷川町　香山セツ子

夏目漱石顕彰　第16回「草枕」国際俳句大会　ねんりんピック2011熊本　俳句交流大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成23年）

俳句の部　高齢者部門・一般部門

特　選

◆稲畑廣太郎　選

夕闇の撫でて黄菅を濃くしたる　福岡県大牟田市　鹿子生憲二

◆稲畑　汀子　選

海を見る一人一人が夕焼けて　神奈川県横浜市　印南　房吉

◆岩岡　中正　選

春寒や主亡くせしランドセル　熊本県熊本市　久保　武雄

◆小川濤美子　選

ふらこゝの順を待つ子の眼も漕げる　広島県福山市　横川美重子

◆鍵和田柚子　選

大阿蘇の禱りの野火でありにけり　熊本県阿蘇市　井澤　俊子

◆倉橋　羊村　選

藍ゆかた母を受け継ぐ富士額　熊本県八代市　貝田ひでを

◆田中　不鳴　選

父の背を流すが如く墓洗い　北海道札幌市　植田　尚宏

◆棚山　波朗　選

牧水の越へし峠や榛の花　埼玉県さいたま市　川辺　時子

◆辻　桃子　選

二羽乗れば沈みさうなる浮巣かな　熊本県熊本市　増田いと子

◆寺井　谷子　選

天文台浮かべみどりの日のみどり　岡山県倉敷市　重政　三潮

高齢者部門・「草枕」大賞

受話器よりかなかなの声妻の声　熊本県熊本市　子狐　萬浪

一般部門・「草枕」大賞

地球より大筍を掘りあげる　神奈川県川崎市　和泉　雅江

くまもと売れる米づくり推進本部賞

好きといふことば丸めて雪礫　三重県鈴鹿市　古川　和子

福井市賞

鎮魂のトランペットや海五月　熊本県玉名市　松瀬むつ江

松山市賞

雲の峰大き角もて立ちにけり　茨城県結城市　北島　清子

日本航空賞

被災地に卒業歌流れ山泣けり　鹿児島県姶良市　東郷　義弘

地下水都市・熊本賞

大阿蘇に一礼をして卒業す　大分県大分市　野田　敦美

俳句の部　ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

ふん水に胴上げされてみたいな　福井県鳥羽小学校5年　三ッ山涼雅

中学生の部

生きていく！三陸の春強く思ふ　熊本県西原中学校2年　梅田　歩澄

高校生の部

紫陽花やクラリネットの丸い音　茨城県下館第一高等学校1年　野寺　千歩

留学生の部

沈黙でどんぐり落ちた森の音　兵庫県神戸市外国語大学　ダマソ　ポッセ

日航財団賞

風鈴に一直線に山の風　長崎県諫早農業高等学校1年　古川　真耶

地下水都市・熊本賞

ふん水が熊本城をかたむける　愛媛県愛媛大学教育学部附属中学校2年　清水　媛香

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

no-go zone
the twinkle of stars
in the Ukedo River

George Swede（ジョージ　スウィード）
（カナダ）

（訳）
ここからは立入禁止
請戸川に
星がまたたいて

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

ear shaped shell
a small child holds out
to the sea

John Parsons（ジョン　パーソンズ）
（イギリス）

（訳）
耳形の貝殻を
子どもが差し出す
海に向かって

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

Dawn
raising ax...
echo up the valley

ロマノ　セラシ
Romano Zeraschi
（イタリア）

（訳）
夜明け
振り上げた斧の音―
渓谷に響き渡って

I fiori di colze e i quartieri
sinistrati continuano
la strada.

ジョバンニ　モンテ
Giovanni Monte
（イタリア）

（訳）
菜の花や被災区域へ
続く道

Her far away look
Tire swing on
a nearby tree
The missing Children

スティーブン　レスリー
Stephen W.Leslie
（アメリカ）

（訳）
遠くを見つめる彼女の眼差し
近くの木には
タイヤのブランコ
子どもたちがいなくなって

moonrise burying
the embers

イブ　ラックリング
Eve Luckring
（アメリカ）

（訳）
月の出に
夕焼けの残り火が
消えて行く

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

all alone
with his smile
stone buddha
in the nuclear zone

ディットマー　タオフニャー
Dietmar Tauchner
（オーストラリア）

（訳）
ぽつねんと
微笑んで佇つ
石仏の
放射能ゾーン

tsunami dreams-
grass pillows for
the homeless
on Bashō's *Narrow Road*

ベブリー　ジョージ
Beverley George
（オーストラリア）

（訳）
津波の夢―
宿無き者の草枕
芭蕉の「奥の細道」に
よせて

incoming tide...
their tears
join mine

ミッシェル　ハービー
Michele L.Harvey
（アメリカ）

（訳）
押し寄せて来る潮―
彼の人々の涙が
私の涙となって

Thunderstorm.
In the streams opened
eyes.

フォルキア　フリーベル
Volker Friebel
（ドイツ）

（訳）
激しい雷雨
川の流れのさ中
目を見開いて

当日投句部門

「草枕」大賞
一水のふくらみ鴨の声放つ　熊本県熊本市　中嶋　富恵

中村汀女賞
阿蘇谷に蕎麦花ざかり日は西に　熊本県大津町　坂本　セキ

種田山頭火賞
火の国に嫁ぎお城の落葉掃く　熊本県熊本市　西　美愛子

スポーツライフくまもと賞
団栗に分けて貰ひし山日和　熊本県熊本市　水野つとむ

日本航空賞
石といふ石の露けさ城巡る　熊本県熊本市　つのだともこ

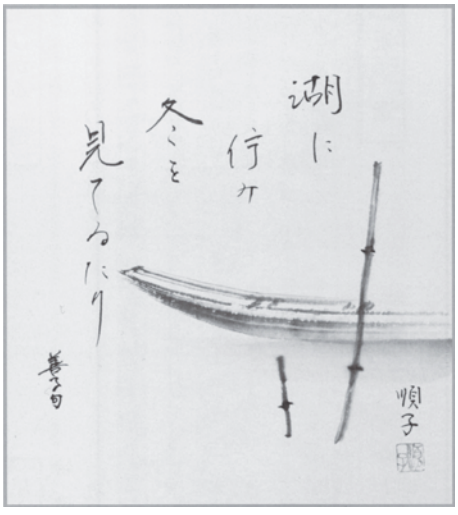
地下水都市・熊本賞
本当の秋風に会ふ天守閣　熊本県熊本市　山澄　陽子

特　選
◆安西　篤　選
礎の堅きお城や菊枕　熊本県熊本市　矢澤　幸乃
◆稲岡　長　選
母許の離れがたしや彼岸花　熊本県宇土市　坂本　節子
◆大久保白村　選
秋の城飛行機雲が切りかかる　熊本県熊本市　秋吉　柳水
◆小川濤美子　選
年輪を育む大地秋麗　熊本県西原村　吉岡　七郎
◆棚山　波朗　選
湖に日の射すところ鴨の陣　熊本県菊池市　日野　智子
◆豊田　都峰　選
銃眼にはり付き蟷螂ひた枯るる　熊本県菊陽町　佐藤　澄世
◆山崎　聰　選
火の山の火が飛びどうだん紅葉かな　熊本県熊本市　佐本あい子
◆山本　洋子　選
抱く嬰と仰け反つて見る赤とんぼ　熊本県熊本市　伊藤　広子
◆岩岡　中正　選
爽やかや古今伝授の物語　熊本県熊本市　水田　絹子
◆井芹眞一郎　選
鴨来る湖心しづかに明け渡す　熊本県熊本市　伊藤　広子
◆近藤ひかる　選
翡翠の一閃湖の水を蹴る　熊本県熊本市　冨永　節子
◆野田　遊三　選
芭蕉破れ十方浄土への戸片　熊本県熊本市　堀　伸子

◆星永　文夫　選
破芭蕉十一本目までは数へけり　熊本県熊本市　西村　孝子

俳画部門

「草枕」大賞



湖に佇み冬を見てゐたり（伊津野善子句）　熊本県熊本市　渕原　順子

地下水都市・熊本賞

どんたくや地元球団勝てばなほ　福岡県福岡市　鶴内　恵

夏目漱石顕彰　第17回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成24年）

俳句の部・一般部門

特　選

◆今井千鶴子　選
食卓に芥子蓮根大暑かな　大阪府枚方市　中村　久子

◆岩岡　中正　選
掬ひとる水の中より新豆腐　熊本県熊本市　稲田　夏子

◆宇多喜代子　選
菜の花に溶けきってるかくれんぼ　熊本県熊本市　伊津野善子

◆大岳水一路　選
水澄むや子規の生国にて余生　愛媛県松山市　谷　廣子

◆岸原　清行　選
かなかなに明けかなかなに暮るる阿蘇　福岡県福岡市　赤坂　邦子

◆倉田　紘文　選
秋風を聞く観音の耳ふたつ　熊本県熊本市　加藤いろは

◆須藤　徹　選
花火果て闇を大きく闇つつむ　福岡県北九州市　大内　珠美

◆寺井　谷子　選
キャンピングカー蜩の森に入る　熊本県西原村　平山　結子

◆坊城　俊樹　選
友水潰く太平洋を泳ぎけり　神奈川県鎌倉市　白井　晟也

◆山本　洋子　選
蚊取香とともにひと日が過ぎにけり　熊本県熊本市　恒松　繁政

「草枕」大賞
月の客ひとりがピアノ弾き始む　熊本県熊本市　南野　幸子

くまもと売れる米づくり推進本部賞
炎天や津波の跡に菓子おもちや　青森県むつ市　飯田　知克

福井市賞
フェリーいま銀河の橋に解纜す　熊本県熊本市　利光　釈郎

松山市賞
引き馬の腹に馬虻唸りづめ　愛知県瀬戸市　玉井美智子

日本航空賞
水の星水の里なりみずすまし　東京都江東区　橋本世紀男

地下水都市・熊本賞
下駄の緒の切れてしまひぬ螢狩　神奈川県横須賀市　比留間加代

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞
小学生の部
ポケットのせみがなき出すバスの中　愛媛県桑原小学校2年　泉市　竜志

中学生の部
ピストルの響きで動く夏大地　広島県駅家中学校3年　林　晃礼

高校生の部
北風や縮かんでいる更衣室　長崎県諫早農業高等学校2年　田尻　智啓

留学生の部
蒲の穂や朝倉遺跡風渡る　石川県北陸大学3年　劉　冬瑶

日航財団賞
ブランコにのったら足がそらにつく　熊本県金剛小学校敷川内分校2年　山内　美月

地下水都市・熊本賞
炎天下大きく上げた水しぶき　熊本県画図小学校5年　島村　敏季

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

over wire entanglements
of the country border
a butterfly

Lucian Horii-Hotta（リュシアン　ホリイ　ホッタ）
（日本・東京都）

（訳）
国境の
針金の縺れを越えて飛ぶ
蝶一つ

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

meditation
the pond's blue eye
captures an egret

Earl R.Keener（アール　R.　キーナー）
（アメリカ）

（訳）
瞑想の中
池の水色の眼差しが
白鷺を捕える

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

tug of war
fish versus man
gulls cheer

Raj K. Bose（レイ K. ボース）
（アメリカ）

（訳）
魚と漁師の
大綱引き
カモメたちが応援して

crossing centuries
the aging bridge

Belle Shalom（ベル シェロン）
（アメリカ）

（訳）
何百年もの時を渡り時を経た
橋を渡りゆく

cosmic
self-lit presence
fireflies

Manuel Asorey（マニュエル アソレイ）
（アルゼンチン）

（訳）
広大な宇宙で
自力で光るものがある
蛍だ

solitary prime numbers
I count
under starry night

Chikako Kajitani（チカコ カジタニ）
（日本・東京都）

（訳）
孤独な素数を
星空の下で
数えている私

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

skywriting all the
disappearing words
between us

Margaret Dornaus（マーガレット ドーナス）
（アメリカ）

（訳）
二人の間で消え去る言葉を
一つ残らず大空に
描いている

this heat
the birth-giving
petroglyph
in desert varnish

Bruce Ross（ブルース ロス）
（アメリカ）

（訳）
この暑さ
砂漠のワニスで
命吹き込む太古の岩石線画

new radio
the noise
of our origin

Dietmar Tauchner（ディットマー タオフニャー）
（オーストリア）

（訳）
ヒトの起源を伝える
ノイズか
新しい無線交信

a summer of rain
unwavering blades of grass
bleed the roses green

Kylie Hooklyn（カイリー ホックリン）
（オーストラリア）

（訳）
雨多き夏
草の葉がきっぱりと
薔薇の樹液を吸い上げて
あおあおと

当日投句部門

「草枕」大賞
鴨の声まねて子供の通りけり
熊本県熊本市　佐竹　戌彦

中村汀女賞
江津の川藻波たゆたう小春かな
熊本県熊本市　林田　秀久

種田山頭火賞
阿蘇の創癒す朝霧夜霧かな
熊本県菊陽町　渡邊佳代子

スポーツライフくまもと賞
崩落の山より時雨来たりけり
熊本県熊本市　つのだともこ

地下水都市・熊本賞
黄落や熊本城の男ぶり
熊本県熊本市　中嶋　富恵

特　選

◆ 大岳水一路　選
流れゆく雲を枕に山眠る
熊本県熊本市　久保　武雄

◆ 小川濤美子　選
正直に生きて踏まるる紅葉かな
熊本県熊本市　嶋田　光子

◆ 岸原　清行　選
一水の湧く静けさに紅葉散る
熊本県甲佐町　楠本美奈子

◆ 寺井　谷子　選
吾が息の風となりゆく瓢の笛
熊本県熊本市　宮崎　勧

◆ あざ　蓉子　選
木の実降るきつと誰かゞ上に居る
熊本県熊本市　西村　孝子

◆ 井芹眞一郎　選
神渡巫女の裳裾のひるがへり
熊本県菊池市　大久保昭子

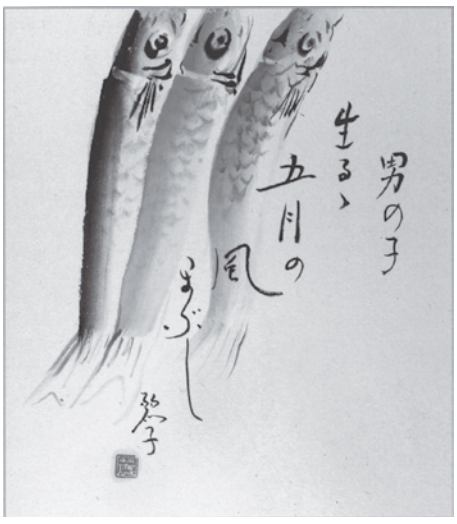
◆ 岩岡　中正　選
咳一つしても気になる母の日日
熊本県熊本市　工藤　靖子

◆ 近藤ひかる　選
強かな雨降つてゐる冬木立
熊本県荒尾市　城　松喜

◆ 星永　文夫　選
十七個詩のごと拾ふ円ら椎
熊本県熊本市　荒牧　成子

俳画部門

「草枕」大賞



男の子生る、五月の風まぶし
熊本県熊本市　中村　麗子

地下水都市・熊本賞

地球より大筍を掘りあげる（和泉雅江句）
熊本県熊本市　上村　益穂

夏目漱石顕彰　第18回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成25年）

俳句の部・一般部門

特　選

◆ 今井千鶴子　選

川底を魚影が走る芭蕉林　熊本県熊本市　秋吉　柳水

◆ 岩岡　中正　選

大阿蘇の星の匂ひの髪洗ふ　熊本県南関町　平川みどり

◆ 宇多喜代子　選

水打つて地球の青の蘇る　熊本県美里町　田村　三渓

◆ 大岳水一路　選

水音のつながる村の落し水　宮崎県小林市　永田タエ子

◆ 岸原　清行　選

阿蘇五岳真つ正面に花芒　熊本県熊本市　丸山　一男

◆ 倉田　紘文　選

雨だれの石のくぼみや梅雨最中　東京都新宿区　倉林　知子

◆ 寺井　谷子　選

蛇を見た見た蛇に見られてゐさう　熊本県大津町　坂本　セキ

「草枕」大賞

大空へひかりの渦や鷹柱　長野県長野市　渡辺　忠男

日本航空賞

削蹄す阿蘇の夕焼に背を向けて　福岡県芦屋町　廣橋いたる

くまもと売れる米づくり推進本部賞

生身魂かごめかごめの輪の中に　京都府城陽市　林　力朗

地下水都市・熊本賞

赤牛の骨盤の張り大夕焼　大分県中津市　吉武　千束

福井市賞

炎天を来て放牛に塩を置く　熊本県西原村　平山　楓子

松山市賞

夾竹桃国敗れたる日の匂ひ　熊本県熊本市　白石登美子

◆ 坊城　俊樹　選

鳳仙花たつた一度の母の文　熊本県熊本市　建部　洋子

◆ 山本　洋子　選

腕時計外し神楽の神となる　熊本県美里町　田村　三渓

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

せおよぎで空とプールがくつついた　山形県新庄小学校2年　東海林　虎

中学生の部

勉強しやる気のままに昼寝する　熊本県日奈久中学校1年　本村　花鈴

高校生の部

サイダーの泡がはじける反抗期　熊本県菊池高等学校1年　米村　文博

留学生の部

該当句なし

JAL財団賞

ゴール決めこぶし突き刺す夏の空　熊本県泉ヶ丘小学校6年　宮崎　友作

地下水都市・熊本賞

わき水の白いうずから秋の声　愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校4年　冨岡志恵菜

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

southbound birds the loop
of identity

ディットマー　タオフニャー
Dietmar Tauchner
（オーストリア）

（訳）
南帰行の鳥アイデンティティの輪を
天に描いて

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

shadows of leaves
playing on the kitchen table
where hands make tea

ミシャイル　リンデンホーフェア
Michael Lindenhofer
（オーストリア）

（訳）
木の葉の影が
厨房の机上で戯れている
そこはお茶をたてている処

特　選　Tokusen（Second Prize）

◆ 西川　盛雄　選　Selected by Mr. Morio Nishikawa

today
soon leaves itself
behind

ジョン　キャロル
John Carroll
（オーストラリア）

（訳）
今日という日は
今日という日を背後に遺して
やがて立ち去る

Young moon with
sharpness of sickle
ploughs
heaven's field.

ボレードラグ　ペラ
Predrag-Pera
シッカーリツ
Cikaric
（セルビア）

（訳）
繊月が
鋭い鎌で耕す
天上の畑野

twilight--
one echo
light

ゲリー　ホットハム
Gary Hotham
（アメリカ）

（訳）
朝焼けやーー
光ひとつの
韻きかな

red canna
typhoon
off course

ゼンゾウ　トダ
Zenzo Toda
（日本・熊本県）

（訳）
台風が逸れて
カンナの
赤さかな

◆ リチャード　ギルバート　選　Selected by Dr. Richard Gilbert

circadian rhythm
thoughts pulse into
dreams

ミッシェル　L　ハーヴィー
Michele L. Harvey
（アメリカ）

（訳）
生命ある体内時計の思いが
夢の中へと脈動する

When the night becomes
between the wet nets grow
pearls of silver.

エディツ　マンチーニ
Edith Mancini
（アルゼンチン）

（訳）
夜は水で濡れた
網目の中で
銀色の真珠が育つ

fooled by the future
the rain falls
skin deep

ゲリー　ホットハム
Gary Hotham
（アメリカ）

（訳）
未来にあざむかれて
雨滴が浸み込む
皮膚深くまで

letting go
of my children in the ballon
letting go

ダロー　リンスィー
Darrell Lindsey
（アメリカ）

（訳）
進みゆくままに
気球の中の我が子の
進みゆくままに

当日投句部門

「草枕」大賞
牛の貌かたまつてくる霧の中　熊本県熊本市　二木　恵子

中村汀女賞
一枚の大褥なる冬の江津　熊本県熊本市　秋野　長利

種田山頭火賞
日表も日裏もなくて柿たわわ　熊本県熊本市　矢田　節

地下水都市・熊本賞
嘴の水切つてゆく寒さかな　熊本県五名市　浦　みつる

スポーツライフくまもと賞
神の声めきて阿蘇野の虎落笛　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

特　選

◆ 小川濤美子　選
幸せといふは今かも浮寝鳥　熊本県熊本市　利光　釈郎

◆ あざ　蓉子　選
春愁やはみだしている象の鼻　熊本県熊本市　北野　昭夫

◆ 井芹眞一郎　選
自らを励まし残るもみぢかな　熊本県熊本市　蓑田　順子

◆ 岩岡　中正　選
音もなく堰越す水草紅葉かな　熊本県合志市　田中　郁子

◆ 大岳水一路　選
豪雨禍の疵そのままに眠る山　熊本県南阿蘇村　藤本　征男

◆ 岸原　清行　選
一斉に光りを放ち鴨発てる　熊本県合志市　岡本ゆう子

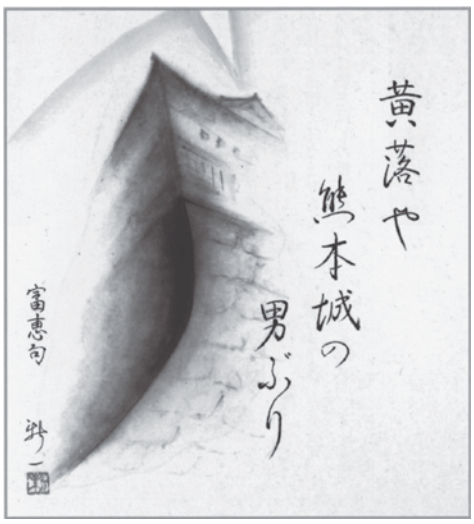
◆ 近藤ひかる　選
冬の川風やはらかに生まれけり　熊本県五名市　山村　恵子

◆ 野中　亮介　選
火の山はどんと御座すや神の留守　熊本県熊本市　堀　伸子

◆ 星永　文夫　選
遊べとや詠めとや木の実落ちにけり　熊本県合志市　大坪　露子

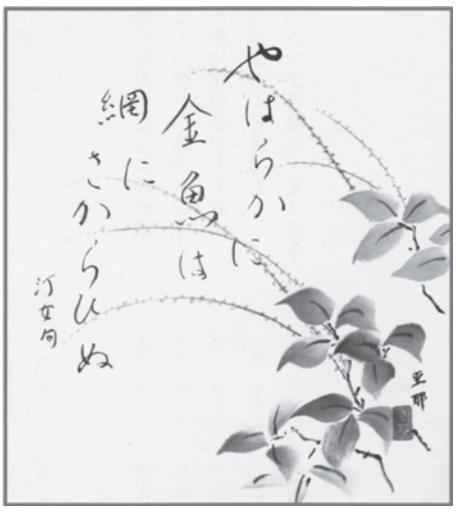
俳画部門

「草枕」大賞



黄落や熊本城の男ぶり（中嶋富恵句）
熊本県熊本市　三原　新一

地下水都市・熊本賞



やはらかに金魚は網にさからひぬ（汀女句）
熊本県菊陽町　河津　亜耶

夏目漱石顕彰　第19回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成26年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

八朔の海を大きく祓ひけり　熊本県玉名市　本田加志子

日本航空賞

深眠る阿蘇に添寝の月の客　東京都小平市　中空　善彦

JAグループ熊本賞

母許の夕べは長し花ゑんど　熊本県熊本市　安田眞葉子

地下水都市・熊本賞

大阿蘇の大きく晴れて卒業す　岐阜県大垣市　村田　通夫

福井市賞

夏目家の障子に猫の出入口　三重県鈴鹿市　古川　和子

松山市賞

敗戦忌餓ゑの記憶の底に母　熊本県熊本市　中村あつこ

特　選

◆今井千鶴子　選

お仏器に富士より高く今年米　熊本県氷川町　秋山千代子

◆岩岡　中正　選

文豪の山椒魚に似たる貌　熊本県熊本市　島田眞理子

◆宇多喜代子　選

日の出より日の入りまでの茄子の花　宮崎県川南町　下村　恵子

◆岸原　清行　選

山祇の月夜に泛きし朴の花　東京都練馬区　氏家　頼一

◆寺井　谷子　選

象の耳動き夏風生れけり　兵庫県川西市　西野　徳重

◆福本　弘明　選

五月晴きりりと乾く天守閣　熊本県熊本市　大熊のぼる

◆坊城　俊樹　選

母の掌のぬくもりそこに朧かな　東京都日野市　菅原　悟

◆山本　洋子　選

水打つてしずかな夜を待ちにけり　北海道札幌市　小山　耕昭

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

風のおとテーブルにおく夏料理　熊本県荒尾市立中央小学校3年　池末　愛果

小学生の部

シャカシャカと暑さもけずるかきごおり　熊本県熊本市立飽田中学校1年　山本　朱里

中学生の部

カルデラに太古の怒濤大西日　愛媛県愛媛県立松山東高等学校3年　栗田　歩

高校生の部

該当句なし

留学生の部

すいかわり夏の暑さもわりたいな　熊本県天草市立久玉小学校6年　後迫　瞭寧

JAL財団賞

青すだれつつてきれいな風をよぶ　愛媛県松山市立桑原小学校1年　荒木　智咲

地下水都市・熊本賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

the west burns down
in the pipe of an old man
quenching the century

Izeta Radetinac
（セルビア）

（訳）
西方が燃え落ちる
老人の燻らすパイプの中
この世紀の癒しに

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

rice seedlings
on the cloud
reflected in the paddy fields

Yukiko Yamada
（愛知県）

（訳）
水田の
雲の上なる
田植えかな

特　選　Tokusen（Second Prize）

leaf by leaf
the wind tears
away autumn

John Tiong Chung Hoo
（マレーシア）

（訳）
一葉ごとに
風が秋を
引きはがす

only the stars
seem so familiar
refugee camp

Boris Nazansky
（クロアチア）

（訳）
星だけが
難民キャンプに
寄り添って

Wailing Wall
one child tells me
the truth

Kisyova Maya
（ブルガリア）

（訳）
嘆きの壁
一人の子が
教えてくれる真実

Shooting star
my childhood
where it used to be

Steohen. A. Peters
（アメリカ合衆国）

（訳）
流れ星
かつて私が子供だった頃の
その昔

Foggy bridge
a tram
floats.

Daniel Gahnertz
（イタリア）

（訳）
霧深き橋
列車を
宙に浮かべて

left behind
skimming stones
moonlit ripples

Simon Hanson
（オーストラリア）

（訳）
波の上を滑っていく
投げ石の跡に遺る
月光の漣

dementia seasons candied
springtime attenuate memories

Jack Wood
（ニュージーランド）

（訳）
甘いもの漬けの春呆の季
節が記憶を弱らせる

cat in the garden untangling
twilight

Annie Bachini
（イギリス）

（訳）
庭の猫黄昏どきのけじめ
かな

当日投句部門

「草枕」大賞
田に一礼天に一礼稲を刈る
熊本県熊本市　上村　孝子

中村汀女賞
露けしや大地に下ろす集乳缶
熊本県熊本市　利光　釈郎

種田山頭火賞
鴨の来て湖の暦のめくらるる
熊本県菊陽町　渡邊佳代子

地下水都市・熊本賞
一斉に光の鴨となり翔ちぬ
熊本県合志市　坂田美代子

スポーツライフくまもと賞
沸き出づる言の葉欲しき漱石忌
熊本県熊本市　南野　幸子

特　選
◆**小川濤美子　選**
暖かさ湛へ母なる阿蘇眼下
東京都小平市　中空　善彦

◆**井芹眞一郎　選**
障子貼る湖のほとりに五十年
熊本県熊本市　西　美愛子

◆**あざ　蓉子　選**
阿蘇五岳動かしてゐる秋桜
熊本県熊本市　勝木　睿子

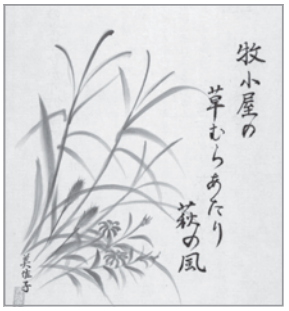
◆**岩岡　中正　選**
ゆくほどに水湧き鴨はかがよへり
熊本県合志市　岡本ゆう子

◆**岸原　清行　選**
鴨の来てひかりの湖となりにけり
熊本県熊本市　蓑田　順子

◆**星永　文夫　選**
破れ芭蕉くぐりし風のくくと折れ
熊本県美里町　山田　節子

◆**福本　弘明　選**
来し方やさんさんと散る金木犀
熊本県熊本市　桂　瑞枝

俳画部門

「草枕」大賞


牧小屋の
草むらあたり萩の風
熊本県熊本市　久保田美佐子

地下水都市・熊本賞

水打つて地球の青の蘇る
（田村三渓句）
奈良県奈良市　三島　直記

平成二十五年度　第一期くまもと俳句ポスト
特　選
蒼き夜に浮かびし城の桜かな
千葉県千葉市　吉野　松美

平成二十五年度　第二期くまもと俳句ポスト
特　選
それからと言ひて漱石秋扇
千葉県旭市　神田　順二

平成二十五年度　第三期くまもと俳句ポスト
特　選
山桜ふ肥後の小さき木の葉駅
長崎県諫早市　麻生　勝行

平成二十六年度　第四期くまもと俳句ポスト
特　選
風鈴や漱石先生執筆中
茨城県笠間市　蒲生友紀子

平成二十六年度　第五期くまもと俳句ポスト
特　選
小楠に国是を問ふや蝉時雨
宮崎県都城市　西浦　征志

夏目漱石顕彰　第20回記念「草枕」国際俳句大会　国際俳句交流協会九州大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成27年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

大阿蘇のふところ深く野火放つ　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

二十回記念特別賞

倫敦の出窓の家や漱石忌　埼玉県新座市　川崎　穹子

日本航空賞

蓮の花遠くに塔のそびえけり　福島県相馬市　管澤　建二

JAグループ熊本賞

大阿蘇をまほろばとして鷹渡る　熊本県熊本市　加藤いろは

地下水都市・熊本賞

帰省子に家膨らんでをりしかな　熊本県菊陽町　渡邊佳代子

福井市賞

漱石にもらひし秋思如何にせん　福岡県大牟田市　介弘　紀子

松山市賞

青柿のどすんと落ちて阿蘇ゆるる　東京都日野市　菅原　悟

特選

◆有馬　朗人　選

シンデレラのハンカチ烏瓜の花　佐賀県上峰町　牟田タケ子

◆今井千鶴子　選

黄落やひらひらひらと手話のゆび　京都府福知山市　山内　利男

◆岩岡　中正　選

母眠る一間閉ざして秋蚕飼ふ　熊本県玉名市　中田恵美子

◆宇多喜代子　選

夕顔の窓や漱石ふさぎこむ　宮城県仙台市　齋藤　伸光

◆大久保白村　選

有明の海を遥かに野菊晴　熊本県熊本市　山本　五枝

◆大輪　靖宏　選

幼帝の入水海峡雁渡る　福岡県福岡市　久保山美登子

◆岸原　清行　選

天近き田の一枚の手植ゑさる　熊本県益城町　飯田　明美

◆寺井　谷子　選

虚子そこに立つてゐるかに句碑涼し　熊本県菊池市　岩木　敬治

◆坊城　俊樹　選

捨案山子抱きおこして祝ひ酒　東京都杉並区　境　惇子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

ぬいだのにきているみたいみずぎあと　愛媛県松山市立清水小学校1年　榎津　志菜

小学生の部

せみの声本番せまるコンクール　熊本県宇土市立鶴城中学校3年　五十川美帆

中学生の部

扇風機嶽に食はれし午後の夢　広島県広島県立広島高等学校1年　法正　祐真

高校生の部

放物線描くシュートや大夕焼　広島県広島県立広島高等学校1年　尾美　樹生

JAL財団賞

かく汗は病みゆく地球のいやし水　東京都東京中華学校小学部6年　岩﨑　綸央

地下水都市・熊本賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

after tsunami
a surplus
of emptiness

Dorota Pyra
（ポーランド）

（訳）津波去って
ひろがる虚無の
余情かな

20回記念特別賞　Special Prize for the 20th Memorial Competition

lightning -
the saints come to life
in the stained-glass

Virginia Popescu
（ルーマニア）

（訳）稲妻が走って―
聖人たちが生き生きと
ステンドグラスに甦る

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

ghost forest
under the water
man-made lake

Teiichi Suzuki
（大阪府　河内長野市）

（訳）人工湖
森のまほろば
水底に

特　選　Tokusen（Second Prize）

a cast pebble
drowns to the lake bottom
all the way to the clouds
Zeljko Spoljar
（クロアチア）
（訳）
投げ込んだ小石
湖底に沈みゆく
雲居まで

A train whistle --
foggy canyon
at dawn
Masato Eguchi
（東京都　中央区）
（訳）
列車の汽笛—
霧深き渓谷の
夜明け

water flowers
go with the flow
as they stay
Nakamura
Chisako
（兵庫県　神戸市）
（訳）
水上の花
留っているのに動いて行く
水の流れとともに

solar eclipse...
across a dandelion
an ant
Dajan Pavlinovic
（クロアチア）
（訳）
日蝕に—
タンポポを横切っていく
蟻一つ

山路瀟瀟雨
人世不易何処居
且往小天去
王　　云姣
（中国）
（訳）
山路は冷たき雨の中
とかく浮世は何処もかたし
されば往かむ小天地

prairie -
a lone kite
carrying the sky
Carl Seguiban
（カナダ）
（訳）
大草原—
空を背負って
凧一つ

sunrise
a snail races
to stay in shadow
Jay Friedenberg
（アメリカ合衆国）
（訳）
日が昇り
カタツムリが
競って影の中へ入る

ayatori
the light of childhood
in granny's eyes
Alexey Andreev
（ロシア）
（訳）
綾取りは
お婆ちゃんの目の中の
幼き頃の灯りです

清明焚紙銭
煙燻陣陣紅眼眶
香灰垂涙光
頼　　衍宏
（台湾）
（訳）
清明に紙銭を燃やす
いぶされし目縁は赤く
香灰にも涙をそそぐ

当日投句部門

「草枕」大賞
漱石のこゑあるごとく返り花
熊本県熊本市　加藤いろは

中村汀女賞
大いなる水を抱へて阿蘇山眠る
熊本県熊本市　中宮　順子

二十回記念特別賞
漱石の吹かれし山の吾亦紅
熊本県熊本市　矢澤　幸乃

種田山頭火賞
苦も楽も十七文字にして小春
熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

地下水都市・熊本賞
筆太の「則天去私」や冬の鵙
福岡県岡垣町　岸原　邦代

スポーツライフくまもと賞
ひとすぢの道秋草の中にあり
熊本県合志市　坂田美代子

特　選
◆あざ　蓉子　選
夏の日に幻見んと那古井邸
熊本県熊本市　植松　浩二

◆井芹眞一郎　選
温泉の里の山ごと熟るるみかん畑
熊本県熊本市　矢澤　幸乃

◆岩岡　中正　選
漱石に一目会ひたし冬菫
熊本県熊本市　中宮　順子

◆大輪　靖宏　選
古刹今大黄落の直中に
熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

◆小川濤美子　選
テロ遠く阿蘇の山々眠りをり
福岡県岡垣町　川里　正子

◆加藤　耕子　選
黄落や那美さんの湯屋がらんだう
熊本県熊本市　髙橋　満子

◆岸原　清行　選
赤牛のぬつと顔出す芒原
熊本県熊本市　池田　道子

◆福本　弘明　選
刈田はやバーゲンセール幟立つ
熊本県熊本市　佐本あい子

◆星永　文夫　選
焼芋や則天去私など云ふ勿れ
福岡県大牟田市　介弘　紀子

俳画部門

「草枕」大賞

名月や十三円の家に住む（漱石句）
北海道札幌市　檜森　勝憲

地下水都市・熊本賞

春水の奥玉巻ける芭蕉かな（汀女句）
熊本県熊本市　三原　新一

平成二十七年度　くまもと俳句ポスト

特　選
湖朧汀女の気配ありにけり
熊本県熊本市　山﨑　綾子

激動に生きし小楠草の露
熊本県熊本市　児玉　胡餅

夏目漱石顕彰　第21回「草枕」国際俳句大会 ～夏目漱石記念年にあたり、熊本地震からの復興を祈って開催～

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成28年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞

鯨くる海を真下に袋掛　愛知県名古屋市　大矢　節子

日本航空賞

かげろふの中を歩いて水貰ふ　熊本県熊本市　寺崎久美子

JAグループ熊本賞

倒れるか傾くかしてゐる紫苑　大分県大分市　田中三樹彦

地下水都市・熊本賞

アマゾンの椰子で編みたる夏帽子　ブラジル　新井　知里

福井市賞

阿蘇五岳黒々と伏す良夜かな　熊本県苓北町　田嶋　啓子

松山市賞

歳月は死者にもありて漱石忌　熊本県菊陽町　渡邊佳代子

特　選

◆今井千鶴子　選

地震（ない）あとの阿蘇の一番草を刈る　熊本県熊本市　荒牧　成子

◆岩岡　中正　選

田を植ゑて避難所へゆく日暮かな　熊本県熊本市　佐藤　禎子

◆宇多喜代子　選

大阿蘇を正面に置く夏帽子　山口県周南市　吉浦百合子

◆大輪　靖宏　選

背に阿蘇の影迫りくる冬田打ち　愛知県名古屋市　与玖法破来

◆坊城　俊樹　選

断層を枕にひとり昼寝かな　熊本県益城町　西　たかもり

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

熊本城ながいながい夏休み　熊本県熊本市立尾ノ上小学校6年　大石　優空

中学生の部

声そろえ素振り百回夕立雲　愛知県幸田町立南部中学校1年　齋藤　璃奈

高校生の部

原爆忌平和の水を噛みて飲む　長崎県向陽高等学校2年　西村　星羅

留学生の部

熊本城のさくらまつ人みなやさし　熊本県尚絅高等学校2年　ライラ　ヤーンス

JAL財団賞

透き通る風鈴の音風になる　熊本県熊本市立桜木中学校1年　蓑田さくら

地下水都市・熊本賞

草とりのじいちやんにお茶もつていく　熊本県長洲町立清里小学校2年　馬渕　双葉

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

tears of joy
rain drops run up the window
of home bound plane

Rudychev Natalia
（アメリカ）

（訳）
喜びの涙
故郷（ふるさと）に向かう飛行機の
窓の雨滴が上に奔（はし）る

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

rainy summer
just the scarecrow's hat
visible above the grass

Lyudmila Hristova
（ブルガリア）

（訳）
夏の雨
案山子の帽子が
草地の上に見える

特　選　Tokusen（Second Prize）

drought
the babbling brook
losing its voice

Barnabas Ikeoluwa Adeleke
（ナイジェリア）

（訳）
旱魃
川のさざ波
今はその音絶えて

above the cemetery:
the Big Dipper
catches a falling star

Valorie Broadhurst Woerdehoff
（アメリカ）

（訳）
墓地の上：
ひしゃく星が
流れ星を掬っている

The oceans now
One SOS message
In millions of bottles

Viviane Leite
（ブラジル）

（訳）
海は今
捨てられた無数のボトルから
SOSが聞こえてくる

Visiting hours...
mum keeps looking for
her forget-me-nots

Keith A. Simmons
（フランス）

（訳）
家に来て…
その間ずっと母は自分の
「忽忘草」を探している

at gust of wind
quiet shadows of trees
quarrel

Predrag Pera Čikarić
（セルビア）

（訳）
一陣の強い風
樹々の影が音もなく
言い争っている

Someone once loved--
unnamed sepia photo
from before the quake

McMurray David
（鹿児島県　鹿児島市）

（訳）
かつて愛していた人がいた—
名前も分からぬセピア色の写真
地震が来る前のことだった

all eyes
wide open
aquarium

Quendryth Young
（オーストラリア）

（訳）
誰もが皆
目を大きく見開いている
水族館

typhoon arriving...
the farmer's hat
upon his chest

John Michael G. Londres
（フィリピン）

（訳）
台風の到来だ…
農夫は急いで帽子を
胸に置く

当日投句部門

「草枕」大賞
地震（なる）あとの今も名城小鳥来る
熊本県熊本市　永村　典子

中村汀女賞
暁の江津は鴨より動き出す
熊本県八代市　坂川奈々子

種田山頭火賞
百年の捻子巻き時計漱石忌
熊本県熊本市　高峰　武

地下水都市・熊本賞
掬ふたび力充ちゆく冬泉
熊本県合志市　坂田美代子

熊本の銘菓賞
冬耕や空には地震（なる）の罅もなく
熊本県熊本市　谷　喜美子

スポーツライフくまもと賞
天高し天守復興まで生きん
熊本県熊本市　内藤　悦子

特　選
◆小川　晴子　選
仮住まひより出でて舞ふ里神楽
熊本県熊本市　佐藤　禎子

◆あざ　蓉子　選
震災の大河をよそに山眠る
熊本県熊本市　廣瀬　守世

◆井芹眞一郎　選
蟷螂の鋼のごとく枯れにけり
熊本県熊本市　山澄　陽子

◆岩岡　中正　選
短日の灯早き仮庁舎
熊本県八代市　鞠子ミサヲ

◆岸原　清行　選
崩落の天守閣より秋の声
熊本県熊本市　利光　釈郎

◆寺井　谷子　選
天高し我も復興城主なり
熊本県熊本市　西村　孝子

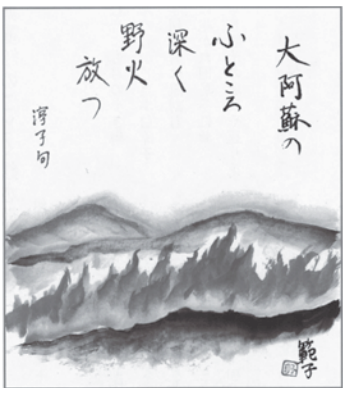
◆福本　弘明　選
仰ぐ城墨絵のごとく銀杏散る
熊本県熊本市　伊藤　広子

◆星永　文夫　選
地震（ない）に灯をしかと継ぎ足す花八ツ手
熊本県玉名市　仲田　晃

俳画部門

「草枕」大賞

菜の花の隣もありて竹の垣（漱石句）
熊本県合志市　中原　邦子

地下水都市・熊本賞


大阿蘇のふところ深く野火放つ（藤本淳子句）
熊本県熊本市　村上　範子

平成二十八年度　くまもと俳句ポスト

特　選
初桜漱石居まで橋二つ
福岡県北九州市　桜井　周子

漱石の一言一句竜の玉
熊本県熊本市　加藤いろは

夏目漱石顕彰 第22回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成29年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
カルデラの底より湧いて蟬しぐれ
熊本県熊本市　西村　孝子

日本航空賞
石の橋石が支へて爽やかに
熊本県天草市　荒木　賢一

JAグループ熊本賞
ボランティア次々入る雲の峰
福岡県福岡市　小出　達夫

地下水都市・熊本賞
この世でもあの世でもなく阿蘇花野
福岡県福岡市　今中　榮泉

福井市賞
瀧壺を出て水の色とりもどす
福岡県嘉麻市　髙熊　絹恵

松山市賞
光追ひ風追ひ靡く花野かな
福岡県大牟田市　鹿子生憲二

特　選
◆**岩岡　中正　選**
秋霖や崩落の山哭くごとし
熊本県西原村　平山　楓子

◆**宇多喜代子　選**
水澄みて魚一匹の世界かな
大分県大分市　藤原　啓司

◆**大輪　靖宏　選**
土握る皺の掌笑みて春田打
東京都日野市　菅原　悟

◆**西村　和子　選**
ほととぎす月影走る草千里
宮城県仙台市　齋藤　伸光

◆**坊城　俊樹　選**
焦げる程鳴いた熊本城の蝉
福井県福井市　中野　慶子

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部
この海をおよいで大きくなる自分
愛媛県松山市立石井東小学校4年　松田　優雅

中学生の部
夕焼や光の絵の具キャンバスに
熊本県菊陽町立武蔵ケ丘中学校3年　山本凜々花

高校生の部
喧騒を封じて夏は虚無になる
熊本県熊本県立熊本高等学校2年　西浦　佐耶

留学生の部
たんぽぽや想いつなげて地の果てへ
愛知県名古屋大学留学生　盧　金瑾

JAL財団賞
しやぼん玉にじの国へと出発だ
鹿児島県南九州市立大丸小学校3年　土岩　流音

地下水都市・熊本賞
明日への夢詰めこんだ青葡萄
東京都学習院女子中等科3年　村上　理穂

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

starving refugee
a hand approaches her mouth
with a microphone

Indra Neil Mekala
（インド）

（訳）
餓えた難民の
口元に差し出す手には
マイクロフォン一本

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

refreshing water
from a decrepit well...
the old man's wisdom

Kuznetsova Natalia
（ロシア）

（訳）
元気の出る新鮮な水が
古びた泉から湧き出して…
古老の智恵

特　選　Tokusen（Second Prize）

Trees in gowns
of autumn hues
tremble in the wind

Radcliffe Kit
（イギリス）

（訳）
秋の色彩の
ガウンを纏った木々が
風に震えている

rubble
a child picks up a toy
collateral damage

Jocelyn Ajami
（アメリカ）

（訳）
瓦礫の山
子供が玩具を拾い上げる
この子に何の罪もないのに

dandelion seeds
on the wind
graduation day

Cristina Apetrei
（ルーマニア）

（訳）
タンポポの種が
風に乗って飛び散る
卒業式の日

picking mulberries -
your lips more blue
than the lizard's tongue

Gregory Piko
（オーストラリア）

（訳）
マルベリーを摘んでいる—
君の唇は
トカゲの舌よりも青い

just born
a mushroom lifts its cap
towards the sun

Vitasović
Đermano
（クロアチア）

（訳）
生まれたての木の子が
お天道様に向かって
冠帽子を挙げている

a silent veteran
sips a cup of sorrow -
in a shot

Jovanka Božić
（セルビア）

（訳）
黙して語らぬ退役軍人
悲しみの杯を一口啜る—
一発の銃声がして

summer drought -
the only green
a raven's sheen

Clayton Beach
（アメリカ）

（訳）
夏の旱魃—
唯一の緑は
大鴉の羽の光沢

秋影夜窗臺
隔岸小樓又重開
似是故人來

李　夢麟
（中国）

（訳）
秋の影が夜の窓台にさし、
対岸の矮屋はまた小窓が
開け放たれ、あたかも故
人が来ているかのようだ。

当日投句部門

「草枕」大賞
陽も風も阿蘇の匂いの大花野
熊本県美里町　髙田美千子

中村汀女賞
大阿蘇の力をここに冬泉
熊本県合志市　坂田美代子

種田山頭火賞
柿たわわ子供百人欲しい村
熊本県美里町　山田　節子

地下水都市・熊本賞
火の山を父とも仰ぎ冬耕す
熊本県熊本市　伊藤　広子

熊本の銘菓賞
冬耕や思ひ出ばかり掘り起こす
熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

スポーツライフくまもと賞
パン種を寝かせて眠る漱石忌
熊本県熊本市　利光　釈郎

特　選
◆井芹眞一郎　選
桐落葉そっと手紙を置くやうに
熊本県熊本市　中西千鶴子

◆岩岡　中正　選
手話の手の胸に収まる原爆忌
熊本県天草市　荒木　賢一

◆小川　晴子　選
伴天連の島を遠くに蜜柑切る
熊本県南阿蘇村　藤本　征男

◆岸原　清行　選
冬の城雁字搦めに足場組む
熊本県熊本市　つのだともこ

◆寺井　谷子　選
空青し海なほ青し蜜柑山
熊本県熊本市　嶋田　光子

◆福本　弘明　選
種採つて未来に迷ひなかりけり
熊本県熊本市　建部　洋子

◆星永　文夫　選
よく消える消しゴムを買ふ文化の日
熊本県熊本市　真弓ぼたん

俳画部門

「草枕」大賞
菫程な小さき人に生れたし（漱石句）
熊本県熊本市　永田　裕子

地下水都市・熊本賞
暁の江津は鴨より動き出す（坂川奈々子句）
熊本県熊本市　山城　依子

平成二十九年度　第十一期くまもと俳句ポスト

特　選
肥後椿八雲の「時」を伝え継ぐ
北海道札幌市　水野　亜希

第23回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（平成30年）

当日投句

「草枕」大賞
石一つ定めては積む城小春　熊本県熊本市　細田みのる

ジュニア大賞
夕焼けの赤は門限告げる色　熊本県熊本市立帯山小学校4年　生田　在

JAL財団賞
夕焼雲朝のねぐせはそのまんま　熊本県熊本市立帯山小6年　生田　臨

中村汀女賞
竜胆と吾れ大阿蘇の日を分かつ　熊本県熊本市　嶋田　光子

種田山頭火賞
黄落や戦無き世の城普請　熊本県熊本市　建部　洋子

地下水都市・熊本賞
水澄みて江津の辺（ほとり）に育つ子ら　熊本県熊本市　矢澤　幸乃

熊本の銘菓賞
肥後は無事十一月を迎へけり　熊本県熊本市　佐藤　武敬

熊本市社会教育振興事業団賞
冬麗や甍まぶしく仰ぐ城　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

JAグループ熊本賞
自分史の風の凹みに吾赤紅　熊本県美里町　山田　節子

日本航空賞
カルデラは底の底まで豊の秋　熊本県熊本市　佐藤　誠吾

福井市賞
古書店の匂ひに沈む漱石忌　熊本県熊本市　岩下　律子

松山市賞
祓はるる大きな未来七五三　熊本県荒尾市　大川内みのる

特　選
◆井芹眞一郎　選
翔び立てばもう海の色群千鳥　熊本県熊本市　永村　典子
◆岩岡　中正　選
菊愛しつづけて老いし男かな　熊本県合志市　坂田美代子
◆小川　晴子　選
そこにあるだけでしあわせ城小春　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子
◆岸原　清行　選
黙祷の前に広がる稲穂かな　熊本県南関町　坂本首夏生
◆西村　和子　選
銀杏散る瓦礫となりし城石に　熊本県熊本市　南野　幸子
◆星永　文夫　選
行く秋を不知火海に流しけり　熊本県熊本市　高峰　武

俳画部門

「草枕」大賞

どっしりと尻を据えたる南瓜かな（漱石句）
熊本県熊本市　永田　裕子

外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

two lone trees
intertwined branches
holding hands

Jolin Chan
（米国）

（訳）
二本の孤立した木
枝が縒り合されて
手を繋ぎ合う

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

July rain--
ferrymen paddle canoes
on the highway

ANTHONY ITOPA
OBARO
（ナイジェリア）

（訳）
七月の大雨―
渡し守が道路上を
カヌーで漕ぎ進む

特選　Tokusen（Second Prize）

Šuk Vladimir（クロアチア）　Damir Janjalija（セルビア）　Maria Tomczak（ポーランド）　Alexis Rotella（米国）　Ann Magyar（米国）
Benjamin Blaesi（スイス）　Julie Bloss Kelsey（米国）　紀翔恩（台湾）

平成二十九年　第十二期くまもと俳句ポスト

特　選

大地震の亀裂あらはな刈田かな

熊本県熊本市　野﨑　一雄

平成三十年　第十三期くまもと俳句ポスト

特　選

復活の鯱のかがやく立夏かな

熊本県熊本市　野﨑　一雄

平成三十年　第十四期くまもと俳句ポスト

特　選

陽は強しハーン先生昼寝の間

東京都品川区　阿久津桂子

俳句の国際化

（2025年11月18日付　熊本日日新聞「射程」）

famine／empty pols spill／moonlight（飢餓／空の壺から溢れ出る／月の光）。15日に熊本市で開かれた第30回「草枕」国際俳句大会で、外国語部門の大賞を受賞したイギリスのファラー・アリさんの作品だ。紛争地域などで飢餓に苦しむ人々を思って詠んだという。

大会は夏目漱石の来熊100年を記念して1996年に始まった。英国に留学経験のある漱石の足跡にふさわしく、当初から外国語部門を設けており、30回大会には67カ国・地域から1199句が寄せられた。実行委員会によると、外国語部門がある俳句大会では全国屈指の応募数という。30年の実績と、英語以外にスペイン語と中国語でも投句できる間口の広さが理由だろう。

俳句は20世紀初め、西洋でも知られるようになった。その頃、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が作品の中で俳句を紹介している。ハーンが西洋との橋渡しの一翼を担い、漱石を顕彰する大会に海外から多くの投句があることを思うと、熊本は俳句の国際化に大きく貢献している。

現在は欧米各国や中国、韓国などに俳句協会があり、愛好家が句作に励んでいる。日本の国際俳句協会を中心に、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産登録を目指す取り組みも続いている。

日本の俳句が五・七・五の定型なのに対して、外国語俳句は3行程度の詩。スタイルは異なるが、自然や目の前の出来事をつぶさに観察し、それを短い言葉に凝縮して描写する表現方法が国境を超えて共感を呼び、多くの人の創作意欲をかき立てているのかもしれない。

2022年の大会では、ウクライナの男性がロシアとの戦争で破壊された家を詠み、大賞を受賞した。俳句は戦禍の情景と悲しみを共有し、平和を求める機運を世界に広める役割を果たせる。

（富田　一哉）

夏目漱石顕彰　第24回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句と俳画入賞作品集―（令和元年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
天球の傾くほどに水を張る
宮崎県小林市　永田タヱ子

地下水都市・熊本賞
聖五月大地に触るる牛の乳
熊本県合志市　坂田美代子

日本航空賞
子を産みに帰る家郷や麦の秋
熊本県熊本市　伊藤　広子

JAグループ熊本賞
桜島かつぎ上げたる夏怒濤
熊本県熊本市　西村　孝子

福井市賞
灯台に骸のこして鳥渡る
熊本県合志市　佐澤　俊子

松山市賞
目薬一滴秋天に溺れけり
熊本県熊本市　坂田　淑子

特　選
◆岩岡　中正　選
万緑を母のごとくに恋ふ日かな
熊本県熊本市　頓田スミ子

◆宇多喜代子　選
命まだ手にみずみずし青蛙
熊本県美里町　山田　節子

◆大輪　靖宏　選
風にのる海鳥春になりきつて
大分県宇佐市　松本　公節

◆西村　和子　選
噴煙の匂ふ一番草を刈る
熊本県熊本市　加藤いろは

◆坊城　俊樹　選
流燈を見送る波戸の行止まり
福岡県太宰府市　土井　一正

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞
ほじょりんがやっとはずれたなつやすみ
熊本市立尾ノ上小学校一年　はっとり　さわ

小学生の部
秋の風一人に気づく砂時計
埼玉県川越市立福原中学校三年　奥富　裕貴

中学生の部
蝉時雨ぽつりと空いた優先席
熊本信愛女学院高等学校一年　平山　萌愛

高校生及び18歳以下の部
八月に剥製になるぼくの犬
熊本市立出水南中学校一年　進藤　裕太

地下水都市・熊本賞
ひまわりにまけないようにせのびする
熊本市立画図小学校一年　川路　明奈

（公財）JAL財団賞

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

war . . .
homes become
houses

INDRA NEIL MEKALA
（INDIA）

（訳）
戦争は…
ホームが消えて
建物だけになる

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

Liba el colibrí.
El olor de la lluvia
acrecentándose

Lázaro Orihuela Martínez
（Cuba）

（訳）
蜜を飲む
蜂鳥　雨の
匂い濃し

特　選　Tokusen（Second Prize）

green darner
stitching the sky
to the meadow

Jeff Hoagland
（USA）

（訳）
蜻蛉が縫針のように
空と緑の草原を
縫い結ぶ

cradled in her hands
the dead bird
still beautiful

Seren Fargo
（United States）

（訳）
揺り籠のような掌の中
死んでいても小鳥は
なお美しい亡骸

subway window
in the old lady's
reflection
a little girl waving

Radostina
Dragostinova
（Bulgaria）

（訳）
地下鉄の窓に映る
老夫人の影の中で
手を振っている女の子

Espuma rosa
los lapachos en flor...
luz de octubre.

Carmen del
Valle Picardo
（Argentina）

（訳）
紅の泡
十月の陽に
ラパチョ咲く

almost spring
I stir a magpie trill
into my tea

Madhuri Pillai
（Australia）

（訳）
もうすぐ春
カササギの鳴き声を
ティーに混ぜ込ませます

sudden downpour
my blouse
becomes skin

Raquel D. Bailey
（Jamaica）

（訳）
突然の土砂降りで
ブラウスが透けて
肌となる

empty battlefield
the soldiers still aligned
in the mounds

Dejan Pavlinovic
（Croatia）

（訳）
空漠とした戦場
兵士たちは今も
墳墓の盛り土となって
並んでいる

日盡晚風起
流螢和歌興致昂
笑語聲悠揚

林　家　伃
（臺灣）

（訳）
日暮れの風に
蛍がとんで歌声は高らか
笑い声も心地良い

当日投句部門

「草枕」大賞
遺されし者に賜る小春かな
熊本県熊本市　永村　典子

中村汀女賞
幾筋の草のみちあり阿蘇の秋
熊本県熊本市　和田　節子

地下水都市・熊本賞
赤あかと荒ぶ火の山初時雨
熊本県宇土市　鎌田　順子

（一財）熊本市社会教育振興事業団賞
蘇る銀杏城や鳥渡る
熊本県熊本市　梅原　慶子

種田山頭火賞
はらからが在ればと思ふ衣被
熊本県熊本市　吉田　潮

熊本の銘菓賞
小春日や声聴いて積む城の石
熊本県荒尾市　大川内みのる

特　選
◆井芹眞一郎　選
枯蟷螂塵より軽く掃かれけり
熊本県宇土市　田代　幸子

◆岩岡　中正　選
津軽から嫁を迎へて稲の秋
熊本県熊本市　高峰　武

◆小川　晴子　選
過去一つ消すごとセーター解いてゆく
熊本県熊本市　西村　孝子

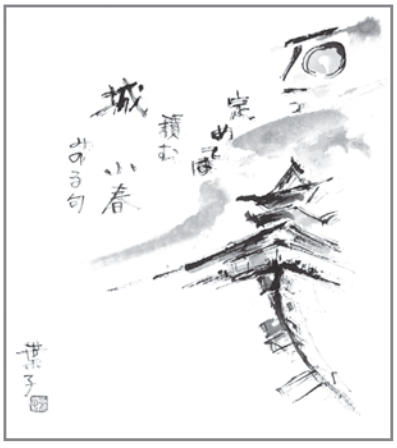
◆岸原　清行　選
一枚の空一面の芒原
熊本県南阿蘇村　藤本　征男

◆高橋　睦郎　選
冬空の晴々とあり草枕
熊本県熊本市　橋本　智子

◆星永　文夫　選
言葉持つ口を漱ぎて冬に入る
熊本県熊本市　園田　つか

俳画部門

「草枕」大賞
石一つ定めては積む城小春（細田みのる句）
熊本県八代市　藤門　葉子



地下水都市・熊本賞
たんぽぽや日はいつまでも大空に（汀女句）
熊本県菊陽町　河津　亜耶

令和元年　第十五期くまもと俳句ポスト

特　選
避難所のむすびの記憶木下闇（こしたやみ）
熊本県熊本市　野﨑　一雄

夏目漱石顕彰　第25回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句入賞作品集―（令和2年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
風薫る漱石囲む中に祖父
千葉県柏市　岡田　春人

中村汀女賞
枷いくつ絆揺るがぬ肥後の秋
東京都世田谷区　山下　清実

地下水都市・熊本賞
黍嵐村に最後の帰還兵
福岡県北九州市　平村　久恵

日本航空賞
端居して過ぎしことより明日のこと
熊本県菊陽町　渡邊佳代子

（一財）熊本市社会教育振興事業団賞
野分けあと黒々と阿蘇立ちあがる
熊本県熊本市　北野　昭夫

ＪＡグループ熊本賞
夏潮を大きく絞る地曳網
熊本県荒尾市　大川内みのる

福井市賞
特攻機発ちし地に佇ち秋の声
宮崎県高鍋町　岡本　和子

松山市賞
涼新た星ひとつづつ語り出す
熊本県熊本市　境　眞木子

（公財）ＪＡＬ財団賞
今も母在す夏草の真ん中に
熊本県合志市　坂田美代子

種田山頭火賞
風を読む二百十日の漁師の目
沖縄県中城村　前原　啓子

熊本の銘菓賞
秋出水人智及ばぬことばかり
東京都世田谷区　花土　公子

特　選
◆井芹眞一郎　選
鰯雲曳きて瀬戸行く渡船かな
福岡県北九州市　松本ゆきこ

◆岩岡　中正　選
門火焚く昔の猫もやつて来よ
東京都杉並区　阿川　暢子

◆宇多喜代子　選
秋澄むや同じ水飲む人けもの
長野県安曇野市　穂苅　真泉

◆小川　晴子　選
大楠の変はらぬ在り処鳥渡る
神奈川県横浜市　佐々木澄子

◆大輪　靖宏　選
ふる里はどの径ゆくも虫時雨
熊本県熊本市　下田　浩子

◆岸原　清行　選
大阿蘇のそのさきがけの野焼かな
熊本県熊本市　有働　利信

◆高野ムツオ　選
大出水それでもここで生き抜かな
熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

◆寺井　谷子　選
帰省子にをとこの背筋城仰ぐ
熊本県熊本市　利光　釈郎

◆西村　和子　選
大阿蘇の風切り裂いて夏燕
熊本県南阿蘇村　藤本　征男

◆坊城　俊樹　選
雲の峰飽きるほど見てごろ寝する
熊本県天草市　金子　絹代

◆星永　文夫　選
百合包む戦後を語る新聞紙
熊本県美里町　畑田　孝子

俳句の部・外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

		（訳）
radish harvest- a child's tug of war with the earth	Saumya Bansal （India）	大根の収穫― 子供が地球と 綱引きをする

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

		（訳）
Calle vacía. Sobre el banco resaltan flores silvestres	Francisco Javier Pastor Gómez （España）	無人の街 ベンチにすくと 草の花

特　選　Tokusen（Second Prize）

A mulberry leaf- the very silk cocoon absorbs the moonlight	Branislav Brzakovic （Serbia）	（訳） 桑の実の葉― 絹を生む繭が たっぷりと月光を吸い取って
older now the moon too hides half her face	Julie Warther Schwerin （United States）	（訳） 年古りて 月もまた同じ 顔半分を隠す
in the cage birds watch Us behind bars	Amy Wells （United Kingdom）	（訳） 籠の中の鳥は むしろ囚われの 我ら人間の方をじっと見る
屋内博弈歡 爆竹炸破舊歲寒 但盼來年安	周　承　潔 （台灣）	（訳） 屋内は賭け事に夢中 / 外では 爆竹が去る年を送り / 来年は いい年になりますように （俳句訳）大晦日はぜる爆竹 笑う声
winter twilight a shooting star ignites the sun	Earl Keener （United States）	（訳） 冬の日の夜明け 流星が太陽に 点火する
pandemic I'm learning to smile with my eyes	Robert Kania （Poland）	（訳） パンデミック 私は目で微笑みを 伝えられるようになる
Nada el sapo entre las estrellas el río crece	Miguel Alberto D'Amato （Argentina）	（訳） 蝦蟇泳ぐ 星星の間を 川出水

令和元年　第十六期くまもと俳句ポスト

特　選

夏草や南州無念の田原坂

熊本県熊本市　柳田　孝裕

令和二年　第十七期くまもと俳句ポスト

特　選

城垣は復興半ば梅雨に入る

熊本県熊本市　山崎　綾子

夏目漱石顕彰　第26回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―俳句入賞作品集―（令和3年）

俳句の部・一般部門

「草枕」大賞
一滴の露のごとくに主峰あり　熊本県合志市　坂田美代子

中村汀女賞
水の輪の数ほど秋の生まれけり　大分県別府市　押谷　隆

地下水都市・熊本賞
汀より天へ百段花蜜柑　熊本県熊本市　有働　利信

日本航空賞
草千里飛雪千里となりにけり　大阪府大阪市　千坂　希妙

（一財）熊本市文化スポーツ財団賞
振袖も縫ひし夜なべの鯨尺　熊本県熊本市　伊藤　広子

JAグループ熊本賞
花の雲風の死角のなき天守　大分県別府市　古賀　宣道

種田山頭火賞
火の国の水の旨さや阿蘇芒　熊本県熊本市　徳永　文代

熊本の銘菓賞
日傘一つ降ろしてバスの去りゆけり　熊本県玉名市　高木ミツヨ

福井市賞
声までも泥まみれなる蓮根掘　岡山県津山市　岡田　邦男

松山市賞
病葉に阿蘇伏流の匂ひあり　熊本県玉名市　山村　恵子

特　選
◆井芹眞一郎　選
生き別れ死に別れして端居かな　福岡県福岡市　沖永　洋美

◆岩岡　中正　選
鰯雲村に一つの拡声器　熊本県熊本市　廣瀬　守世

◆宇多喜代子　選
みんな居た呑んだ唄つた花の下　熊本県菊陽町　渡邊佳代子

◆小川　晴子　選
清正も馬も手の中手毬唄　熊本県熊本市　古木　信子

◆高野ムツオ　選
城高く空なほ高く仰ぎけり　熊本県熊本市　河村邦比児

◆西村　和子　選
帯いつも博多献上生身魂　熊本県熊本市　利光　釈郎

◆福永　満幸　選
大阿蘇の起伏を風の芒かな　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

俳句の部・インターネット投句部門

「草枕」大賞
逃水の上の市電の先に城　福岡県大牟田市　道脇長二郎

特　選
晩秋やパズルのごとき城の石　熊本県南阿蘇村　中島　敬吾
銃眼は永久に使はず花の城　三重県鈴鹿市　古川　和子
ふるさとの城を見上げて卒業す　広島県広島市　前田　節
覗きこむ城の深井や天高し　熊本県熊本市　大即　和枝

俳句の部・ジュニア部門

「草枕」大賞
あさがおのめがごこぜんぶちょうちょです　富山県高岡市立伏木小学校一年　沙　綾音

小学生の部

（公財）JAL財団賞
首里城が焼けたあたりに夕焼雲　沖縄県那覇市立城東小学校四年　上地ひより

特　選
◆西口裕美子　選
サッカーのゴール五かい目つゆのひる　富山県高岡市立伏木小学校二年　塩谷　航大

◆光永　忠夫　選
なつやさいやっぱりカレーが一ばんだ　熊本県熊本市立長嶺小学校二年　椿原　昊

◆山口　孝徳　選
真夏の夜呑み込んでゆくきみの嘘　神奈川県横須賀学院中学校三年　高橋　亜実

◆山下しげ人　選
風光り雲の生まれる阿蘇路かな　熊本県熊本市立帯山中学校一年　今村　薫子

◆米村　恒憲　選
君の声聞こえなくなる夏休み　熊本県熊本市立北部中学校三年　小山　颯太

中学生の部

コロナ禍の父は帰らず海に月　神奈川県横須賀学院中学校三年　ギャンビル・ウィリアム海音

高校生及び18歳以下の部

地下水都市・熊本賞
軒先は蝉時雨なり猫の夢　熊本県真和中学・高等学校二年　小山　晃生

陽炎と一緒に帰る登り坂　熊本県合志市立西合志南中学校三年　岩本　佳純

外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

		（訳）
por el canalón		樋を行く
los pasitos de un pájaro…	Mercedes Pérez Pérez	鳥の足音
sol de estío	（España）	夏日射す

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

		（訳）
tsunami		津波
lifts　stops　falls	Jolanta Kajzer	盛上がり　留まり　崩落して
thunder of water	（Poland）	海の轟

特　選　Tokusen（Second Prize）

a tiger **turns into a sheep --** **windblown cloud**	Lucky Triana （Indonesia）	（訳） 虎が 羊に変貌する― 雲が風に吹かれて
dotting orchard apples **the morning dew** **ripens**	Saumya Bansal （India）	（訳） 点々と果樹園の林檎 朝露に濡れて 熟れている
masked face **keen eyes speak** **volumes**	A Sethuramiah （India）	（訳） マスクの顔 鋭い眼差しは 万巻の書を語る
las manos juntas, **un niño riega amapolas** **con agua del río**	Félix Arce Araiz （USA）	（訳） 手を合わせ 川水汲む子 ひなげしに
bountiful harvest **the scarecrow** **nothing but bones**	Maria-Luisa Stepanek （Italy）	（訳） 豊年満作だ 案山子が 骨だけになって
a fistful of soil **in the hollow of my hand** **what is left of home**	Jocelyn Ajami （USA）	（訳） 手のくぼみに 一握りの土くれ― かつての我が家
pandemic numbers **someone's son** **someone's daughter**	Christina Sng （Singapore）	（訳） パンデミックの数字 誰かの息子 誰かの娘
家中喝茶 **大門上的櫻花名信片**	鄧　紹佳 （Hong Kong, China）	（訳） 俳句訳：家茶して玄関ドアに花の葉書 散文訳：家でお茶を飲み／玄関扉に桜の葉書

令和二年　第十八期くまもと俳句ポスト

特　選

四時軒の失意を包む春日かな

熊本県熊本市　柳田　孝裕

令和三年　第十九期くまもと俳句ポスト

特　選

春塵を浴びてさびしき肖像画

大分県大分市　小野　智輔

夏目漱石顕彰　第27回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―入賞作品集―（令和4年）

一般部門

「草枕」大賞
牛飼の日焼重ねて草千里　京都府京丹波町　本谷眞治郎

中村汀女賞
大阿蘇の花野に溶けてゆく心　熊本県熊本市　児玉　胡餅

地下水都市・熊本賞
散りぎはの少し色濃き桜かな　熊本県熊本市　坂田　淑子

日本航空賞
分身の水棹も日焼川下り　熊本県荒尾市　大川内みのる

（一財）熊本市文化スポーツ財団賞
ちよと子牛群れを離るる吾亦紅　熊本県熊本市　つのだともこ

JAグループ熊本賞
復興のお城嬉しき初詣　熊本県熊本市　堀　志朗

種田山頭火賞
帰省子と夜の天守に上りけり　熊本県熊本市　坂口美穂子

熊本の銘菓賞
荒ぶれる阿蘇静まれと蕎麦の花　熊本県南阿蘇村　藤本　征男

福井市賞
新涼や湯灌にほどく母の指　愛知県東浦町　伊藤　京子

松山市賞
きみを迎ふわれは今年も生身魂　福岡県芦屋町　桐山　甫

特　選
◆岩岡　中正　選
漱石のほほづゑ阿蘇の初あらし　千葉県市川市　執行　香

◆小川　晴子　選
遠汽笛阿蘇へと消ゆる枯木星　熊本県熊本市　角田　宏子

◆高野ムツオ　選
傾ぎてはよへほよへほと踊るかな　熊本県菊池市　日野　智子

◆西村　和子　選
いかのぼり大阿蘇の風引つぱれる　大分県大分市　松本みゆき

インターネット投句部門

「草枕」大賞
亡き父の場所空けてゐる端居かな　神奈川県川崎市　下村　修

特　選
田水張る不易の逆さ涅槃像　熊本県嘉島町　田中よしえ

黄落や闇り御門煌めかす　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

窓と言ふ窓開け放つ夏館　大分県国東市　木村　弘治

軽がると天守閣のせ楠若葉　熊本県熊本市　宗像　和子

ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部
汗だくだダンスはまるでポップコーン　埼玉県開智小学校二年　新井　杏奈

中学生の部
ラケットも日傘に入れてバスを待つ　熊本県熊本大学教育学部附属中学校二年　今村　葵子

高校生及び18歳以下の部
陽炎に揺れる私の進む路　熊本県熊本県立第二高等学校三年　松本　莉沙

（公財）JAL財団賞
手を広げもう飛び込んだ夏の空　広島県福山市立大門中学校一年　松枝　蒼葉

特　選
◆西口裕美子　選
ろくがつのしゅうじをならうこいとかく　富山県高岡市立伏木小学校一年　柴田　悠暉

◆光永　忠夫　選
強い陽に蝉の営み「いとをかし」　熊本県専修大学玉名高等学校一年　黒田　総司

◆山口　孝徳　選
団栗を集めて合唱コンクール　東京都江戸川区立南篠崎小学校三年　柳沢　悠斗

◆山下しげ人　選
目が回りみんな笑顔のスイカわり　熊本県熊本市立城東小学校四年　竹尾　宗高

◆米村　恒憲　選
太陽と重なるボールを追う夏よ　熊本県熊本市立出水中学校三年　井上　櫂李

外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

		（訳）
devastated house before last night it was a home	Levko Dovgan （Ukraine）	壊滅した家 昨夜まで 家庭だったのに

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

		（訳）
Tregua de Pascua… los pequeños juegan con armas de juguete	Keith Simmonds （FRANCIA）	復活祭の休戦 子らは遊ぶ 玩具の武器で

特　選　Tokusen（Second Prize）

		（訳）
her first paper crane a child's wish for the war to end	Alvin Cruz （Philippines）	初めての折紙 女の子が戦の終焉を 願って鶴を折る
reflections... the fisherman's shadow pulls trout out of the clouds	Lyudmila Hristova （Bulgaria）	水面に映る影 漁師が雲間から 鱒を釣り上げているよ
wash tub... waiting until my face settles he again stirs and laughs	Chittaluri Satyanarayana （India）	洗い桶… 顔が落ち着くまで待って また掻き混ぜて笑う
Horno de leña. El pan en la tahona huele a pasado	Silvía Asensío García （España）	薪竈の 店のパンには 昔の香
new galaxy - the light twinkling in the baby's eyes	Dan Salontai （USA）	新しい銀河系 — 光が赤子の瞳の中で きらきらと光る
lockdown raised at sunrise he releases his prized canary	Michael Dudley （Canada）	ロックダウン解除 日の出とともに解放する あっぱれだったカナリア
refugees at the border crossing rain falling on snow	Mark Miller （Australia）	難民たち 国境検問所で 雪の上に降る雨
Ojos curiosos emergen de la arena. Ah!!! Cangrejito.	Ana Verdía （Argentina）	好奇の目 砂から現わる 小蟹なり

写真俳句部門

「草枕」大賞

熊本県熊本市　木下　保之

令和三年　第二十期くまもと俳句ポスト

特　選

城裏の笹子の径となりにけり

熊本県熊本市　山﨑　綾子

令和四年　第二十一期くまもと俳句ポスト

特　選

もののふの夢三月の雨に散る

熊本県熊本市　中村　和徳

夏目漱石顕彰　第28回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―入賞作品集―（令和5年）

事前投句一般部門

「草枕」大賞

手話の手のある時強く原爆忌　熊本県天草市　荒木　賢一

地下水都市・熊本賞

滴りの一音山気揺らぎけり　熊本県宇土市　中川　裕子

日本航空賞

城は父市電は母や春夕焼　東京都世田谷区　山下　清実

JAグループ熊本賞

風薫る風格新たなる天守　福岡県福岡市　今中　榮泉

福井市賞

雲映す湖へざぶざぶ跣の子　熊本県熊本市　若松　節子

松山市賞

余生なき子規漱石や夕端居　熊本県熊本市　芥川　卓

特　選

◆岩岡　中正　選

秋立つやバイクの並ぶ古戦場　熊本県宇城市　田中昭三八

◆小川　晴子　選

天守閣囲める青葉青葉かな　熊本県熊本市　工藤　靖子

◆岸本　尚毅　選

臍浸けて家族四人の水眼鏡　福岡県水巻町　青竹　町子

◆高野ムツオ　選

防人や藻屑の寄する青岬　神奈川県横浜市　千田　道晋

◆西村　和子　選

月光に濡れて艶増す阿蘇の牛　東京都葛飾区　大久保　昇

インターネット投句部門

「草枕」大賞

飛び込みの橋に勇気の集まれり　神奈川県川崎市　下村　修

特　選

湖につつぬけの空燕来る　広島県東広島市　古山　礼子

片隅の笑はぬ生徒夜学の灯　長野県安曇野市　穂苅　真泉

呼び捨てにされてる男子キャンプ村　熊本県八代市　貝田ひでを

だんだんと月上りつつ宙の宴　京都府京都市　屋敷　旺甫

ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

散ばつをしたような島春の海　熊本県熊本市立力合小学校四年　大友　一晃

中学生の部

背泳の届かぬ空の青さかな　熊本県熊本市立東町中学校三年　有働　生望

高校生及び18歳以下の部

緞帳がのたりのたりと秋の暮　和歌山県智辯学園和歌山高等学校一年　上松　篤史

（公財）JAL財団賞

夏空へ手足伸ばして水に浮く　熊本県熊本市立京陵中学校二年　矢澤　佳乃

特　選

◆西口裕美子　選

せみが鳴くかん字ノートはおわったよ　富山県高岡市立伏木小学校三年　引田　裕太

◆光永　忠夫　選

小綬鶏やちょっと待ってよ今いくよ　埼玉県開智小学校三年　新井　杏奈

◆山口　孝徳　選

太陽をラムネの中に閉じこめる　東京都江戸川区立南篠崎小学校四年　柳沢　悠斗

◆山下しげ人　選

目を閉じて海の音鳴るラムネ瓶　熊本県熊本信愛女学院高等学校二年　増田　莉子

写真俳句部門

「草枕」大賞

熊本県合志市　田代　洋子

外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

		（訳）
war zone **a soldier unhands** **the firefly**	Roberta Beary （Ireland）	戦場で 手放す兵士の 螢かな

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

		（訳）
Frío otoñal. **Mariposas viajeras** **en procesión.**	Aurea Leticia Reza Patiño （México）	秋冷や 渡りの蝶は 列をなし

特　選　Tokusen（Second Prize）

		（訳）
lunchtime... **a hawk flies over with** **its landing gear down**	Ed Bremson （USA）	昼食時 ギア上げ鷹が 降下する
incense stick **the weight of ash** **before it falls**	Ravi Kiran （India）	お線香 落ちる灰なる 重さかな
military graveyard **march of the crosses'** **shadows** **commanded by the sun**	Alexandra Ivoylova （Bulgaria）	軍人墓地 十字架の影たちの行進 指揮官は太陽
en su garganta **escofinas de cuchillas** **cante jondo**	Jocelyn Ajami （USA）	喉奥に ナイフのやすり カンテ・ホンド
bed of cosmos **butterfly and honeybee** **exchanging flowers**	John Savoie （USA）	秋桜の花壇 蝶と蜜蜂 花取り換えっこ
cave visit... **a child's torch releases,** **hides, releases** **stalagmites**	Maya Daneva （Netherlands）	洞穴探検 石筍が子の翳す灯で 見え隠れ
invading **sunflower gardens** **landmines**	Roberta Beach Jacobson （USA）	侵攻は 向日葵の庭 地雷かな
盲人書 **書籤上的蝴蝶刺繡**	Vladimir Aktov （Russia）	点字図書 栞に刺繍の 胡蝶かな

当日投句部門

「草枕」大賞
はればれと火の山日和大根引く　熊本県南関町　平川みどり

中村汀女賞
白日の城を一擲冬の雷　熊本県宇土市　鎌田　順子

地下水都市・熊本賞
城垣に張りついてゐる冬日かな　熊本県熊本市　山本　淑子

（一財）熊本市文化スポーツ財団賞
水清き里に嫁ぎて冬あたたか　熊本県熊本市　木村佐恵子

種田山頭火賞
火の国にのさる晩年秋夕焼　熊本県熊本市　宗像　和子

熊本の銘菓賞
しぐるるや埴輪に残る火の匂ひ　熊本県八代市　山下しげ人

特　選
◆岩岡　中正　選
がたごとと乗客のせて秋は行く　熊本県熊本市　宗像　和子

◆小川　晴子　選
宇土櫓槌音冬をはね返す　熊本県菊池市　川口　隆子

◆高野ムツオ　選
戦争を見て来た月の光かな　熊本県南阿蘇村　藤本　淳子

令和四年　第二十二期くまもと俳句ポスト

特　選
水鳥の楽園江津湖底透けて　福岡県宗像市　井上眞知子

令和五年　第二十三期くまもと俳句ポスト

特　選
奥阿蘇の水美しき若菜粥　大分県大分市　小野　智輔

夏目漱石顕彰　第29回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱 ―入賞作品集―（令和6年）

事前投句 一般部門

「草枕」大賞

草の花まだ鼻輪なき牧の牛　熊本県合志市　坂上トヨ子

地下水都市・熊本賞

また一つ足場解かるる城小春　熊本県南関町　平川みどり

日本航空賞

初秋や音ともならぬ草の雨　熊本県熊本市　安田眞葉子

JAグループ熊本賞

夕立来て馬の背光る草千里　奈良県奈良市　堀ノ内和夫

福井市賞

永き日を鐘の一打に納めけり　熊本県熊本市　田中　茗荷

松山市賞

星砂を育む島よ銀河濃し　熊本県菊池市　上野恵里子

特　選

◆岩岡　中正　選

何も無きふる里なれど盆踊　熊本県熊本市　西村　孝子

◆小川　晴子　選

一太刀に始む城攻め稲光　熊本県熊本市　角田　宏子

◆岸本　尚毅　選

縁側へ出たき子規るて凌霄花　神奈川県平塚市　尾﨑千代一

◆高野ムツオ　選

市電から始まる旅や一草忌　熊本県熊本市　槻木　俊彦

◆西村　和子　選

帰省子のお城を探す遠眼鏡　熊本県熊本市　轟　眞理子

インターネット投句部門

「草枕」大賞

黙禱を宣する声や蝉時雨　東京都新宿区　矢島　章子

特　選

新涼やさらさら走る硝子ペン　熊本県合志市　高村　聖恵

いもむしが好きでみんなに嫌はるる　熊本県八代市　貝田ひでを

峡谷の空押し上ぐる鯉幟　広島県東広島市　古山　礼子

明珍の風鈴風を掻き鳴らす　千葉県芝山町　澤野　壽一

ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

ばあちゃんがわらうおぞうに三ばい目　富山県高岡市立伏木小学校二年　堀　菜月

中学生の部

終わらない先生の話セミがなく　熊本県熊本信愛女学院中学校三年　齋藤　優

高校生及び18歳以下の部

セロテープの始まりのなき暑さかな　東京都学習院女子高等科一年　島崎　結菜

（公財）JAL財団賞

電柱と遠くの空の入道雲　熊本県熊本大学教育学部附属中学校二年　鄧　雅文

特　選

◆西口裕美子　選

ぱあてぃがさいごのぺえじつゆのえほん　富山県高岡市立伏木小学校一年　舟本　匡吾

◆前山　光則　選

陽がねこの寝顔を照らす終戦日　大分県大分市立大在小学校六年　宮崎　胡翠

◆光永　忠夫　選

酔いしれてきょうも眠れぬ夜半の秋　広島県呉市立昭和北中学校二年　生見　昊佑

◆山口　孝徳　選

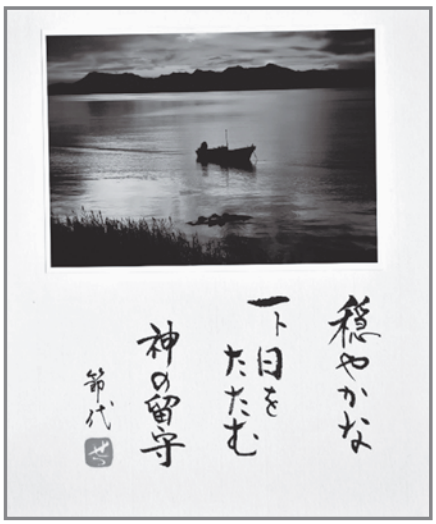
新聞で見かけし名字草の花　和歌山県智辯学園和歌山高等学校二年　竿本　啓晴

◆山下しげ人　選

既読無視され炎昼の中にいる　熊本県尚絅高等学校三年　北村　紗希

写真俳句部門

「草枕」大賞



熊本県熊本市　山戸　節代

外国語部門

「草枕」大賞　Kusamakura Taishou（Grand Prize）

		（訳）
escombros…		瓦礫の石
en cada piedra	Jocelyn Ajami	一つ一つに
cuentos de pena	（United States）	悲しみの物語

地下水都市・熊本賞　Chikasuitoshi Kumamoto Shou（Kumamoto 'City of artesian Waters' Haiku Award）

		（訳）
a worried farmer		干上がった畑の傍らで
next to dry fields-	Gordana Kurtović	傷心の農夫
a month without rain	（Croatia）	もう一月も雨が降らぬ

特　選　Tokusen（Second Prize）

		（訳）
slanted rain **stitching these ashen** **skies to the fields**	Maire Morrissey （Ireland）	雨が灰色の空と 畑を縫い繋げて 斜めに降っている
soundlessly... **rain drops draw** **hieroglyphics**	Lilia Racheva （Bulgaria）	音もなく… 雨だれが太古の象形文字を 描き出す
bloodshot **a reflection of this world** **in a dragonfly's eyes**	Arvinder kaur （India）	トンボの 複眼に映る 流血の世界の影
sol de mediodía **lagartijas deletrean** **letras de lápidas**	Danny Blackwell （España）	日盛りに 蜥蜴は石碑の 文字を読む
a presence sensed **by the silence it keeps** **memorial stone**	dl mattila （United States）	墓石とは 沈黙に守られてある 面影
mountain railway station — **the steam train leaves behind** **a fog dragon**	Capotă Daniela Lăcrămioara （Romania）	登山列車の駅で— 機関車が蒸気の龍を 背後に吐き残してゆく
PASAN LAS NUBES, **LENTAS COMO LA TARDE** **Y LOS BUEYES.**	Ignacio Lombo Montañés （España）	雲がゆっくり過ぎる 昼のように 雄牛のように
短夜就長眠 **署名冥録列詩仙** **投宿酒泉邊**	石倉　秀樹 （日本）	短夜の長き眠りに 閻魔帳にサインして詩仙に名を連ね 酒泉のほとりに宿をとる （という夢を見た） （短夜や夢は詩仙酒泉に飛ぶ）

当日投句部門

「草枕」大賞
小鳥来る旧居の庭の投句箱　熊本県熊本市　伊藤　広子

中村汀女賞
大阿蘇の夕日案山子と背負けり　熊本県熊本市　池田いずみ

地下水都市・熊本賞
名月を担ぎ上げたる天守かな　熊本県宇土市　鎌田　順子

（一財）熊本市文化スポーツ財団賞
産着干す指の先まで秋日和　熊本県熊本市　古賀久美子

種田山頭火賞
柿を剥く夕日くるくる廻しては　熊本県熊本市　木村佐恵子

熊本の銘菓賞
黄落の反射二の丸三の丸　熊本県宇城市　田中昭三八

特　選
◆岩岡　中正　選
一村の静かに暮るる柿すだれ　熊本県宇土市　中川　裕子

◆小川　晴子　選
稲筵記紀に始まる阿蘇郡　熊本県熊本市　上村　孝子

◆西口裕美子　選
サイフォンのあぶく一気に神無月　宮崎県延岡市　森山　榮子

◆西村　和子　選
くまモンの迎へるロビー冬暖　岡山県岡山市　三川　幸子

令和五年　第二十四期くまもと俳句ポスト

特　選
木石のかへす初冬の光かな　香川県丸亀市　三好　康夫

特　選
漱石もハーンも知らぬ炎暑かな　熊本県熊本市　柳田　孝裕

令和六年　第二十五期くまもと俳句ポスト

種田山頭火あれこれ

山頭火ブームを巻き起こし、一般人に最も人気のある俳人山頭火は、明治十五（一八八二）年、山口県佐波郡西佐波令村（現防府市八王子）に生まれた。本名種田正一。父竹治郎は村有数の資産家であったが、大浪費家で、山頭火と共に始めた種田酒造場も大正五年ついに倒産。山頭火は妻子を連れて来熊、下通一丁目に古書店「雅楽多」を開いた。しかし、店は妻任せで、句友と飲み歩いていた。大正九年妻サキノと戸籍上離婚。一時東京一橋図書館に勤めたが、長つづきせず、関東大震災後に帰熊した。大正十三年十二月、酔って熊本市公会堂前で市電を停め、この時、千体仏報恩寺の望月義庵の世話になり、十四年二月に出家得度、名を耕畝と改めた。三月に鹿本郡植木町味取の瑞泉寺（味取観音）の堂守となったが、翌年四月、行乞放浪の旅に出た。山陰・山陽から四国を行乞。昭和四年、一時熊本に帰り、十一月、阿蘇で師荻原井泉水を迎えた。翌年九月から宮崎、大分、福岡を行乞、十二月に熊本市春竹琴平町に一室を借り、三八九居と名づけた。六年二月、個人誌「三八九」を創刊、十二月からまた旅に出た。昭和七年九月、山口県小郡に庵を結び、「其中庵」と名づけ、十三年山口市湯田温泉に「風来居」、翌年松山市御幸寺の境内の「一草庵」が終のすみかとなった。昭和十五年十月没。享年五十九歳。

松はみな枝垂れて南無観世音

山頭火は自選句集『草木塔』の巻頭にこの句を置き、「大正十四年二月、いよいよ出家得度して、肥後の片田舎なる味取観音堂守となったが、それはまことに山林独住の、しづかといへばしづかな、さびしいと思へばさびしい生活であった。」という詞書を付している。

前山光則氏は「これはほんとにスッキリ整った姿をしている句で、まるで作者の心の内が『無』に近いくらいになっていたから成立したのか、と思わせる。読む側もそれなりに、そこに生じたろう宗教的な気配を受け止めることになる。」（『山頭火を読む』）と解している。味取観音に独り住んだ山頭火が、いよいよ表現者として自立していく第一歩をこう記した時、世俗を捨ててもなお心に残るもの、俳句への精進という我執の強さが「南無観世音」ということばとともに強烈に響いてくる。声明すればするほど、いよいよ俳句に深く捉えられたと思えてくる。

分け入っても分け入っても青い山

大正十五年六月、熊本県馬見原から宮崎県高千穂に至る九州背梁山中で詠まれたもので、山頭火の代表句。井泉水は「一寸読むと、禅林句集にでもありさうな気持に思はれ」るが、「其と是は明らかに違ふ。禅林の語にあるやうな、人間の世界を卒業しきって、青山白雲と同化したという風な、つまり悟りきった気持では此句はないのである。」（『山頭火を語る』）と捉えている。九州背梁の「青い山」を分け入っていくという実景とともに、「分け入っても」のくり返しが、実にさまざまな意味を示唆することになる。山頭火は俳句の、あるいは人間の心の奥深さを、今さらながら噛み締めているように思われる。あるいは業の御しがたさか。

焼き捨てゝ日誌の灰のこれだけか

昭和五年九月九日、熊本を発った山頭火は、八代、佐敷、人吉、宮崎、鹿児島、大分、福岡と三ヶ月に及ぶ旅をした。九月十四日に人吉で、「熊本を出発するとき、これまでの日記や手記はすべて焼き捨ててしまったが、記憶に残った句を整理した」（「行乞記」）と記し、さらに「単に句を整理するばかりぢゃない、私は今、私の過去一切を精算しなければならなくなってゐるのである。たゞ捨てゝも捨てゝも捨てきれないものに涙が流れるのである。」（同）と書いている。掲句は十六日作。俳句一筋の精進だが、見方を変えれば俳句への執着の強さ故の行為ということになる。

うしろすがたのしぐれてゆくか

詞書に「昭和六年、熊本に落ちつくべく努めたけれど、どうしても落ちつけなかった。またもや旅から旅へ旅し続けるばかりである。」（『草木塔』）と記し、「自嘲」の前書きがある。昭和六年十二月三十一日のことであったが、放浪俳人の「うしろすがた」に、日本人はおのれの姿を重ね合わせ耐えているところがある。

熊本大学文学部教授　**首藤　基澄**

「第六回『草枕』全国俳句大会報告書より」

中村汀女 ―俳人という生き方

明治三十三年に熊本県飽託郡画図村（現熊本市江津）に、斎藤平四郎、テイの一人娘として生まれた汀女が初めて俳句を作ったのは十八歳の時であった。二十歳で結婚し熊本を離れてから十年程は子育てや夫の転勤などで俳句から遠ざかるが、その後、虚子の指導のもと力をつけていった汀女は橋本多佳子、三橋鷹女、星野立子らと共に四Tの一人として女流俳人の位置を確立していったのである。

汀女の業績は生涯八千句近くの句を作ったということだけではない。昭和二十二年創刊した俳誌『風花』には家庭婦人が多く集った。昭和三十年代になると各地に支部も出来会員も千名を越える程になった。また、雑誌やラジオなどの添削指導によって俳句の裾野を広げ、俳句を国民的文芸の域に持っていった功績も注目すべきである。

そうした汀女は俳人として七十年間（十年程中断）の間に十一の句集を出しているが、それらを通してみると汀女俳句の世界、及び汀女の生き方が見えてくる。

咳の子のなぞなぞあそびきりもなや
あはれ子の夜寒の床の引けば寄る

汀女といえば子供を詠んだ句や、母親の子供に寄せる情愛を詠んだ句が人口に膾炙している。しかし、こうした句は子育てが終ると少なくなっていくのである。

子にかかる思ひを捨てぬ更衣
子にかける嘆きあきらめ初紅葉

これらの句には汀女の子離れの思いが詠まれているのである。こうした子供の句の減少に伴って増えてくるのが母親を詠んだ句である。

花落とし終へし椿の男ぶり

汀女は昭和六十三年九月、八十八歳で亡くなったが、掲句はその数ヶ月前に詠まれたものである。「花」を汀女のこれまでの作品の数々、幾多の業績とみると、この句にはこれまでの生涯を振り返る汀女の心境が詠み込まれている。「男ぶり」と言っているところに汀女の生き様が象徴されている。

つつじ咲く母の暮しに加はりし
みぞそばに沈む夕日に母を連れ

汀女は結婚して上京後、年に一度は必ず帰省した。汀女の帰省は「母の暮しに加はる」ことだったのである。昭和十九年父親が亡くなってからは帰省の回数も増えていく。そういうこともあって江津湖湖畔の風物を詠んだ句も生涯を通じて多く見られる。

鳰葭に集りぬ湖暮るる
枯芭蕉草生ふれのあたたかく
水葱流る心はるばる来し如く

晩年には東京にいても江津湖畔のことを思い出して詠んでいる。

中空にとまらんとする落花かな
水仙や束ねし花のそむきあひ

「ホトトギス」で育った汀女に「風鳥諷詠」の写生句が多いのは勿論であるが、その他注目したいのが心境句である。

夏雲の湧きてさだまる心あり
寒の水ふくみておのれ信ずべく

対象物に自己の心情を投入させることで自己の内面を詠んだ句に佳句が多いのである。

平和願ふはすべての人なり
誰がために水澄み木の実の熟るる日ぞ

その他にもこのような反戦の句などもある。こうしてみると汀女の句の世界は「台所俳句」に収まるようなものでないことが判然とする。

行く道はいつも一筋水草生ふ

この句には「江津湖畔に私の句想はいつも馳せてゆく。」といった汀女の俳人としての生き方が詠まれている。

このように汀女が俳句の道「一筋」に生きることができたのは、汀女自身の生き方に依るところが大きいのである。官吏の妻として、三人の子供を育てながらの生活の中には「人並の苦労もあった」と言っている。しかし、「その都度に私は必要以上に思いわずらうことはしなかった」「心を向け変える―流れにまかせるすべを知っていた」のである。汀女は俳誌の「風花」を「今日の風、今日の花」と「今日に心新しくあれば、風も新た、花も新た」と「自戒の言葉」としていたのである。

俳句は男性の文学だとか断定の文学だとか言われるが、十七文字の俳句はいかに切り捨ていくかにかかっている。こうしてみると、汀女の妻として母としてまた人間としての生き方そのものが俳句的であったと言うことができるのではないだろうか。

尚絅大学文学部教授　**今村　潤子**

「第七回『草枕』全国俳句大会報告書より」

漱石をめぐって
漱石俳句の軌跡―無心の句境へ

はじめに―俳句は漱石の生涯の友

私は国文学や英文学の専門ではないが、漱石同様二〇代から俳句を始め、あっという間の半世紀である。私にとって俳句は生涯の友だが、漱石にとってもそうだったに違いない。もちろん俳句には「文人俳句」というジャンルがあって、文豪たちの「余技」や本業の仕事への「慰籍」とみなされたりもするが、漱石にとって俳句と漢詩は、文人の余技ではない。

つまり漱石にとって、英文学と小説と俳句・漢詩は三位一体であり、俳句と漢詩は生涯を貫き培う教養、語彙、機知、興趣、諧調（リズム）を提供し、漱石文学を支え続けたものなのであろう。新しい感動表現とそれを生み出す「ことばの力」の基礎に、俳句や漢詩があって、漱石は生涯これらを手離すことはなかったのである。

（一）俳人・漱石の誕生―子規の推挽と友情

俳人・漱石は、子規の俳句革新運動の産物ともいえる。二人の出会いは明治二十二年。「余は偏屈なり頑固なり、すきな人はむやみにすきにて、嫌ひな人はむやみにきらひなり」と自分で宣言する子規は漱石の学識と人柄に惚れこんで、俳句交遊へと進んだ。二十四年には漱石が子規門に入った「俳道発心」の書簡があり、それ以降、「駄句少々御目にかけ候」、「こんなものばかりに候、然し病中の御慰に御覧可入候」と、漱石は謙虚でやさしい。これに応える子規の楽しい添削指導は有名だが、他方で子規は漱石を新しい俳壇改革への有力俳人として推挽する。

俳句革新の時代である。以前の宗匠俳句のように俳歴などは問題でない。「明治二八年始めて俳句を作」った漱石を子規は、「明治二九年の俳諧」（「日本」）で、「初めて俳句を作るときより既に意匠に於いて句法に於いて特色を示す」と言い、「明治三〇年の俳諧」（「日本」）では、「漱石の超俗にして時に奇警」、「俳人の錚錚たる者」と世に紹介し、「肥の漱石……、一騎当千の勇将なり」と宣言する。ここからは、今見ても不思議なほどの子規の革新運動の熱気が伝わってくると同時に、俳人・漱石への子規の期待の大きさとそれに応える漱石の実力が見えるようである。

（二）漱石の前期俳句の豊饒

そこで明治二十八年の松山、とりわけ愚陀仏庵時代から高まり三十三年に留学する熊本時代の終わりまでの前期俳句だが、これは多産で、内容的にも個性的で多様、自由自在、縦横無尽、才気にあふれる句ばかり。どれも、漱石の柔らかな感性とウイット、豊かな知識と教養、ことばの力に裏打ちされた句である。

以下いくつか紹介すると、子規に教えられた「写生」句でも、確かな観察を踏まえた情調や明るさのある句。あるいは、即興の率直で明快な句は、どれも楽しい。

乾鮭のからついてゐる柱かな
すずしさや裏は鉦打つ光琳寺
草山に馬放ちけり秋の空
秋はふみ吾に天下の志
春の雨鍋と釜とを運びけり

次は、自由でダイナミックで物語性や滑稽味あふれる、想像力豊かな句。

吉良殿のうたれぬ江戸は雪の中
行春や紅さめし衣の裏
三十六峰我も我もと時雨けり
叩かれて昼の蚊を吐く木魚かな

また、漱石らしい内面への凝視、葛藤、厭世の思いや生き方に関わる内省句。漱石の個性とその後を暗示する俳句。

吾折々死なんと思ふ朧かな
仏性は白き桔梗にこそあらめ
木瓜咲くや漱石拙を守るべく

さらに最後に、右の内面凝視の句とも関わるが、漱石らしい「小さきもの」への注目がある。思想家・歴史家の亡き渡辺京二の若い療養所時代に死と直面したエッセーに「小さきものの死」がある。これが渡辺京二の文学の原点なのだが、自他のいのちであるこの「小さきもの」への深いまなざしはまた、漱石の生涯を貫くものでもあって、初期俳句にも折々顔を出す。

淋しくば鳴子ならして聞かせうか
菫ほどな小さき人に生まれたし
本名は頓とわからず草の花

ところで、こうした漱石の前期俳句はさらに子規との俳句交流（往復書簡）を通して見ると、まことに豊かで心あたたまるものがある。私が「友情俳句」とよぶ子規の側の句から、俳句世界の中での漱石の位置と風景が見えて楽しい。たとえば、次の子規の三句。

桔梗活けてしばらく仮の書斎かな　子規
梅活けて君待つ庵の大三十日　子規
漱石が来て虚子が来て大三十日　子規

これらの句は、漱石の日常の大事な断片を伝えて、楽しい。一句目は、明治二十八年、松山の漱石の下宿・愚陀仏庵に病み上がりの子規が転がり込んできて、「桔梗活け

て」ここがわが「仮の書斎かな」とすましている子規と、これを受けいれている漱石の姿。私はこれを「奇跡の日々」とよんでいるが、それはここで漱石が俳句創作に打ち込みはじめたから。つまりこの頃から漱石が文学創作者（文豪）への道を歩みはじめた記念の日々だからである。

さらに右の二、三句目は、漱石が鏡子夫人との見合いのために松山から上京した折りの句。いそいそと梅の花など活けて漱石を待つ子規の姿が見えるが、何とこの日ここに子規、漱石、虚子という、のちの三文豪が再会した。子規・漱石と虚子は七つの違いで、両者の世代間の意識―日本の近代や文芸への立ち位置もかなり違う。俳句から小説への道を進み「近代」や「自我」をめぐる葛藤に正面から取り組んだ漱石。小説から転じ、俳句改革を通してわが国の文芸の近代化に取り組んだ近代人・子規。これも小説から俳句に転じ、子規の写生を受けついで俳壇を制覇しつつも近代化に抗して俳句の固有性と伝統にこだわった虚子。その後彼らは、日本の文芸と自我における「近代」をめぐって、三者三様の道をたどる。それにしてもこれは、何と豪華な邂逅の一日の風景だろうか。私たちは、この瞬間をとらえて後世に伝えた一句の力にもあらためて注目しなければならない。

（三）漱石の後期俳句―深く透明な境地

以上の子規との友情で開花した漱石の多産で豊饒な初期俳句に対して、明治四十三年の修善寺での臨死体験を頂点とする後期俳句は全く次元の異なるものだろう。この後期俳句の背景については、俳句雑誌でいわゆる「自句自解」ともいうべき、漱石自身によるすぐれた解説である「思い出す事など」にくわしい。

漱石は、「余は年来、俳句に疎くなりまさった者……漢詩に至っては、殆ど当初からの門外漢」と謙遜し近年俳句から遠ざかったと断りつつも、「けれども余が病中に作り得た俳句と漢詩の価値は、余自身からいうと、全くその出来不出来に関係しないのである」と言う。つまり漱石は、大病を経て自分の作品に対する他人の評価を気にしない、「その善悪などはむしろどうでも好いとまで思う」に至ったのである。

こうした生死を越えた自由の境地で詠まれた後期俳句の、観照と虚心、感謝と肯定の透明な句境は、知性と好奇心あふれる、まるで教養小説（（自己）形成小説（ビルドウングスロマン））のような前期俳句とは全く異質の、深化した透明な世界であった。漱石は「病気になって仰向けに寝てからは、絶えず美しい雲と空が胸に描かれた」、「それ位、病中の余は自然を懐かしく思」い、「眼の前に群がる無数の赤蜻蛉を見」て、日記に「人よりも空、音よりも黙。……肩に来て人懐かしや赤蜻蛉」と記したが、これは子規の早すぎる晩年の植物愛や自然愛にも通じる透明な境地。さらに「死」をめぐっては、

冬蜂の死にどころなく歩きけり　村上　鬼城
死ねば野分生きてゐしかば争へり　加藤　楸邨
勇気こそ地の塩なれや梅真白　中村草田男

などの名句がすぐ頭に浮ぶものの、やはり次のような生死を越えて浄化された漱石の、諦念というよりむしろ透明無心の句境には及ばない。漱石俳句がこの後期俳句で頂点に達することは、誰の目にも明らかだろう。と同時にここにはまた、漱石の初期俳句の「小さき物へのまなざし」が生きているのである。

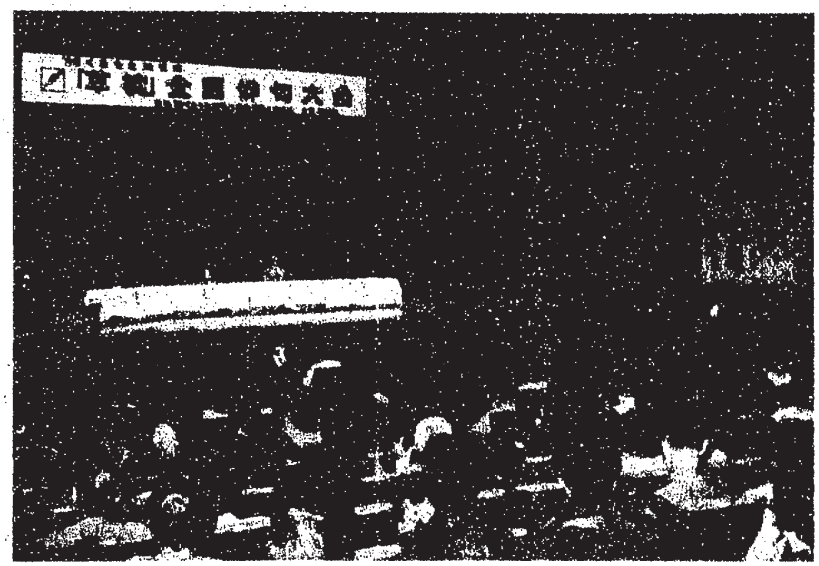
生き返るわれ嬉しさよ菊の秋
逝く人に留まる人に来る雁
秋の江に打ち込む杭の響かな
腸（はらわた）に春滴るや粥の味
有る程の菊抛げ入れよ棺の中

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会会長　**岩岡　中正**

「草枕」国際俳句大会のあゆみ

開催回	開催年度	講演会講師	講演会	会　場
第１回	平成８年	大岡　　信	「漱石の俳句」	熊本県立劇場演劇ホール
第２回	平成９年	渡辺　淳一	「私と小説」	熊本市民会館
第３回	平成10年	平岩　弓枝	「日本のこころ」	熊本市産業文化会館
第４回	平成11年	五木　寛之	「暗愁のゆくえ」	熊本市民会館
第５回	平成12年	市川　森一	「ドラマになる町」	熊本市民会館
第６回	平成13年	森村　誠一	「小説は人生の証明書」	熊本市民会館
第７回	平成14年	夏目房之介	「漱石と私」	熊本市民会館
第８回	平成15年	童門　冬二	「宮本武蔵と熊本」	熊本市民会館
第９回	平成16年	安永　蕗子	「定型詩の魅力」	熊本市民会館
第10回	平成17年	黛　まどか	聖地サンチアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼行	熊本市民会館
第11回	平成18年	坪内　稔典	「俳人・漱石」	熊本市産業文化会館
第12回	平成19年	加来　耕三	「夏目漱石の作品と熊本」	熊本市産業文化会館
第13回	平成20年	宇多喜代子	「水と俳句」	熊本市総合体育館・青年会館
第14回	平成21年	川口　恭子	「殿様の俳句 ―細川重賢公と由婦君―」	熊本市総合体育館・青年会館
第15回	平成22年	中村　青史	「俳諧小説『草枕』を読む」	熊本市総合体育館・青年会館
第16回	平成23年	大輪　靖宏	「芭蕉の創作法」	ホテル熊本テルサ
第17回	平成24年	伊藤　一彦	「短詩型の魅力　～人生と表現～」	熊本市総合体育館・青年会館
第18回	平成25年	高野ムツオ	「俳句の今とこれから」	熊本市総合体育館・青年会館
第19回	平成26年	夏井いつき	「『100年俳句計画』 ～俳句甲子園を出発点として～」	熊本市総合体育館・青年会館
第20回	平成27年	小泉　　凡	「文化資源としての人と文学 ～小泉八雲の世界から～」	くまもと森都心プラザ
第21回	平成28年	原武　　哲	夏目漱石の「草枕」と俳句	市民会館シアーズホーム夢ホール
第22回	平成29年	熊本信愛女学院、濟々黌、尚絅、第一の各高校生	ステージ発表	くまもと森都心プラザ
第23回	平成30年	西村　和子	一日、一年、一時代	市民会館シアーズホーム夢ホール
第24回	令和元年	高橋　睦郎	鴎外の俳句	市民会館シアーズホーム夢ホール
第25回	令和２年		コロナ禍で表彰式のみ	県民交流館パレア
第26回	令和３年	岩岡会長と受賞者	トークイベント	市民会館シアーズホーム夢ホール
第27回	令和４年	岩岡会長と受賞者、山下しげ人・ジュニア選者	トークイベント	市民会館シアーズホーム夢ホール
第28回	令和５年	高野ムツオ	俳句が映し出すもの	市民会館シアーズホーム夢ホール
第29回	令和６年	西村　和子	季語で読む源氏物語	市民会館シアーズホーム夢ホール
第30回	令和７年	井尻香代子、井上泰至 岩岡中正、西川盛雄	シンポジウム 「世界で愛される俳句」	市民会館シアーズホーム夢ホール

「草枕」俳句大会グランプリ
小南さんと吉住さん受賞
熊本市



「草枕」全国俳句大会の会場
＝熊本市大江２丁目の県立劇場

夏目漱石の来熊百年を記念した「草枕」全国俳句大会が十三日、熊本市大江の県立劇場で開かれ、グランプリの事前投句一般部門の漱石大賞に小南やちよさん（六九）＝山鹿市＝の「来し方は語らず今の涼しさに」、同じく当日投句の同大賞に吉住淳子さん（五三）＝熊本市＝の「猪垣と云はれて気づくほどのもの」が輝いた。吟行投句の同大賞は西本正子さん（六四）＝八代市。

同大会は俳人の顔も持つ漱石を見直そうと「'96くまもと漱石博」推進100人委員会が主催。全国から事前投句一万四千四百十句、大会前日の吟行投句二百九十七句、当日投句千二百九十四句が寄せられた。

約千人の俳句愛好家が参加、藤崎久を大会会長（俳誌「阿蘇」主宰）が開会を宣言し、名誉会長の三角熊本市長があいさつ。歌人の安永蕗子さん、佐藤和夫早稲田大教授、矢部絹子熊本朗読研究会代表、岩岡中正熊本大教授が「俳句の魅力」のテーマで語り合った。

午後は、詩人で文芸評論家の大岡信氏が「漱石と俳句」と題して記念講演。正岡子規との友情を軸に漱石の俳句について語り、「写実ではなく、アイデアをどう表現するか。レトリックにはむとんちゃくだが、宝石の原石の趣がある」と述べた。

この後、各部門の入賞者を発表、選者の伊藤柏翠、稲畑汀子、上田五千石、篠田丈耳、倉田紘文、鷹羽狩行、長谷川櫂の各氏らが講評を行い、藤崎大会会長が入賞者に賞状を贈った。

第１回大会を伝える熊本日日新聞＝平成８年（1996）年10月14日

あとがき

時間旅行―

２０２５年（令和７）年に第30回を迎えた「草枕」国際俳句大会の記念誌の編集をしながらこんな言葉を思った。そしてこの時間旅行は、俳句を中心に据えた例を見ないものだった。

第１回大会は１９９６（平成８）年。夏目漱石が第五高等学校（現・熊本大学）の英語教師として熊本に来た１８９６（明治29）年から１００年になるのを記念して始まった。報告集のタイトルも「’96くまもと漱石博　漱石の玉手箱」である。前年の１９９５（平成７）年に結成された、県内各界のリーダーを中心とする「’96くまもと漱石博推進１００人委員会」がエンジン役となって、「漱石展」や「三四郎祭」、「国際シンポジウム」など多彩な催しが企画され、「『草枕』全国俳句大会」もその一つだったのだが、以来30年、毎年続けられてきたのが本大会であった。

漱石は生涯２５００余句のうち、１０００余句を４年３カ月暮らした熊本で作っている。本大会はその夏目漱石顕彰とともに、熊本市の名誉市民である俳人・中村汀女を偲び、俳句都市・熊本を国際的に発信しようという目的もあるのだが、大会名称が「草枕」国際俳句大会と「国際」を入れて改称されたのは２００２（平成14）年の第７回大会だった。外国からの投句が多いのも大会の特徴で、２００９（平成21）年の熊本市制百二十周年記念と銘打った第14回大会には「笑いには国境はなし焚火の輪」（須賀吐句志）、「樹海より立ちて大河を渡る虹」（東比呂）、「ブラジルに果つるも定め銀河濃し」（二見智佐子）の句がある。ブラジルには熊本からの移民が多かった。異郷の地で必死に生きている人たちの心が見えるようだ。「ブラジル移民の父」とも呼ばれた熊本市城南町出身の上塚周平は瓢骨の俳号を持つ俳人でもあった。

30回の記念大会では外国語部門の大賞受賞者を熊本に招く「福田令寿賞」を新設した。福田令寿は宇城市出身で、１８９３（明治26）年、20歳で単身渡英、エジンバラ大学などで医学を学び、帰熊後は熊本の医療の発展や社会事業にも取り組み、熊本市の名誉市民となった。福田令寿賞は、福田令寿の孫に当たる福田病院（熊本市）の福田稠理事長が寄金を提供した。

30回大会の海外からの応募は67ケ国・地域、６３７人、１１９９句に及び、英語だけでなく、スペイン語、中国語もあり、全国有数の国際大会となっている。

振り返れば、大会はそれぞれに時代を反映したものになっているが、大きな影響を受けたのが２０１６年（平成28）年の熊本地震とその後のコロナ禍であった。コロナ禍では２０２０（令和２）年の第25回大会は表彰式のみとなり、以後もコロナ禍の影響での大会開催を余儀なくされたが、２０２１（令和３）年の第26回大会にはジュニア部門を復活するとともに、インターネット部門を新設した。翌２０２２（令和４）年の第27回大会には俳画部門に代わり写真俳句部門を新設した。またこの大会の外国語部門大賞はロシアの侵攻を受けるウクライナからの投句であった。

大会の運営は発足時から永年熊本市が当たっていたが、２０１８（平成30）年の第23回大会から実行委員会方式となり、委員会とその事務局が運営を担っている。持続可能な大会に向けた体制をどう構築するかなどが今後の課題だろう。

本誌の編集にあたっては、大会名をはじめ各項目が変遷していることもあり、当時の表記のままとした。

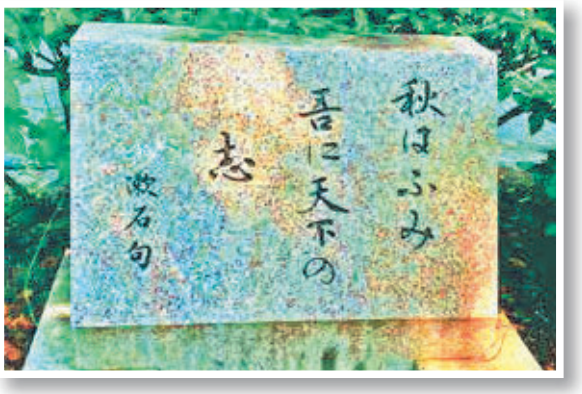
またページ数の関係で30回大会各部門の選評をカットし、ホームページに掲載することとした。御覧いただきたい。

本誌のタイトルの「秋はふみ…」は漱石が五高図書館で詠んだ「秋はふみ吾に天下の志」からとった。「天下の志」に明治人の気概がある。

「『草枕』の玉手箱」30周年記念誌製作実行委員会会長
高峰　武

「『草枕』の玉手箱」30周年記念誌製作では以下の助成をいただいた。心から感謝したい。（五十音順）

○一般財団法人　熊本公徳会
○一般財団法人　熊本放送文化振興財団
○熊本銀行ふるさと振興基金（助成金事業）
○２０２６年度公益信託熊日文化スポーツ基金助成事業



秋はふみ…漱石と歩む

「草枕」国際俳句大会　30回記念誌

令和８年（2026年）２月発行

編集・発行／「『草枕』の玉手箱」30周年記念誌製作実行委員会

〒862-0942　熊本市東区江津2-28-77　高峰武方
Tel・Fax：096-364-4510
Email：kusamakura-haiku@outlook.jp
草枕ホームページ：http://kusamakura-haiku.jp/

第１回大会の会場風景（1996年10月13日、熊本県立劇場）